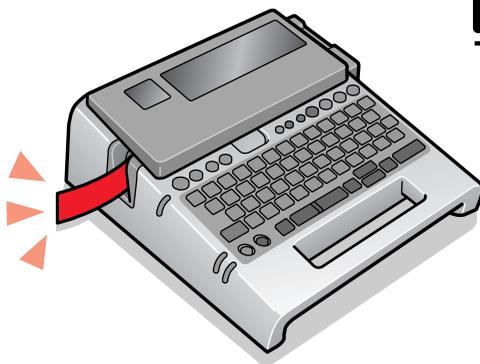


# TEPRA

## PRO



# SR930

## 取扱説明書

 KING JIM

# はじめに

このたびは、ラベルライター「テブラ」PRO SR930をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テブラ」PRO SR930の使いかたを、「準備編」「使いかた編1・2」「機能編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テブラ」PRO SR930を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

## !! 注意 !!

- 本機で保存する文章や外字などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テブラ」で得られるラベルについて  
塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。  
なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、KING JIM、「テブラ」、「テブラ」PRO、Pテープマークはいずれも株式会社キングジムの商標です。

「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

# ●安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

 <b>危険</b>	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	Ⓢ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

## ⚠ 危険

### 電池の取り扱いについて

 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。



## ⚠ 警告

### ACアダプタについて

 同梱の専用ACアダプタ(AS1527J)以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



 ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



 ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせしないでください。火災・感電の原因となります。



## 警告

### 電池の取り扱いについて



電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。



新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



### その他



本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



## ⚠ 警告



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。



## ⚠ 注意

### 電池の取り扱いについて



電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



### オートトリマーのお手入れについて



「カド丸トレ」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「カド丸トレ」をはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。



### ハーフカット機能付きオートカッターについて



印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



### その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをすることがあります。



電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



### 「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



## テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

- テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



- テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



- テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。



テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。

### MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。

印刷済みのインクリボンが必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

### テープカートリッジの回収およびリユース(再利用)について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テプラ」テープカートリッジはお近くの「テプラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。なお、「エコマーク商品」(ラベルにエコマークが表示されているテープカートリッジ)については、当社にてリユース(再利用)をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「テプラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。



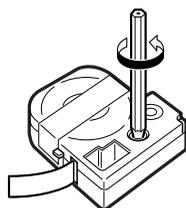
## テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

### ■セット前に、必ずインクリボンのたるみをとる

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



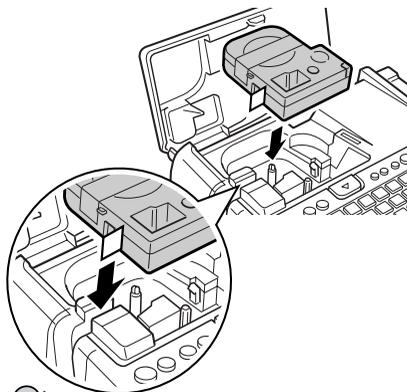
### ■正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます(36mm幅テープカートリッジは固定されません)。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



### ■セットした直後は必ず「テープ送り」をする(シフト + 印刷)

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照 P.31 「5.テープ送りをする」

## その他のご注意

- 本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光の当たる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- ACアダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- テープカートリッジは、必ずPテープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。点字テープカートリッジ(DL規格)は、お使いになれません。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに $\text{印刷}$ を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず $\text{シフト}$  +  $\text{印刷}$  (=テープ送り)でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
- オートトリマーにはPテープマーク以外のラベルを差し込まないでください。
- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げてオートトリマーに差し込んでください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長時間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 長期間電池を入れたままにしておく、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

# ●本書の使いかた

## 本書の構成

本書は次のような構成になっています。

### 準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

### 使いかた編

使いかた編には1・2があります。「使いかた編1」では、文字の入力からラベルの貼り付けまでの基本操作を説明しています。

「使いかた編2」では、段落の追加などテキスト画面での操作と、ハーフカッター・オートトリマーなどについて説明しています。初めて「テブラ」PRO シリーズをお使いになる方は、「使いかた編1」から順を追って読まれることをお奨めします。

### 機能編

ラベルの見栄えをよくする編集機能や、ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テブラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を十分に理解されたうえでお読みくださるようお願いいたします。

## 本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
<b>①、②</b>	操作の手順を示しています。
	文字ボタンを示しています。
	機能ボタンを示しています。
	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
	関連する事項の参照ページを案内します。
<b>MEMO</b>	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
<b>!! 注意 !!</b>	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

# 目次

## はじめに

- 安全上のご注意…必ずお守りください！ ..... 1
  - テープカートリッジ取り扱いについての  
ご注意 ..... 4
  - テープカートリッジをセットするときの  
ご注意 ..... 5
  - 其他のご注意 ..... 6
- 本書の使いかた ..... 7
  - 本書の構成 ..... 7
  - 本書の見かた ..... 7
- 目次 ..... 8
- 同梱品の確認 ..... 10
- 別売品のご案内 ..... 11
- 「テブラ」PRO SR930の特長 ..... 12
- まず、使ってみよう…
  - すぐ使いたい人のために ..... 13
    - 1. 準備 ..... 13
    - 2. 電源を入れる ..... 13
    - 3. 文字を入力する(例:伊藤) ..... 13
    - 4. 文字の大きさ(文字サイズ)を  
変えてみよう ..... 14
    - 5. たて書きにしてみよう ..... 15
    - 6. 印刷する ..... 15
    - 7. ラベルを貼る ..... 16
    - 8. 電源を切る ..... 16

## 準備編

- 各部の名前とはたらき ..... 18
  - 本機各部の名前(表) ..... 18
  - 本機各部の名前(内部) ..... 18
  - 本機各部の名前(裏) ..... 19
  - 本機各部の名前(背面) ..... 19
  - 操作パネルの名前とはたらき ..... 20
- ディスプレイの見かたとはたらき ..... 22
  - ディスプレイ(画面)の見かた ..... 22
  - 表示の切り換え(みえ<sup>2</sup>) ..... 24
  - ディスプレイの濃度を調整する ..... 25
- 使う前の準備 ..... 26
  - 1. ACアダプタを接続する ..... 26
  - 2. 電池(別売)を入れて使用するときは ... 26
  - 3. テープカートリッジをセットする ..... 28
  - 4. 電源を入れる ..... 30
  - 5. テープ送りをする ..... 31

## 使いかた編 1

- 手順どおりに作ってみよう  
(文字入力～ラベルの完成まで) ..... 34
  - 文字入力をはじめの前に ..... 34
    - 1. 文字を入力する ..... 35
      - 長い文章を変換する ..... 38
      - 変換する「読み」の長さを変える ..... 38
    - 2. 英数字を入力する ..... 39
    - 3. スペースを入力する ..... 41
    - 4. 記号を入力する ..... 42
    - 5. 印刷イメージを確認する(プレビュー) 44
    - 6. 印刷する ..... 45
    - 7. ラベルを貼る ..... 46
- 使い終わったら〈電源を切る〉 ..... 47

## 使いかた編 2

- 文章を作る ..... 50
  - カーソルボタンの使いかた ..... 50
  - 文章を入力する ..... 50
  - 文字を削除/挿入する ..... 51
  - 削除した文字をもとに戻す(復活) ..... 51
  - 文字をコピーする ..... 52
  - 文字を貼り付ける ..... 52
  - すべての文章を消去する ..... 52
- 行を増やす(改行) ..... 53
  - 新しい行を作る ..... 53
  - 文字を次行に移動する ..... 54
  - 改行を取り消す ..... 54
- 段落を増やす(改段落) ..... 55
  - 新しい段落を作る ..... 56
  - 段落を分割する ..... 56
  - 特定の段落を消去する ..... 57
- 印刷時の自動カット/ハーフカット  
を設定する ..... 58
  - 自動カットとハーフカットを  
無効にする ..... 58
  - 自動カットを有効、ハーフカットを  
無効にする ..... 58
- 印刷濃度を調整する ..... 60
- 印刷設定をリセットする ..... 60
- カドを丸く仕上げる ..... 61
  - オートトリマーのお手入れ ..... 62

## 機能編

- ラベルの向きを変える(縦・横) ..... 64
  - [縦・横]ボタンを使う ..... 64

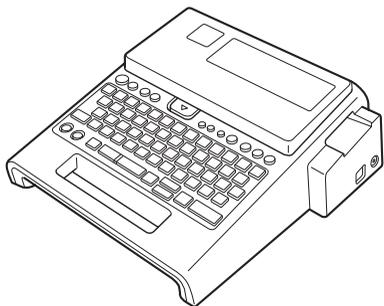
● ラベルの長さを整える(らく <sup>2</sup> )	66	定型外国語メニュー一覧	137
● ラベルの見栄えをよくする(編集)	67	定型外国語を使う	138
編集を指定する	68	定型外国語を編集する	139
● 編集メニュー一覧	70	● 連番やバーコードを印刷する	140
機能の説明(文字モード)	75	連番・バーコードメニュー一覧	140
機能の説明(段落スタイル)	78	連番を印刷する	141
機能の説明(文章書式)	85	バーコードを印刷する	144
● デザインされたラベルを呼び出す		QRコードを印刷する	146
(フォーム)	91	● 特殊な印刷(そく <sup>2</sup> 、でか <sup>2</sup> )	148
ラベルの作りかた	91	特殊印刷メニュー一覧	148
フォーム・特殊フォームメニュー一覧	93	同じラベルを連続して印刷する	
フォーム見本	95	(そく <sup>2</sup> )	149
● 文章を呼び出す・登録する	107	テープ幅より大きなラベルを作る	
[ファイル]ボタンを使う	107	(でか <sup>2</sup> )	150
ファイルとは	108	鏡文字を印刷する	152
ファイルを登録する	109	● 読みのわからない漢字を入力する	
ファイルを読み出す	110	(コード入力)	153
ファイルを消去する	111	● 編集機能の保存値を設定する	154
ファイルを複写する	112	保存値を変更する	155
グループの名前を変える	113	保存値を初期設定値に戻す	155
ファイルをまとめて印刷する	114	編集設定メニュー一覧	156
● 最近印刷した文章を呼び出す	115	● 本機を初期化する	157
印刷履歴を呼び出す	115	初期化する	158
印刷履歴を消去する	115	● デモ印刷をする	159
● 名前や語句を登録する			
(あて名/名前/辞書)	117		
あて名ラベルを作る	117		
あて名を登録する	118		
あて名を修正する	119		
あて名を複写する	119		
あて名を消去する	120		
あて名ラベルを印刷する	121		
あて名のグループ名修正	122		
カスタマバーコードについて	123		
名前を登録する	125		
名前を修正する	126		
名前を消去する	126		
名前のグループ名修正	126		
名前ラベルを印刷する	126		
変換できない語句を登録する			
(辞書の登録)	128		
登録した語句を呼び出す	129		
登録した辞書を修正する	129		
登録した辞書を消去する	130		
● 外字を使う	131		
外字を作成し、登録する	133		
外字を修正する	134		
外字を呼び出す	134		
外字を複写する	135		
外字を消去する	135		
外字を参照作成し、登録する	136		
● 定型外国語を入力する	137		

## 付録

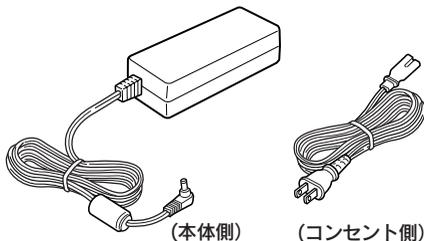
● メニュー一覧	162
印刷設定メニュー一覧	162
記号メニュー一覧	163
テープ送りメニュー一覧	164
消去メニュー一覧	164
● テープカートリッジを使いわける	165
● こんな表示が出たときは	166
エラーメッセージが表示されたときは	166
● 故障かな?と思ったら	169
● お手入れについて	172
ヘッド・クリーニングテープを使う	173
● 入力文字一覧表	174
文字ボタン配列	174
入力文字表	174
● 漢字変換表	175
JIS第1水準	175
JIS第2水準	179
その他	182
● 記号一覧表	183
● 定型外国語一覧表	187
● ローマ字変換表	195
● おもな仕様	196
● 索引	199
● アフターサービスについて	204

# ●同梱品の確認

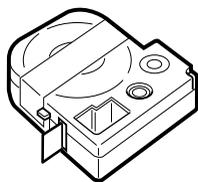
同梱品がすべてそろっているか、確認してください。



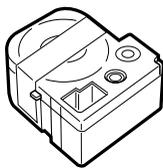
「テプラ」PRO SR930本体



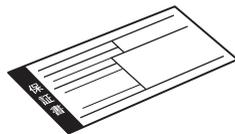
ACアダプタ (AS1527)



試用PROテープカートリッジ  
(18mm幅)



ヘッド・クリーニングテープ  
(SR36C)



保証書  
(箱の側面に添付)



SR930取扱説明書(本書)



PCラベルソフト取扱説明書



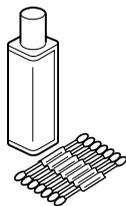
PCラベルソフト(SPC9C)

## MEMO

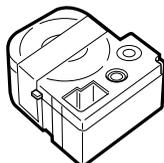
本機にはパソコン接続用のUSBケーブルは同梱されていません。パソコン接続には市販のUSBケーブルをご使用ください。  
ケーブルはA-Bタイプです。

# ●別売品のご案内

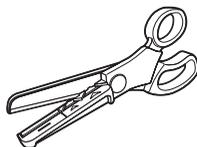
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



**ヘッド・クリーニングキット(RC15)**  
印刷ヘッド専用クリーニング液です。



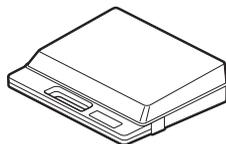
**ヘッド・クリーニングテープ(SR36C)**  
テプラ本体のヘッドクリーニング用のテープです。



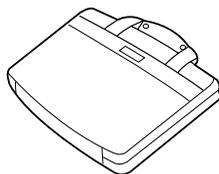
**トリマー(RT36W)**  
ラベルのカドを丸くカットし、ラベルをはがれにくく、見た目にも美しく仕上げるハサミ型トリマーです。4～36mm幅のラベルの「カド丸」加工が可能です。ラベルの前後余白調整にも便利です。



**ラベルラミネーター(RL18)**  
9mm～18mm幅のラベルをセットしてフィルムを引き出すと、ラベルの表面に透明のラミネートを施すことができます。表面を保護し、薬品、油、こすれなどからラベルを守ります。  
※4mm幅、6mm幅のテープには対応していません。



**システムトランク(SR9BTN)**  
耐衝撃性に優れたトランクです。「テプラ」PRO 本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。



**システムバッグ(SR8B)**  
「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。ウレタン・ボンディング・ナイロンを使用しており、クッション性に優れています。

## MEMO

詳細については、当社ホームページ(アドレス <http://www.kingjim.co.jp/>)をご覧くださいか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。

参照 P.204 「アフターサービスについて」

# ●「テブラ」 PRO SR930の特長

## ■ 高精細360dpi・384dotの

### 大型ヘッドで文字が美しい！

360dpi・384dot=27.1mmという最上級織にふさわしい高密度大型ヘッドにより、さらに大きな文字も美しく、また最大13行もの多行印刷も可能です。

## ■ 好評のPROテープ4～36mm幅に対応！

大きなラベルも手軽に印刷！

好評の36mm幅テープに対応。店舗のディスプレイや公共表示などに大きな威力を発揮します。

## ■ 日本語入力システムATOKを採用

日本語入力に定評のあるATOKを採用。文節区切りを的確に判断するので長い文章も正確に変換できます。

## ■ ハーフカットで裏紙はがしのイライラ解消

「ハーフカット」で、ラベルの印刷面だけを自動的にカット。ラベルの裏紙が簡単にはがせます。

※一部対応できないテープがあります。

## ■ オートカッターで手間いらず！

印刷後、自動的にラベルをカットするオートカッターを装備。多量に印刷するときにも便利です。

※一部対応できないテープがあります。

## ■ 豊富に選べる漢字10書体

### +かな14書体+英数18書体

「明朝体・ゴシック体・丸ゴシック体・行書体」の基本書体には、「太型」の変形書体も充実！さらに「ペン行書体・波ゴ体」も選べます。かな書体には「えれん・ハッピー」を加えた14書体、英数書体は18書体装備。用途に合わせ、表現力がガンと広がります。

## ■ 繰り返す文字にコピーが有効！

入力してある文字をコピーすれば何度でも貼り付けることができます。繰り返す文字を効率よく入力できます。

## ■ 4階調で見やすいディスプレイ

4階調表示の液晶ディスプレイを搭載。見やすいディスプレイで、記号や装飾の細部が確認できます。

## ■ オートトリマーでカド丸仕上げ

ラベル(9～36mm幅)のカドを自動的に丸く仕上げ、オートトリマーを装備。ハガレに強く美しい仕上がりです。

※一部対応できないテープがあります。

## ■ パソコンからもラベル作成

同梱のPCラベルソフトを利用すれば、パソコンでより豊かな表現のラベルを作成し、「テブラ」で印刷できます。

## ■ 表示に適した定型文を4カ国語でラベル印刷！

約800の定型文を「日本語・英語・中国語・韓国語」の4カ国語で印刷できる「定型外国語」機能を搭載。注意・警告・案内などのラベル表示が外国語で印刷できます。

※印刷できる中国語と韓国語は搭載された定型文のみです。また、翻訳や辞書機能ではありません。

## ■ QRコードの印刷に対応！

データを入力するだけで簡単にQRコードが印刷できます。携帯電話の電話帳登録などにも使えます。



# ●まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために

## 1. 準備

- 1 ACアダプタを本機に接続する  
参照 P.26 「1.ACアダプタを接続する」
- 2 テープカートリッジをセットする  
参照 P.28 「3.テープカートリッジをセットする」

## 2. 電源を入れる

- 1 **ON/OFF** (ON/OFF) を押す  
タイトルが表示され、設定されている入力状態が表示されたあと、行頭マーク **1** とカーソルが表示されます。

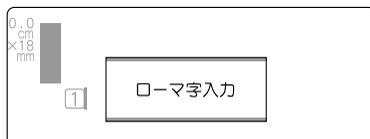
### MEMO

より詳しい説明については、P.30「4.電源を入れる」を参照してください。

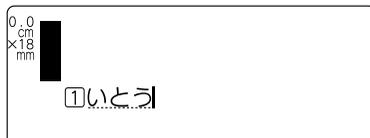


## 3. 文字を入力する(例：伊藤)

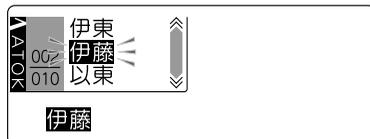
- 1 **入力** を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



- 2 文字ボタンを次のように押す  
「ローマ字入力」の場合： **I** **T** **O** **U**  
「かな入力」の場合： **い** **え** **う**  
「いとう」と表示されます。入力後のひらがなは下線が表示されています。



- 3 「伊藤」が表示されるまで **変換スペース** を押す



- 4 **選択** を押す  
「伊藤」が確定し、行頭マークが **1** に変わります。同時に、ラベルの長さとお印刷イメージが表示されます。



### MEMO

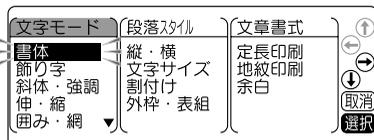
より詳しい説明については、P.34「手順どおりに作ってみよう」を参照してください。

## 4. 文字の大きさ(文字サイズ)を変えてみよう

伊藤 → 伊藤

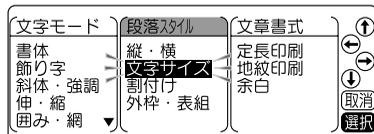
**1** を押す

編集メニューが表示されます。



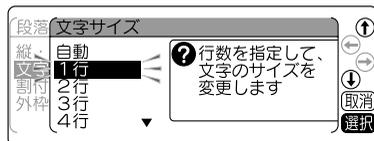
**2** で「文字サイズ」を選び

を押す



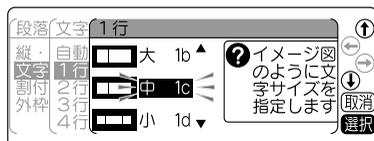
**3** で「1行」を選び

を押す



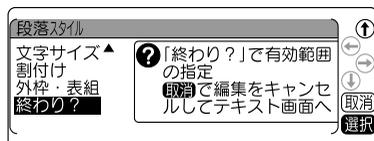
**4** で「中 1c」を選び

を押す



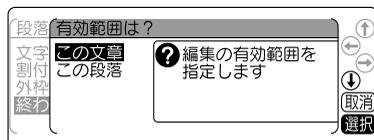
**5** 「終わり」が選ばれていることを確認し、

を押す



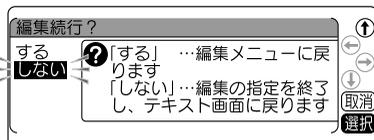
**6** で「この文章」を選び

を押す



**7** で「しない」を選び

を押す



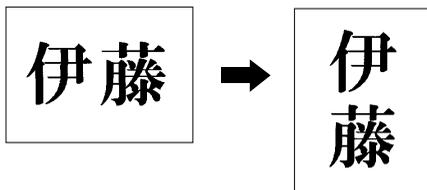
文字の大きさが変更されます。



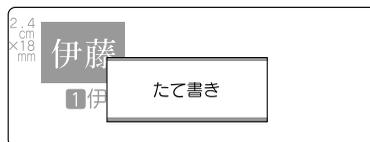
## MEMO

より詳しい説明については、P.67「ラベルの見栄えをよくする(編集)」を参照してください。

## 5. たて書きにしてみよう



- ①  (縦・横)を押す  
「たて書き」と表示され、文字がたて書きのラベルになります。



## MEMO

より詳しい説明については、P.64「ラベルの向きを変える(縦・横)」を参照してください。

## 6. 印刷する

- ①  を押しながらか  (=プレビュー)を押す  
印刷のイメージが流れるように表示されます(プレビュー)。



- ②  を押す  
画面に、印刷されるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷がはじまります。印刷が終了すると、テープが自動カットされて出てきます。  
テープは絶対に手で引っ張らないでください。



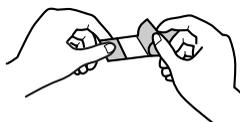
## MEMO

より詳しい説明については、P.45「6.印刷する」を参照してください。

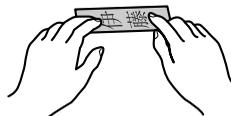
## 7. ラベルを貼る

---

- ① 裏紙をはがす



- ② しっかりとこすって貼り付ける



### MEMO

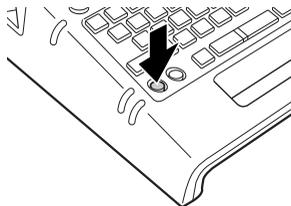
より詳しい説明については、P.46「7.ラベルを貼る」を参照してください。

## 8. 電源を切る

---

- ①  (ON/OFF)を押す

- ② ACアダプタ(AS1527J)をはずす



### !! 注意 !!

電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。

### MEMO

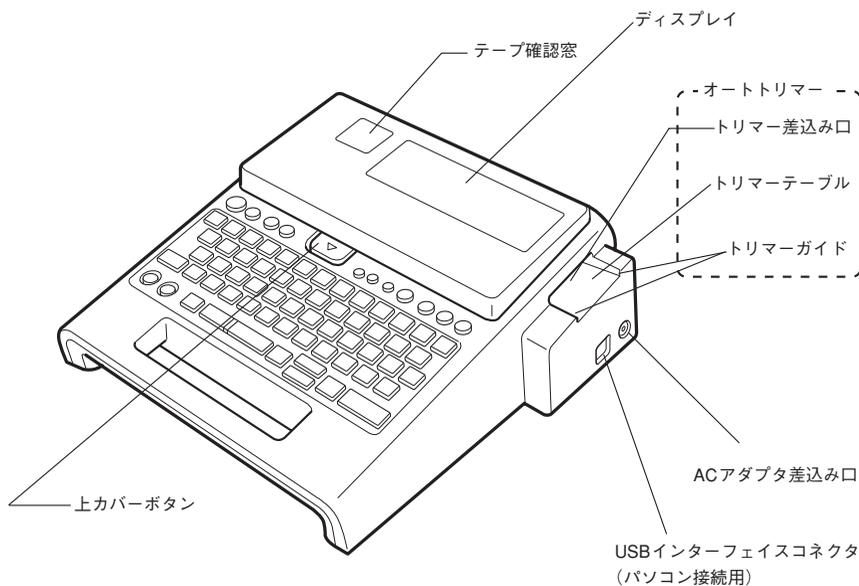
より詳しい説明については、P.47「使い終わったら〈電源を切る〉」を参照してください。

# 準備編

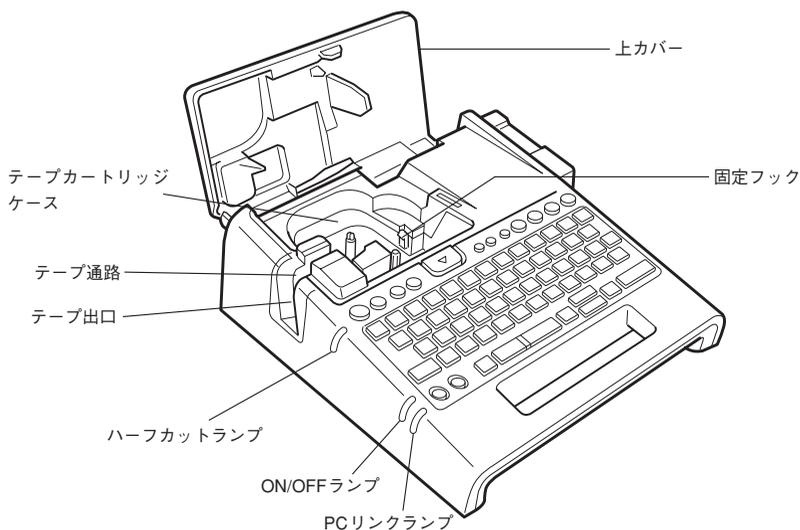
本機にACアダプタを接続し、電源を入れます。  
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

# ●各部の名前とはたらき

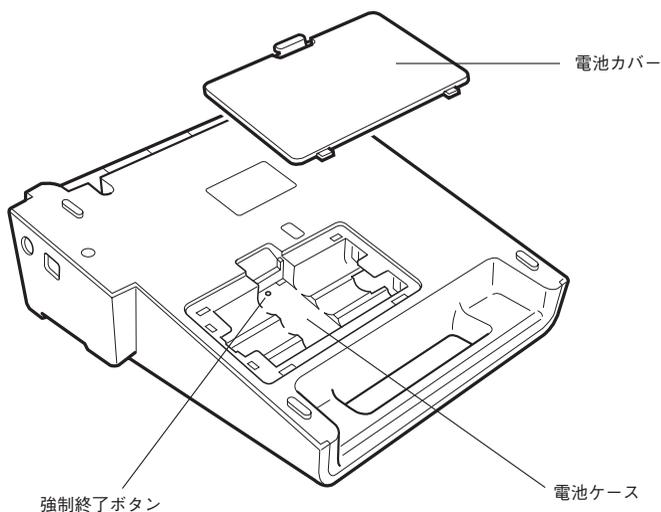
## 本機各部の名前(表)



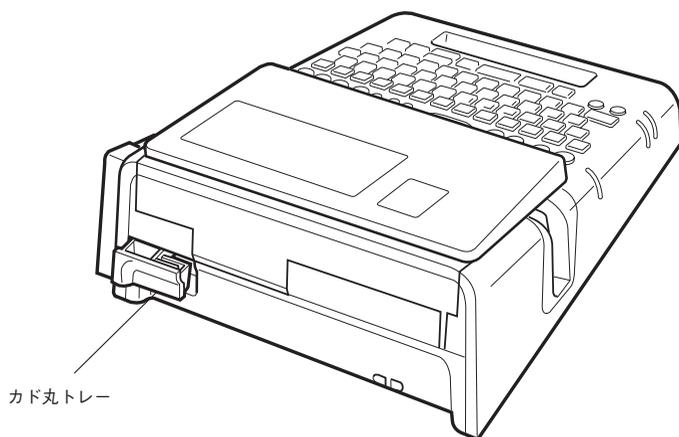
## 本機各部の名前(内部)



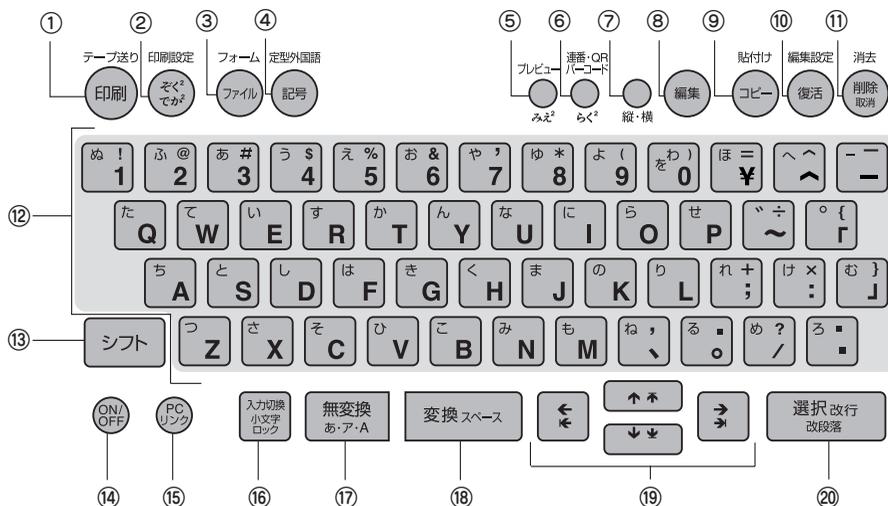
## 本機各部の名前(裏)



## 本機各部の名前(背面)



## 操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。**シフト**+**■**となっている表記は、**シフト**を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

## ① 印刷 (印刷)

入力した文章をテープに印刷し、テープを自動的にカット(オートカット)します。

参照 [P.45](#)

**シフト**+**印刷**(=テープ送り)

テープを約20mm空送りしたり、カットします。

参照 [P.31](#)

## ② 特殊印刷

連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷をします。

参照 [P.148](#)

**シフト**+**特殊印刷**(=印刷設定)

印刷後の自動カットの有無と印刷濃度を設定します。参照 [P.58、60](#)

## ③ ファイル

作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録します。また、印刷履歴の呼び出しをおこないます。参照 [P.107](#)

**シフト**+**ファイル**(=フォーム・特殊フォーム)

デザインフォームや特殊フォームの呼び出しをおこないます。参照 [P.91](#)

## ④ 記号 (記号)

記号の入力や外字の呼び出しなどをおこないます。参照 [P.42](#)

**シフト**+**記号**(=定型外国語)

定型外国語の呼び出しや印刷をおこないます。

参照 [P.137](#)

⑤ (みえ<sup>2</sup>)

テキスト画面の表示を切り換えます。参照 [P.24](#)

**シフト**+**(みえ<sup>2</sup>)**(=プレビュー)

印刷イメージ全体を流れるように表示して確認することができます。

参照 [P.44](#)

⑥ (らく<sup>2</sup>)

文字サイズを自動に設定しているとき、カーソルのある段落の文字サイズを「らく<sup>2</sup>」または「均等」に切り換えます。参照 [P.66](#)

**シフト**+**(らく<sup>2</sup>)**(=連番・QR・バーコード)

連続番号やQRコード・バーコードの入力をおこないます。参照 [P.140](#)

⑦  (縦・横)

たて書き/よこ書きを切り換えます。参照  P.64

⑧  (編集)

文字の装飾や文字サイズ、ラベルのレイアウト、ラベルの長さなどを指定します。参照  P.67

⑨  (コピー)

入力済みの文字をコピーします。参照  P.52

 +  (=貼付け)

コピーした文字を貼り付けます。参照  P.52

⑩  (復活)

削除した文字や文章をもとに戻します。参照  P.51

 +  (=編集設定)

画面の表示濃度や編集機能の保存値を変更します。参照  P.155

⑪  (削除、取消)

カーソル位置(カーソルの左側)の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。参照  P.51

 +  (=消去)

段落や文章を消去します。参照  P.52

⑫ 文字ボタン(     など)

文字を入力します。参照  P.35

⑬  (シフト)

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。

⑭  (ON/OFF)

電源を ON/OFFします。参照  P.30

⑮  (PCリンク)

PCラベルソフト(SPC9)およびファイル転送ソフト(SDM9)使用時に、本機をパソコンと接続する状態に切り換えます。

⑯  (入力切換)

入力状態を「ローマ字→かな→ABC」の順で切り換えます。参照  P.35

QRコードの用途「一般」では「ローマ字→かな→ABC(半角)→ABC」の順で切り換えます。

参照  P.146

「ABC入力、ABC(半角)入力」時のみ

 +  (=小文字ロック)

小文字入力状態に切り換えます。参照  P.40

⑰  (無変換)

仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。

参照  P.35

 +  (=文字変換/コード変換)

仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。

参照  P.35

仮確定文字がないときは、コード入力の画面になり、区点コードを入力すれば漢字に変換できます。参照  P.153

⑱  (漢字変換、スペース入力)

仮確定のひらがな文字を漢字に変換します。仮確定文字がないときは、スペースを入力します。ATOK変換画面では、次の変換候補を表示します。

参照  P.35、41

⑲   (カーソルボタン、文節変更)

カーソルや選択候補を上下左右に移動します。

参照  P.50

ATOK変換画面では   で変換対象の文節長さを変更し、 で確定します。参照  P.34

 +    (=カーソルジャンプ、文節切り換え)

カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。参照  P.50

ATOK変換画面では  +   で変換対象の文節を切り換えます。参照  P.34

⑳  (選択、改行)

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。仮確定文字がないときは、新しい行を作ります(改行)。参照  P.34、53

 +  (=改段落)

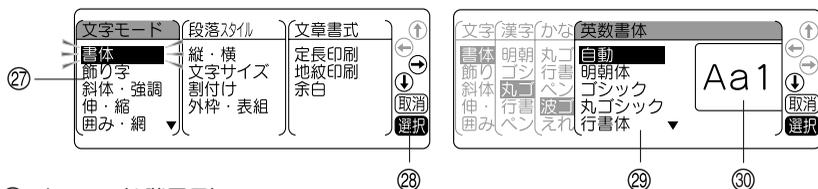
新しい段落を作ります。参照  P.55



- ⑮ **文字サイズインジケータ**  
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケータが点灯します。  
数字はポイント数を表しています。  
\*1ptは約1/72インチ(約0.35mm)です。
- ⑯ **ローマ字入力インジケータ**  
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。
- ⑰ **かな入力インジケータ**  
「かな入力」状態のときに点灯します。
- ⑱ **ABC入力インジケータ**  
「ABC入力」状態のときに点灯します。  
参照 P.40
- ⑲ **小文字入力インジケータ**  
シフトボタンを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。参照 P.40
- ⑳ **定長インジケータ**  
定長印刷が指定されているときに点灯します。
- ㉑ **地紋インジケータ**  
地紋印刷が指定されているときに点灯します。
- ㉒ **外枠・表組インジケータ**  
外枠や表組みが指定されているときに点灯します。
- ㉓ **囲み・網インジケータ**  
囲みや網が指定されているときに点灯します。
- ㉔ **飾り字インジケータ**  
カーソル位置の文字に飾り字が指定されているときに対応した飾り字が点灯します。
- ㉕ **斜体・強調インジケータ**  
カーソルの位置の文字に、斜体や強調が指定されているときに対応した機能が点灯します。
- ㉖ **書体インジケータ**  
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯します。

## 〈メニュー画面〉

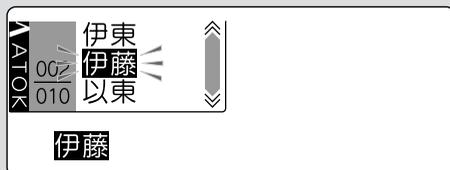
機能を指定する画面は、テキスト画面と表示が異なります。このような機能や設定値を選択する画面をメニュー画面と呼びます。ここでは、編集メニューの画面を例に説明しています。



- ⑲ **メニュー(1階層目)**  
編集ボタンやフィルボタンを押したときに最初に表示されるメニュー一覧です。  
← ↑ ↓ → ボタンで機能を選びます。
- ⑳ **ボタンナビ**  
使用できるボタンを案内します。グレー(薄い色)になっているボタンは操作できません。
- ㉑ **メニュー階層**  
メニューの階層状態を表示します。例の画面では、4階層目の選択候補一覧を表示しています。選択候補は ↑ ↓ ボタンで選びます
- ㉒ **イメージ表示、ガイド表示**  
選択候補の指定結果をイメージで表示したり、操作ガイドを表示します。

## MEMO

文字の変換中は以下の画面(ATOK変換画面)になります。  
詳しい説明についてはP.34「文字入力をはじめる前に」を参照してください。



## 表示の切り換え（みえ<sup>2</sup>）

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。

（みえ<sup>2</sup>）を押すと、次のようにディスプレイの表示が切り換わります。

<みえ<sup>3</sup>>（初期設定値）

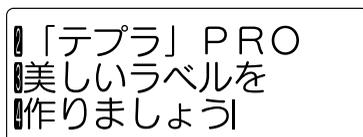
初期設定値では、入力した文章が2行まで表示されます。印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。



（みえ<sup>2</sup>）

<拡大表示>

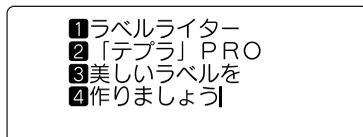
入力した文章のみ拡大して3行表示します。



（みえ<sup>1</sup>）

<みえ<sup>0</sup>>

入力した文章のみ5行表示します。多行入力時などに便利です。



（みえ<sup>2</sup>）

<みえ<sup>2</sup>>

入力した文章が3行まで表示されます。お好きな印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。



### !! 注意 !!

- （みえ<sup>2</sup>）ボタンでディスプレイが切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面やATOK変換画面で（みえ<sup>2</sup>）を押しても、ディスプレイは切り換わりません。  
参照  P.22 「ディスプレイ（画面）の見かた」
- 広い幅のテープや入力した内容によっては、「みえ<sup>2</sup>」表示の反応が遅くなることがあります。

### MEMO

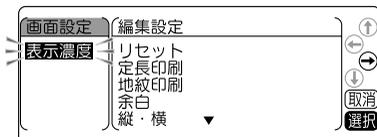
-  を押しながら （=プレビュー）を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。  
参照  P.44 「5.印刷イメージを確認する（プレビュー）」
- ディスプレイが見づらいときは、表示濃度を調整することができます。  
参照  P.25 「ディスプレイの濃度を調整する」

## ディスプレイの濃度を調整する

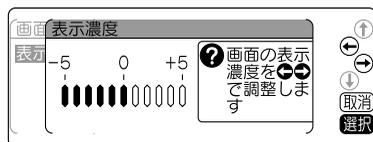
ディスプレイの表示濃度は11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

- ① **シフト** を押しながら **復活** (=編集設定) を押す  
「画面設定」メニューが表示されます。

- ② 「表示濃度」を選び、**選択** を押す



- ③ **←** **→** で濃度を調整し、**選択** を押す  
初期設定値は「0」に設定されています。



表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

### MEMO

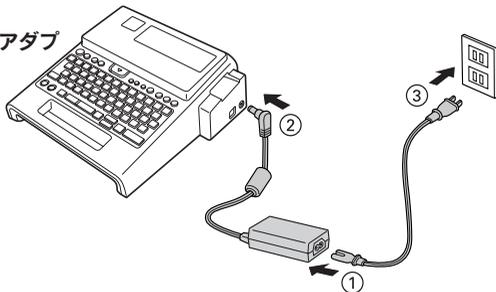
- 設定を途中でやめるときは **削除** または **復活** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 表示濃度は、電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定し直すか、本機の初期化をおこなってください。参照 [P.157](#) 「本機を初期化する」

# ●使う前の準備

## 1. ACアダプタを接続する

同梱のACアダプタ(AS1527J)で、家庭用コンセント(AC100V)から電源を取ります。

- 1 ACアダプタのケーブルを接続する
- 2 ACアダプタのプラグを本機右側面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込む
- 3 ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



### !! 注意 !!

- 使い終わったらすぐにACアダプタを本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

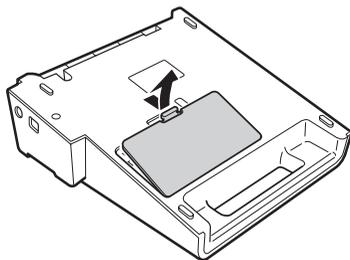
## 2. 電池(別売)を入れて使用するときは

本機に単3アルカリ乾電池6本をセットします。外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷することもできます。

- 1 電池カバーをはずす  
レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げます。

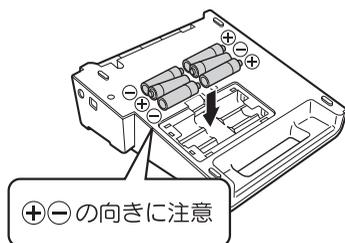
### !! 注意 !!

必ず、電源を切ってからおこなってください。

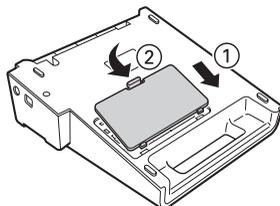


**2 電池を入れる**

電池の向きに注意して、単3アルカリ乾電池6本を入れます。

**3 電池カバーをはめる**

電池カバーの手前の突起を本機のカバーの溝に合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます。

**!! 注意 !!**

- 本機には単3アルカリ乾電池をお使いください。その他の乾電池を使用したときは、乾電池の寿命が短い、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
- 電池でも印刷できる電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ (AS1527J) をお使いください。

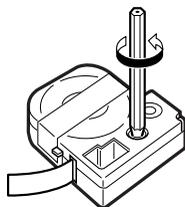
**MEMO**

- 電池での印刷の場合、ACアダプタ使用時より印刷スピードが遅くなります。
- 広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください!」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください!」と表示されます。直ちにすべての電池を新しい単3アルカリ乾電池(6本)に交換してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品の単3アルカリ乾電池(6本)では、常温で18mm幅のテープカートリッジ(8m)を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、幅広テープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。できるだけACアダプタをお使いください。ACアダプタを使用する際は、必ず専用のACアダプタ (AS1527J) をお使いください。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。

### 3. テープカートリッジをセットする

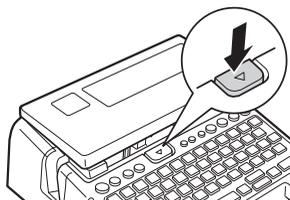
#### ① インクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみをとってください。



#### ② 上カバーボタンを押す

上カバーボタンを押すと、上カバーが少し開きます。



#### !! 注意 !!

必ず、電源を切ってからおこなってください。

#### ③ 上カバーを開ける

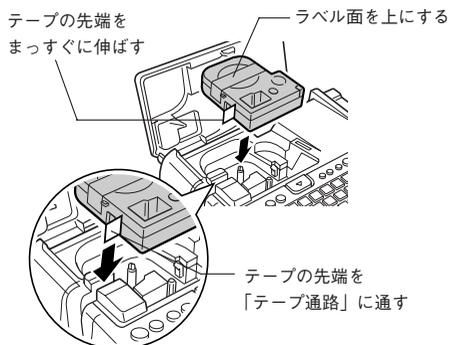
#### !! 注意 !!

- 上カバーはストッパーで止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。



#### ④ テープカートリッジをセットする

セットするテープカートリッジを、ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます(36mm幅テープカートリッジは固定されません)。テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。



#### ⑤ 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押しつけて閉じます。

#### !! 注意 !!

テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。



## MEMO

### テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本機にしっかりと保持されていますが、上カバーを開けると同時にテープカートリッジの保持が解除され、取り出しやすい状態になります。取り出すときは、カートリッジ側面の「指かけ」部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



## !! 注意 !!

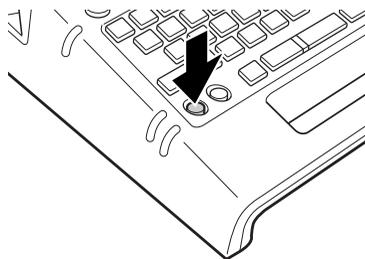
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mm、36mm の7種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。  
参照  P.53 「テープ幅と印刷できる行数」
- テープカートリッジは、直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。

## 4. 電源を入れる

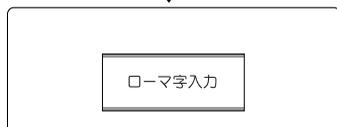
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？(電池で使用する場合)

①  (ON/OFF)を押す



電源が入るとタイトル画面が表示されます。



※設定されている入力状態が約0.5秒間表示されます。



※行頭マーク **①** とカーソル **↓** が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケータが点灯します。

参照  P.22 「ディスプレイ(画面)の見かた」

### MEMO

#### オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます(電源が切れても入力した文章はなくなりません)。 (ON/OFF)をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

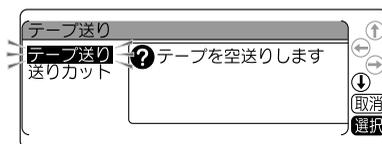
外字データや創作地紋データの作成・修正をしているとき、またはACアダプタを使ったPCリンクの状態では、オート・パワーオフ機能は働きません。

電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしましょう。

## 5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

- ① **シフト**を押しながら**印刷**(=テープ送り)を押す  
「テープ送り」メニューが表示されます。



- ② **↑** **↓** で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

- ③ **選択**を押す

「テープ送り」の場合はテープが約20mm空送りされます。

「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

### !! 注意 !!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンのたるみが取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

### つづいて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。

参照 P.34 「手順どおりに作ってみよう」



# 使いかた編 1

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。  
文字入力、印刷など「テプラ」の基本操作を確認してください。

# ●手順どおりに作ってみよう(文字入力~ラベルの完成まで)

右のサンプルラベルを手順どおりに作ると、文字入力からラベルの印刷までの基本的な操作がカンタンに覚えられます。

## お得なセット! 初回限定版Box

### 文字入力をはじめる前に

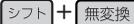
本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、以下の画面とボタンで操作します。

#### ATOK変換画面の見かた

- 
- ① 仮確定文字  
テキスト画面などで[変換スペース]を押した時の仮確定文字が、変換候補で表示されます。

- ② 変換対象  
仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。[↓]を押すと確定します。
- ③ 変換候補一覧  
変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。
- ④ 変換候補番号  
現在選択されている変換候補の順番です。
- ⑤ 変換候補数  
変換対象の変換候補数です。

#### 文字の変換中に使用するボタン

ボタン	機能
	変換候補一覧の表示、および次の変換候補の選択
	前の変換候補の選択
	変換候補番号001の候補の選択
	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
	変換対象の文節長さを短くする
	変換対象の文節長さを長くする
	左の文節を変換対象とする(確定されていない場合のみ)
	右の文節を変換対象とする
 	ひらがな、カタカナ、アルファベット(「ローマ字入力」の場合のみ)への変換
	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
	直前に確定した文節を「読み」に戻す
文字ボタン	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

となっている表記は、を押しながらそのボタンを押す操作です



## 参考

### 濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音(「ざ」「ば」など) 半濁音(「ぱ」など)	拗音(「ゃ」「ぁ」など) 促音(「っ')
ローマ字 入力	濁音・半濁音用のスペルで入力 します。 参照 P.195「ローマ字変換 表」	次のいずれかの方法で入力します。 • 「きゃ」(Ⓚ, Ⓨ, ⓐ)などのように前の文字と組 み合わせたスペルで入力する。 参照 P.195「ローマ字変換表」 • 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例: Ⓢ, ⓐ, Ⓚ, Ⓚ, ⓐ …「さっか」 • Ⓛを押してから通常の文字ボタンを押す。 例: Ⓛ, Ⓣ, Ⓤ …「っ」 Ⓛ, ⓐ …「ぁ」
かな入力	仮確定の清音の後に、 <sup>◦</sup> や <sup>◦</sup> を入力 します。	<sup>◦</sup> を押しながら文字ボタンを押します。

文字ボタンに表記された表記号「!」「\*」「.」などは、<sup>◦</sup>を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。

例 :



6 <sup>◦</sup>を数回押して「ローマ字入力」または「ABC入力」を選ぶ



7 「!」を入力する

<sup>◦</sup>を押しながら<sup>◦</sup>を押します。  
「!」が確定された状態で入力されます。



## MEMO

文字ボタンに表記された数字や英記号「¥」「~」「/」は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。「かな入力」の状態では入力できない文字があるので、その場合は「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。

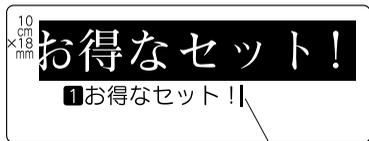
2行目を入力するには、まず、改行をします。

例 :

ここを入力します



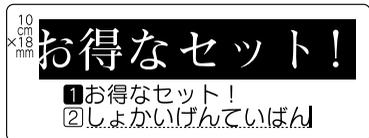
⑧ 1行目の文末にカーソルを合わせて **選択 改行** を押す



改行され、行頭マークの②が表示されます。



⑨ 「しょかいげんていばん」を入力する

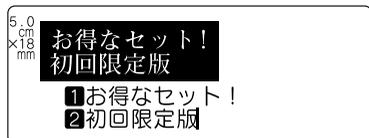


⑩ **変換スペース** を押す  
ATOK変換画面になります。

⑪ 「初回限定版」にする



ATOK変換画面で **選択** を押すと、仮確定文字は、表示されている状態で確定します。



表示されている状態が正しく変換されていない場合は、P.35の手順③と同様に **変換スペース** を押し、変換候補一覧から正しい変換候補を選びます。

### MEMO

- 2文節目以降の語句を変換し直す詳しい説明については、P.38「長い文章を変換する」を参照してください。
- 変換対象となる文節(読み)の長さを変える場合は、P.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。

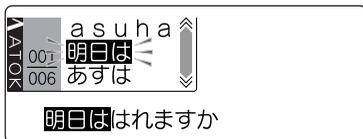
## 長い文章を変換する

入力した文章が長く、ATOK変換画面で表示されている仮確定文字の状態では正しくない場合は、ボタンを押して文節ごとに変換をします。

**例**：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

**1** 「あすははれますか」を入力して  を押す  
ATOK変換画面になります。

**2** 1文節目が正しく変換されている状態で  を押す



1文節目が確定し、次に2文節目が変換対象になります。

**3**  を押す  
2文節目の変換候補一覧が表示されます。



**4** 正しく変換されている状態で  を押す  
2文節目が確定します。  
さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

## 変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違い、目的の漢字に変換できない場合は、  ボタンを押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

**例**：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

**1** 「きのうえをかった」を入力して  を押す  
ATOK変換画面になります。

**2** 変換する文節の長さが適当でないときは   を押す  
変換対象(ネガ表示部分)は  で短く、 で長くなります。



  を押して「きのう」を文節にする



**3**  を押す  
長さを変えた1文節目の変換候補が表示されます。



正しく変換されたら  で確定し、2文節目以降を変換します。

### MEMO

- ATOK変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾14文字だけとなります。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
-   で文節を確定した直後であれば、 ボタンで確定前の状態に戻すことができます。

## 2. 英数字を入力する

英数字は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。小文字の入力には **シフト** を使います。

例：



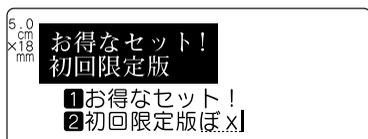
ここを入力します

### ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

#### 1 「Box」を入力する

ローマ字入力：**B**、**シフト**+**O**、**シフト**+**X**



「ぼx」と表示されます。

#### 2 **変換スペース**を押す

ATOK変換画面になります。



#### 3 変換する文節の長さが適当でないときは

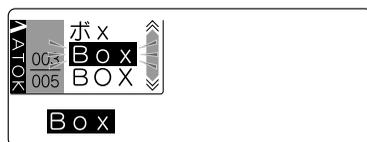
**→**を押す



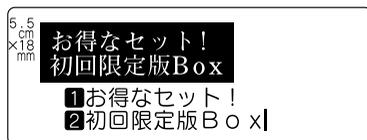
「ぼx」が変換対象(ネガ表示)になります。

#### 4 「Box」が選択されるまで **変換スペース**を押す

#### 5 「Box」が選択されている状態で **↓**を押す



「Box」が確定します。



### MEMO

- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に **無変換** を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、**シフト** を押しながら **無変換** を押すと、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 文字を間違えたときは、**削除** ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 変換対象の長さを変える詳しい説明についてはP.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。
- 「かな入力」の状態では、入力できません。「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。

## ABC入力の場合

英数字を入力するときに「ABC入力」にすると、文字ボタンを押して直接、英数字を入力できます。

①  を数回押して「ABC入力」を選ぶ

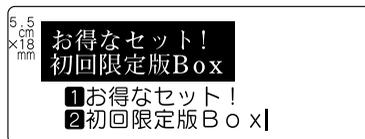
② 「Box」を入力する

ABC入力：、 + 、 + 

(小文字ロックをしている場合)

ABC入力： + 、、

「Box」がテキスト画面に直接入力されます。



## MEMO

### 小文字ロック

「ABC入力」時に、 を押しながら  を押すと、小文字入力状態に切り換わり、 を押ししていないときに小文字入力インジケータが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度  を押しながら  を押します。

## !! 注意 !!

半角英数字はQRコード作成時のみ入力できます。参照  「QRコードを印刷する」

### 3. スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「□」(半角スペース)が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

例：



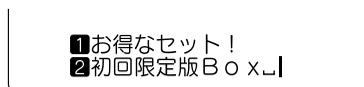
#### 1 仮確定文字がないことを確認する

##### !! 注意 !!

仮確定文字があるときに **変換スペース** を押すと、ATOK変換画面になります。

#### 2 **変換スペース** を押す

半角スペースが入力されます。



テキスト画面には「□」が表示されますが、印刷時にはスペース(空白)として扱われ、印刷されません。

#### MEMO

「ローマ字入力」「かな入力」「ABC入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。

#### 参考

##### 全角スペース

スペースには半角スペース(□)のほかに、全角スペース(□)があります。全角スペースは、印刷すると約1文字分の空白となります。全角スペースを入力するには、**記号**を押して表示される記号メニューから「編集」を選び、その中の「□」を選択します。

ただし、「文字間」で「ピッチ」が「ピッチ固定」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。

参照 P.77 「文字間」

	テキスト画面	ピッチ自動で印刷	ピッチ固定で印刷
半角スペース	1 田中□慶介	田中 慶介	田中 慶介
全角スペース	2 田中□慶介	田中 慶介	田中 慶介

## 4. 記号を入力する

例 :

お得なセット!  
初回限定版Box

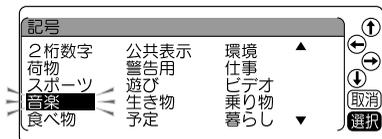


ここを入力します

### 1 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

### 2 記号メニューで「音楽」を選ぶ



### 3 「音楽」を押す

「音楽」の記号が表示されます。

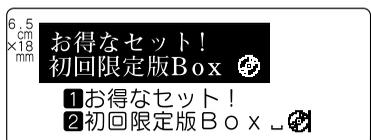


### 4 「音楽」メニューで「♪」を選ぶ



### 5 「♪」を押す

「♪」が入力されます。



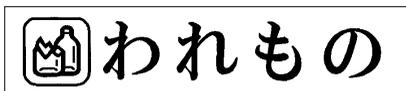
## MEMO

- 仮確定文字があるときは、記号ボタンで記号を入力することはできません。
- 記号の一覧は記号一覧表を参照してください。  
参照 P.183 「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは、**ESC** または **DEL** を押してください。
- 一度選択した記号のメニューや記号は、次回から優先して一番最初に表示されるようになります(学習機能)。
- 記号メニューの「外字呼出」は、登録した外字を呼び出します。  
参照 P.134 「外字を呼び出す」
- 記号メニューの「2桁数字」は、2桁で1文字となる数字を入力します。  
参照 P.65 「たて書きで2桁の数字を印刷する」
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下の働きをします。
  - 罫** : 罫入力記号  
縦罫線を入力します。  
参照 P.83 「外枠・表組み」
  - ┌** : 全角スペース  
全角のスペースを入力します。  
参照 P.41 「全角スペース」
- 記号メニューの「合成」内の記号は、文字やその他の記号と合成することができます。  
参照 P.43 「丸つき文字などを入力する(合成)」

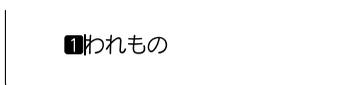
## 丸つき文字などを入力する(合成)

文字や記号を、○や□などの「合成記号」と合成してオリジナルの文字を作ることができます。「合成記号」には○×□□があります。文字や記号のほか、2桁数字、外字なども合成することができます。

例：



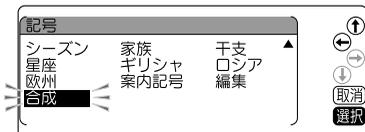
- 1 合成文字を入力する位置にカーソルを合わせる



- 2 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

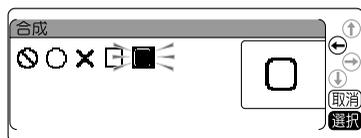
- 3 「合成」を選び、「選択」を押す



「合成記号」が表示されます。

- 4 記号を選び、「選択」を押す

例の場合は、「□」を選び、「選択」を押します。

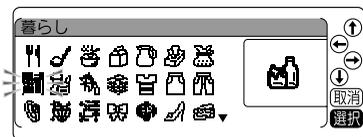


合成マークと入力エリアが表示されます。



- 5 カーソルが合成マークの右にあることを確認し、合成する文字や記号を入力する

例の場合は、「記号」を押して「暮らし」メニューから「🍷」を選び、「選択」を押します。



入力エリアに合成する文字や記号が表示されます。



## MEMO

- 操作を途中でやめるときは「削除」または「記号」を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、「記号」ボタンで合成文字を入力することはできません。
- 文字によっては、「合成記号」から文字や記号などがみ出すことがあります。
- 文字サイズによっては、「合成記号」○×□□の一部が欠けることがあります。
- 合成文字を2文字以上続けて入力することはできません。続けて「合成記号」を入力すると、最初の合成文字の内容が置き換わってしまいます。続けて入力せずに、間にスペースなどを入れて入力し、その後にスペースを削除してください。
- 連番、バーコードは合成できません。
- 記号メニューの「数字」内には、1～20の丸つき数字があります。

## 5. 印刷イメージを確認する(プレビュー)

文字の入力が終わったら印刷します。印刷前に、印刷するイメージをディスプレイに表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

### ① テープカートリッジを正しくセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

### ② **シフト**を押しながら<sup>みえ</sup>**○**(=プレビュー)を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

イメージの表示中に **無変換** **変換 スペース** **←** **↑** **↓** **→** のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。



### MEMO

プレビューを途中でやめるときは **削除取消** または **選択** を押してください。

### !! 注意 !!

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面・特殊フォーム入力時です。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープがありません!」と表示されプレビューは表示されません。
- 本機では、16m以上のラベルは印刷できません。印刷結果が16mを超える文章を入力した場合、プレビューは表示されず、ディスプレイに「入力した文章が長すぎます」のメッセージが表示されます。この場合は、いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー!」が表示され、プレビューは表示されません。
- QRコードが大きい場合、「QRコードが大きすぎます!」が表示され、プレビューは表示されません。参照 **P.146** 「QRコードを印刷する」
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

## 6. 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、ACアダプタ(AS1527J)を正しく接続しているかを確認してください。

### 1 印刷を押す

「準備中」と表示された後、できあがるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。



印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。印刷を途中でやめるときは印刷取消を押してください。

### MEMO

- 印刷中にON/OFF(ON/OFF)ボタンを押すと印刷を中止し、テープをカットした後に電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと、ディスプレイに印刷枚数が表示されます。
- 印刷枚数表示は、印刷内容(文字や書式など)を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。また、印刷枚数99枚の次は「100枚」その次は「1枚」と表示されます。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約20mmカットされます。
  - 余白が「極少」、「少なめ」の場合(全テープ幅)
  - 余白が「自動少なめ」の場合(36mm幅テープ以外)
  - 余白が「自動多め」の場合(4mm、6mm幅テープ)
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- 特殊印刷(連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷)をおこなう場合は、印刷取消ボタンで印刷します。参照P.148「特殊な印刷(ぞくぞく、でか²)」

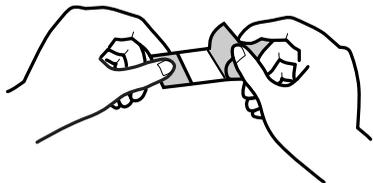
### !! 注意 !!

- 反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルは「自動カット」を無効で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。参照P.58「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
- 参照P.165「テープカートリッジを使いわせる」
- 反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・ケーブル表示ラベルを使う場合は、ハーフカットを無効にしてください。参照P.58「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
- 参照P.165「テープカートリッジを使いわせる」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷を開始するまでの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 仮確定文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、印刷が中断します。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープがありません!」が表示されます。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー!」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- QRコードが大きい場合、「QRコードが大きすぎます!」が表示され、印刷できません。参照P.146「QRコードを印刷する」
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

## 7. ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

### ① 裏紙をはがす



ハーフカットを有効にしておけば、ラベル部分のみをカットするので、裏紙をはがしやすくなります。

参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ② しっかりとこすって貼り付ける



### MEMO

印刷したラベルのカドを丸くすることができます。

参照 P.61「カドを丸く仕上げる」

### !! 注意 !!

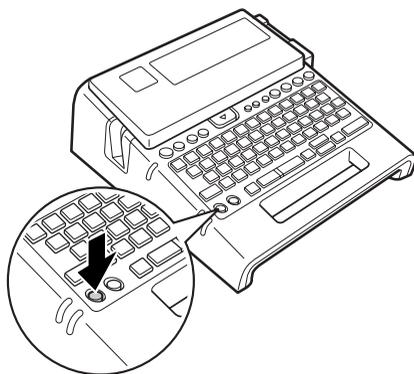
- ラベルの種類によっては、裏紙をはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにむやみにラベルを貼るのはやめましょう。
- 「テブラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

# ●使い終わったら 〈電源を切る〉

## ① (ON/OFF)を押す

電源が入っている状態で  (ON/OFF)を押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。



## ② ACアダプタ(AS1527J)をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

### !! 注意 !!

- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。電池を取りはずしても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

### つづいて

以上で基本的な操作は終了です。続いて「使いかた編2」で複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。



# 使いかた編 2

～目的にあったラベルを作ろう～

複数行のラベルにしたり、文章を段落に分けるなど、文章を仕上げる機能を  
確認しましょう。

また、印刷機能を設定したり、「カド丸仕上げ」にするなど用途に合わせた  
ラベルを作りましょう。

# ●文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

## カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入・削除する位置を表します。



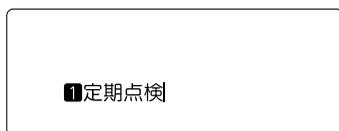
カーソルの移動にはカーソルボタン     を使います。

本機のディスプレイには最大 15 文字×5 行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
	右方向に 1 文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	左方向に 1 文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	前(上)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	次(下)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
	行末へ移動します。 繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
	段落の先頭へ移動します。 繰り返すと、前の段落の先頭、さらに前の段落の先頭……と移動します。
	段落の終わりへ移動します。 繰り返すと、次の段落の終わり、さらに次の段落の終わり……と移動します。

 となっている表記は、 を押しながらそのボタンを押す操作です。

## 文章を入力する



文字はキーボードの文字ボタンで入力し、 を押して漢字などに変換します。

参照  P.34 「手順どおりに作ってみよう」

## 文字を削除/挿入する

文字の後ろ(右側)にカーソルを合わせ<sup>削除</sup>を押すと文字が削除されます。

文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

**例**：「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

**1**   で「期」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

**1** 定期点検実施中

**2**  を押して「定期」を削除する

**1** 定期点検実施中



**1** 点検実施中

カーソル位置は行頭になります。

**3** 「特別」を入力する

**1** 特別点検実施中

### !! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数(約500文字)をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク(◀)が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

### MEMO

間違って文字を削除した場合は、削除した直後なら<sup>復活</sup>ボタンで復活できます。

## 削除した文字をもとに戻す(復活)

削除した文字や文章は、削除した直後なら<sup>復活</sup>ボタンで復活できます。

**例**：「定期点検実施中」の「定期」を削除してから復活する

**1** 「定期点検実施中」を入力する

**1** 定期点検実施中

**2**   で「期」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

**3**  を2回押して「定期」を消す

**1** 定期点検実施中



**1** 点検実施中

**4**  を押す

削除した文字が復活します。

**1** 定期点検実施中

### MEMO

- 仮確定の状態では削除した文字は、復活できません。
- 削除直後に     シフト 
-  (みえ?) 以外のボタンを押した場合は、次に  を押しても復活できません。
-  ボタンで削除した文字を30文字まで記憶できます。
- 全文消去、段落消去も復活できます。
- 文字の貼り付けをやめることもできます。

## 文字をコピーする

すでに入力した文字をコピーすることができます。

**例**：「定期点検実施中、特別点検実施中」で2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

- 1行目に「定期点検実施中」、2行目に「特別」を入力する
- ← ↑ ↓ → で「点」の前(左側)にカーソルを合わせる

1 定期点検実施中  
2 特別

- 3 **コピー**を押す  
コピー範囲を指定する画面になります。

- 4 ← → で範囲を指定し、**選択**を押す

? 範囲を指定して**選択**ボタン

1 定期点検実施中  
2 特別

指定した範囲がネガ表示になり、**選択**を押すと一時的に記憶されます。このあとの貼り付け操作で文字を貼り付けます。

### MEMO

- 一度にコピーできる文字は30文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーや貼り付けはできません。

## 文字を貼り付ける

コピーした文字は、あらたにコピーするまで何度でも貼り付けることができます。

- 1 ← ↑ ↓ → で貼り付け先にカーソルを合わせる

2 特別

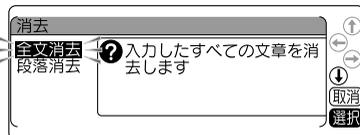
- 2 **シフト**を押しながら**コピー**(=貼付け)を押す  
コピーされた文字が挿入されます。

2 特別点検実施中

## すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

- 1 **シフト**を押しながら**削除**(=消去)を押す  
「消去」メニューが表示されます。



- 2 「全文消去」を選び、**選択**を押す  
ディスプレイが一瞬消灯し、全文消去されます。消去後は、テキスト画面に戻ります。

1

カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。

参照 P.57 「特定の段落を消去する」

### !! 注意 !!

入力した文章には、編集機能の指定内容が一緒に含まれています。全文消去をおこなうと、これらの内容もすべて消去されます。消去してもよいかを充分に確認してから全文消去をおこなってください。

### MEMO

- 削除した直後なら**復活**ボタンで復活できます。
- 全文消去では、以下の内容は消去されません。  
ファイル・あて名・名前・辞書・外字データ、文字地紋データ、創作地紋データ、編集の保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態、「みえ?」の状態
- すべてを購入時の設定に戻りたいときは、本機の初期化をおこなってください。  
参照 P.157 「本機を初期化する」

# ●行を増やす(改行)

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます( **選択 改行** を押します)。

## テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから36mmまでの幅のテープを使うことができます。

セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24 * mm	36mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	5行まで	7行まで	10行まで	13行まで

## MEMO

- 24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「\*」のついた24 \* mm幅テープは10行まで印刷できます。品番末尾に「\*」のつかない24mm幅テープは7行まで印刷できます。
- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク **1 2**……**☒**、**1 0**……**☒**と、実質行頭マーク **1 2**……**☒**、**1 0**……**☒**の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒☒**はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。**☒**の表示がある時に**印刷**を押しても「行数オーバー！」が表示されます。不要な行を削除し、**☒**の表示がなくなったことを確認してから印刷をおこなってください。  
参照 **P.166** 「こんな表示が出たときは - 行数オーバー！」

## 新しい行を作る

行の終わりで **選択 改行** を押すと、新しい行に入力することができます(改行)。

**例** : 3行の文章を入力する

営業1課  
営業2課  
営業3課

**1** 「営業1課」を入力し、**選択 改行** を押す

**1** 営業1課



**選択 改行**

2行目に行頭マークが表示されます。

**1** 営業1課  
**2**

**2** 「営業2課」を入力し、**選択 改行** を押す

**1** 営業1課  
**2** 営業2課



**選択 改行**

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を  
入力します。

**2** 営業2課  
**3**

## MEMO

仮確定文字があるときは、**選択 改行** を押しても改行できず、文字が確定します。

## 文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ(右側)の文字は次の行に移ります。

例：「営業1課田中慶介」を2行にする

営業1課田中慶介



途中で改行すると

営業1課  
田中慶介

- ① で「課」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

① 営業1課田中慶介

- ② を押す  
2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

① 営業1課  
② 田中慶介

### MEMO

仮確定文字があるときは、 を押しても改行はできず、文字が確定します。

## 改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事  
営業部  
営業1課  
田中慶介



途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事  
営業部営業1課  
田中慶介

- ① 3行目の行頭マーク の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

① 株式会社、○×商事  
② 営業部  
③ 営業1課  
④ 田中慶介

- ② を押す  
3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。  
4行目の「田中慶介」が3行目になります。

① 株式会社、○×商事  
② 営業部営業1課  
③ 田中慶介

### MEMO

- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、 を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク ① は削除できません。

# ●段落を増やす(改段落)

下のラベルは3つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼んでいます。段落とはテープ幅に積み重ねて印刷される「行の集まり(または1行)」のことです。1つのラベルの中にいくつもの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。

段落は1つのラベル(文章)の中に最大32段落まで作ることができます。

## 段落が3つのラベル



印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では下記のように各段落が縦にならんだ形になります。

【画面上では】

段落1	1 ☎
段落2	1 内線 2 営業部
段落3	1 営業1課 131 2 営業2課 132 3 営業3課 133

## 新しい段落を作る

段落の終わりで`シフト`を押しながら`選択 改行`(=改段落)を押すと、新しい段落ができます。

例：2段落の文章を入力する

☎ 内線 営業部	営業1課	131
	営業2課	132
	営業3課	133
段落1	段落2	

### 1 段落1を入力する

1行目に「☎内線」、2行目「営業部」と入力します。

☎ 内線
② 営業部

### 2 文末にカーソルを合わせ、`シフト`を押しながら`選択 改行`(=改段落)を押す

新しい段落が発生し、その1行目の行頭マーク①が表示されます。

② 営業部
①

### 3 段落2を入力する

1行目「営業1課 131」  
2行目「営業2課 132」  
3行目「営業3課 133」  
と入力します。

改行のときは、行の終わりで`選択 改行`を押してください。

② 営業2課	132
③ 営業3課	133

## 段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ(右側)の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす

☎ 内線 営業部	営業1課	131
	営業2課	132
	営業3課	133
段落1	段落2	

↓ 段落1の「☎」の後ろ(右側)で改段落すると

☎ 内線 営業部	営業1課	131
	営業2課	132
	営業3課	133
段落1	段落2	段落3

### 1 段落1の1行目「☎」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

☎ 内線
② 営業部

### 2 `シフト`を押しながら`選択 改行`(=改段落)を押す

改段落され、カーソルより後ろ(右側)の文字は新しくできた段落に移ります。カーソルは新しい段落の1行目にあります。段落2はそのまま段落3に移ります。

☎ 内線
------

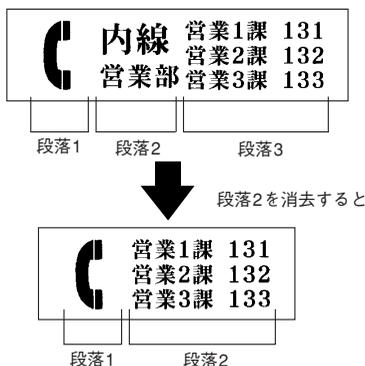
## MEMO

- 仮確定文字があるときは、`シフト`を押しながら`選択 改行`を押しても改段落はできず、文字が確定します。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。  
参照 ☞ P.78 「機能の説明(段落スタイル)」
- もとの段落スタイルの文字サイズに行数が指定されていると、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しくなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。  
参照 ☞ P.79 「文字サイズ」

## 特定の段落を消去する

不要な段落を消去します。段落を消去すると、文字だけではなくその段落に指定された段落スタイル指定、文字モードの指定内容もすべて消去されます。

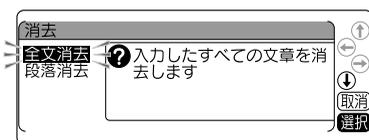
**例**：段落 2 を消去する



- 1** 消去する段落2にカーソルを合わせる  
カーソル位置は消したい段落内ならどこでもかまいません。

1 内線  
2 営業部

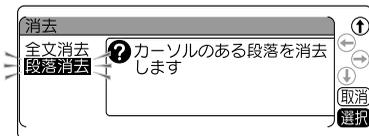
- 2** **シフト**を押しながら **削除** (=消去) を押す  
「消去」メニューが表示されます。



### !! 注意 !!

「全文消去」で **選択** を押すと、入力したすべての文章が消去されます。ご注意ください。

- 3** **↑** **↓** で「段落消去」を選ぶ



- 4** **選択** を押す  
ディスプレイが一瞬消灯し、段落が消去されます。消去が終わるとテキスト画面に戻ります。

1 1  
1 営業1課 131

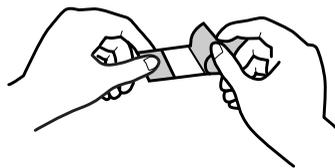
### MEMO

- 段落消去をおこなうと、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落消去は十分に確認してからおこなってください。
- 間違って消去した全文・段落は、消去した直後なら **復活** ボタンで復活させることができます。ただし、段落消去後に **←** **↑** **↓** **→** **シフト** **入力** (みえ?) 以外のボタンを押すと、消去された全文・段落を復活させることはできません。
- 段落消去を途中でやめるときは、**削除** を押してください。

# ●印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する

本機には、印刷時に、ラベルを自動的にカットする「自動カット」と、ラベル部分にスリットを入れ、はがしやすくする「ハーフカット」機能があります。

ハーフカットを有効にして印刷すると、ラベル部分にスリットが入るので、はがしやすくなります。ハーフカットが有効になっているときは、ハーフカットランプが点灯します。



## !! 注意 !!

- 本機のカッターでカットできない反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルを使う場合は、自動カットを無効にして印刷してください。

参照 P.165 「テープカートリッジを使い替える」

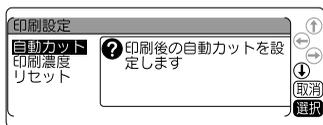
- ハーフカットのできない反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・ケーブル表示ラベルを使う場合は、ハーフカットを無効にして印刷してください。

参照 P.165 「テープカートリッジを使い替える」

## 自動カットとハーフカットを無効にする

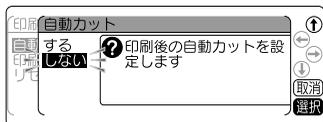
- 1 **シフト**を押しながら **印刷設定** (=印刷設定) を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。

- 2 「自動カット」を選び、**選択**を押す



「自動カット」が表示されます。

- 3 **↑**、**↓**で「しない」を選び、**選択**を押す

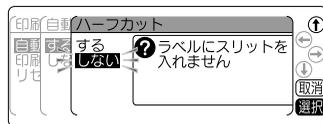


自動カットとハーフカットが無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

## 自動カットを有効、ハーフカットを無効にする

左の手順③で「する」を選ぶと自動カットは有効となり、「ハーフカット」メニューが表示されます。手順④の操作をおこなってください。

- 4 **↑**、**↓**で「しない」を選び、**選択**を押す



ハーフカットのみ無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

- 自動カットとハーフカットをともに有効にする場合は、手順③、④で「する」を選びます。
- 自動カットなしで印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 自動カットが無効でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができません。

参照  P.31 「5.テープ送りをする」

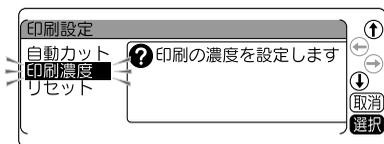
- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約20mm以下のラベルは印刷できません。ハーフカットが有効の場合は、長さ8mm以上のラベルを印刷できます。
  - 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約20mmカットされます。
    - ・ 余白が「極少」、「少なめ」の場合(全テープ幅)
    - ・ 余白が「自動少なめ」の場合(36mm幅テープ以外)
    - ・ 余白が「自動多め」の場合(4mm、6mm幅テープ)
  - カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
- 参照  P.204 「アフターサービスについて」

# ●印刷濃度を調整する

印刷濃度は7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「0」でご使用ください。

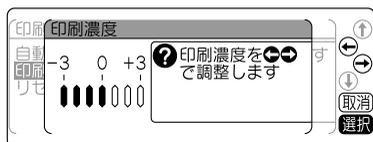
① **シフト**を押しながら**設定**(=印刷設定)を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。

② **↑****↓**で「印刷濃度」を選び、**選択**を押す



「印刷濃度」が表示されます。

③ **←****→**で濃度を調整し、**選択**を押す



印刷濃度が設定されます。

## MEMO

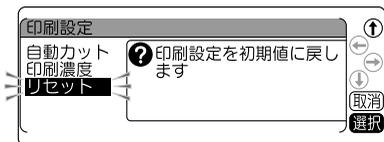
- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度にあわせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「0」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がつぶれたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 反射ラベル・透明つや消しラベルを使う場合や、上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベルで印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。  
参照 [P.165](#)「テープカートリッジを使いかわける」

# ●印刷設定をリセットする

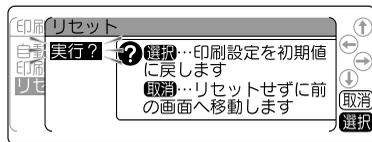
自動カットと印刷濃度の設定をご購入時の状態(初期設定値)に戻します。

① **シフト**を押しながら**設定**(=印刷設定)を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。

② **↑****↓**で「リセット」を選び、**選択**を押す



③ 「実行？」を選び、**選択**を押す



自動カットと印刷濃度の設定が初期設定値になります。

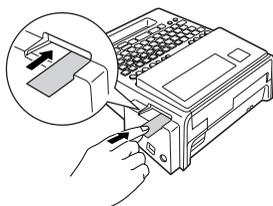
# ●カドを丸く仕上げる

ラベルをトリマー差込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げることができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよければかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

## 9mm、12mm、18mm、24mm幅テープのとき

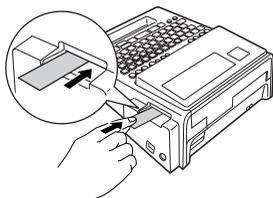
ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

- 1 ラベルの片側をトリマー差込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く  
カドが丸くカットされているか確認します。

- 3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする



## 36mm幅テープのとき

左右のカドが同時にカットされます。

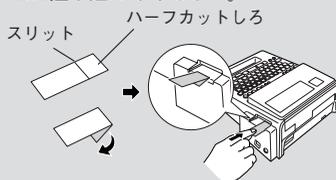
- 1 ラベルの左右をトリマー差込み口のガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む
- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

お得なセット!  
初回限定版Box



## MEMO

- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げ、トリマー差込み口に差し込んでください。



- ご購入時、「カド丸トレイ」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。

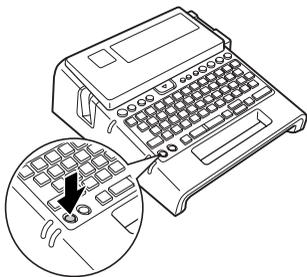
## !! 注意 !!

- 印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
- ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- ラベルはつき当たるまでしっかりと差し込んでください。
- オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、うまくカドが丸くカットされないことがあります。
- トリマー差込み口には、シャープペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れしないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
- 4mm幅、6mm幅ラベルには、オートトリマーを使用できません。トリマー (RT36W) を使ってカットしてください。  
参照 P.11 「別売品のご案内」
- 反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・上質紙ラベル・ふせん紙ラベルはカットできませんので、オートトリマーに差し込まないでください。  
参照 P.165 「テープカートリッジを使い分ける」

# オートトリマーのお手入れ

「カド丸トレー」にはオートトリマーの切りクズがたまりまます。ときどき「カド丸トレー」をはずして掃除してください。

## ① (ON/OFF) を押して電源を切る



### 警告

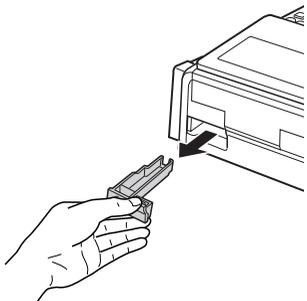


「カド丸トレー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「カド丸トレー」をはずしたまま作動させると刃で指を切ったりするなど、大変危険です。

また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

## ② 「カド丸トレー」をはずす

「カド丸トレー」の下側に指を入れ手前に引きます。



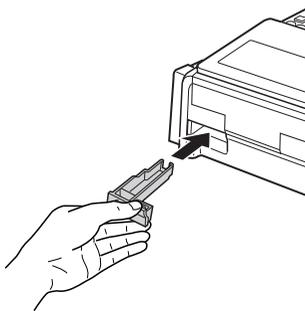
## ③ 切りクズを取りのぞく

「カド丸トレー」内にたまった切りクズを市販の綿棒などで取りのぞきます。



## ④ 「カド丸トレー」をはめる

「カド丸トレー」をもとのように取り付けます。



### MEMO

オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.204 「アフターサービスについて」

# 機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「ラベルの向きを変えたい」

「ラベルを見栄えよくしたい」

「入力した文章を保存しておきたい」

こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

# ●ラベルの向きを変える(縦・横)

本機には、ラベルの向きをワンタッチで変えられる○(縦・横)ボタンがあります。

## ○(縦・横)ボタンを使う

○(縦・横)ボタンを使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」で切り換えられます。

よこ書きラベル



たて書きラベル



### 1 ○(縦・横)を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。たて書き・よこ書きは、ディスプレイのインジケータで確認できます。

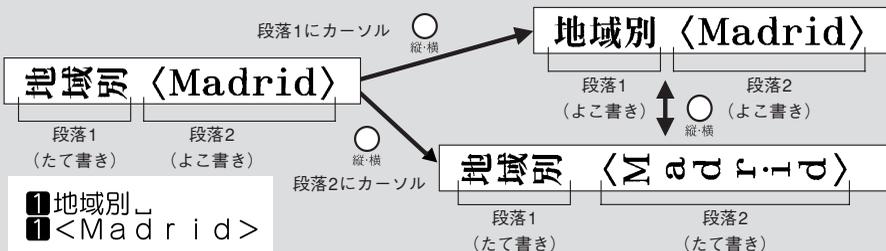


## MEMO

- ・仮確定文字があるとき、「たて書き」「よこ書き」は変更できません。
- ・編集機能の「縦・横」では文章全体または段落単位で指定できます。参照 P.67 「ラベルの見栄えをよくする(編集)」
- ・編集機能の「縦・横」で「縦型よこ書」を指定している段落は、○(縦・横)ボタンで変更できません。参照 P.78 「縦・横」

## !! 注意 !!

○(縦・横)ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が文章全体に反映されます。



## たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「02 年大会記録」を入力する

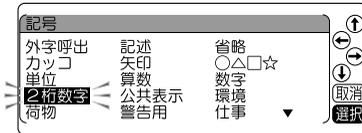
02 年大会記録

① **縦・横**を押して、「たて書き」を指定する



② **記号**を押す  
「記号」メニューが表示されます。

③ 「2桁数字」を選び、**選択 改行**を押す



数字入力画面が表示されます。

④ 2桁の数字を入力し、**選択**を押す  
ここでは「0」、「2」と押し、**選択**を押します。



カーソルの位置に「02」が表示されます。

⑤ 続けて文章を入力する



## MEMO

- 操作を途中でやめるときは**削除**または**記号**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 2桁の数字は、**記号**を押して「2桁数字」を選んで入力します。テキスト画面での入力では2桁数字にはなりません。
- 仮確定文字があるときは、**記号**ボタンで2桁数字は入力できません。

# ●ラベルの長さを整える(らく<sup>2</sup>)

○(らく<sup>2</sup>)ボタンを使うと、文字サイズを「均等」または「らく<sup>2</sup>」に切り換えられます。

「らく<sup>2</sup>」を選ぶと、すべての行ができるだけ同じ長さになるように文字サイズを自動調整します。1行の場合でも、文字数が多い場合は全体が長くなりすぎないように文字サイズを調整します。

「均等」を選ぶとすべての行を同じ文字サイズにします。

2行で「均等」を指定

鈴木商店  
☎03-13XX-13XX



2行で「らく<sup>2</sup>」を指定

鈴木商店  
☎03-13XX-13XX

**1** ラベルの文章を入力する  
参照 P.35 「文字を入力する」

**2** ○(らく<sup>2</sup>)を押す  
「均等」または「らく<sup>2</sup>」は、ディスプレイのインジケーターで確認できます。  
「らく<sup>2</sup>」の場合は、文字サイズを自動調整します。  
「均等」の場合は、すべての行を同じ文字サイズにします。



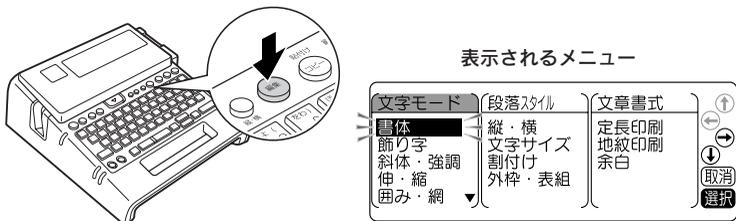
## MEMO

- 仮確定文字があるとき、「均等」「らく<sup>2</sup>」は変更できません。
- ○(らく<sup>2</sup>)ボタンは編集機能の「文字サイズ」が「均等」または「らく<sup>2</sup>」に指定されているときのみ有効です。「おまかせフォーマット」や「自由のび<sup>2</sup>」で文字サイズを行ごとに指定している場合は、変更できません。  
参照 P.79 「文字サイズ」

# ●ラベルの見栄えをよくする(編集)

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

ラベルの見た目を変えるには、**編集** ボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。機能は、指定可能な範囲の違いによって、文字モード・段落スタイル・文章書式に分類されています。

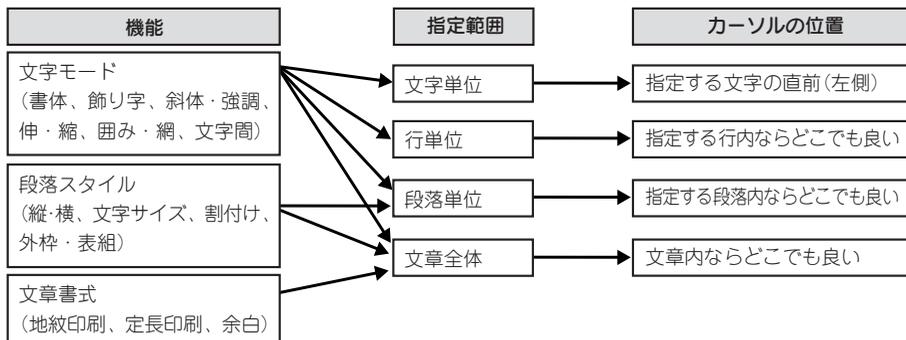


編集ボタンの機能

機能の分類	指定範囲	機能	内容
文字モード	文字単位 行単位 段落単位 文章全体	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		飾り字	淡文字、白文字、影文字、白抜影の装飾をします。
		斜体・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。
		伸・縮	文字を伸縮して変形します。
		囲み・網	下線、網かけ、囲みの装飾をします。
段落スタイル	段落単位 文章全体	文字間	文字の間隔を狭くしたり、広くしたりします。
		縦・横	たて書きや、よこ書き、縦型よこ書きにします。
		文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		割付け	各行の割りつけ位置を指定できます。
文章書式	文章全体	外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
		定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。

編集の指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、**編集** ボタンを押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



# 編集を指定する

編集は以下のような流れで指定します。

## 1 カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前(左側)にカーソルを合わせます。  
行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。  
文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。  
参照 P.67「編集の指定範囲とカーソルの位置について」

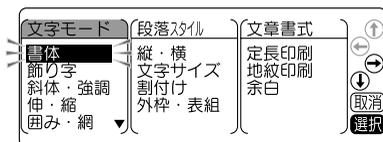
## 2 を押す

### !! 注意 !!

文章中に仮確定の文字があるときは、編集は指定できません。

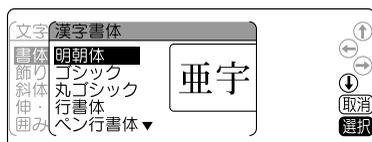
## 3 機能を選ぶ

    で目的の機能を選び、 を押します。



## 4 各機能の選択肢を指定する

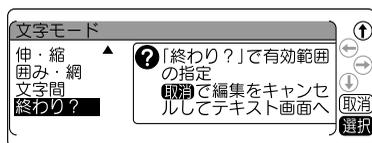
  で目的の選択肢を選び、 を押します。



## 5 「終わり？」を選ぶ

1つの機能の指定が終わると、「終わり？」が表示されます。

同じ分類の機能(この場合「文字モード」)であれば、続けて指定することができます。  で目的の機能を選び、 を押します。  
以降の手順は④⑤と同様です。



指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、 を押します。  
手順⑥へ進みます。

### MEMO

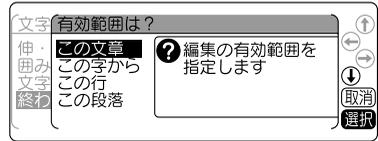
異なる分類の機能(この場合「段落スタイル」「文章書式」)を指定したい場合は、手順⑦の「編集続行？」で「する」を選択してください。

## 6 指定した機能の有効範囲を決める

指定した機能の有効範囲を指定します。

下表を参考に、  で指定する範囲を選び、 を押します。

「文章書式」の機能を選択した場合は、有効範囲の画面は表示されませんので手順7へ進みます。



### ● 「文字モード」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した文字モードを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末(または、次の「▶」)まで、指定した文字モードを反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

### ● 「段落スタイル」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。

### ● 「文章書式」の機能を指定した場合

有効範囲の画面は表示されません。

手順5で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。

## MEMO

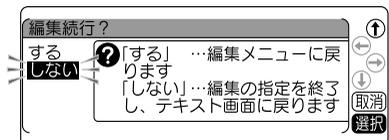
- 「▶(文字モード指定マーク)」は印刷されません。
- 「▶」は削除することができます。
- 「▶」を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。「▶」がない場合は、「この文章」で指定した内容、または編集の保存値を反映します。
- 編集にある各機能のご購入時の状態(初期設定値)はP.70「編集メニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.154「編集機能の保存値を設定する」で変更することもできます。
- 編集の指定の途中で  または  を押すと、1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すと、編集の指定を解除しテキスト画面に戻ることができます。
- 一部の編集の指定内容は、インジケータの点灯で確認できます。  
参照  P.22「ディスプレイの見かたとはたらき」  
また、 を押して、各機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

## 7 編集を続けるかどうかを決める

  で編集を続けるかどうかを選び、 を押します。

「しない」にした場合は編集を終了し、テキスト画面に戻ります。

「する」にした場合は手順3の編集メニューが表示されます。続けて、編集の各機能を指定することができます。





メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------

<b>文字モード</b> <b>伸・縮</b> ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>伸・縮</b>            行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく(小さく)するかを指定します。基本文字サイズに対して「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。            参照  P.76         </div>	<b>A</b> <b>ふつつ</b> <b>A</b> 縮める ▶ <b>A</b> 小さく <b>A</b> 伸ばす <b>A</b> 細かく	(小さく、細かくのみ) <b>A</b> <sup>A</sup> 中並び <b>A</b> <sub>A</sub> <b>下並び</b>	
	<b>囲み・網</b> ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>囲み・網</b>            下線や文字囲み、網かけなどを指定します。網は網濃度が選べます。            参照  P.76         </div>	<b>A</b> <b>なし</b> <b>A</b> 訂正線 ▶ <b>A</b> 網かけ <b>A</b> 下線 <b>A</b> 角囲み網 <b>A</b> 角囲み <b>A</b> 丸囲み網 <b>A</b> 丸囲み	(網かけ、角囲み網、丸囲み網のみ) <b>網濃度</b> <b>ふつつ</b> 濃い ベタ
	<b>文字間</b> ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>文字間</b>            文字間隔を調整します。「ピッチ自動」は英数字にプロポーショナルがかかり、「ピッチ固定」は英数字も全角扱いになります。            参照  P.77         </div>	<b>密着</b> ▶ 狭い <b>ふつつ</b> 広い	<b>ピッチ</b> <b>ピッチ自動</b> ピッチ固定
	<b>終わり?</b> ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>終わり?</b>            指定後のみ表示され、文字モードの範囲を指定します。            参照  P.69         </div>	<b>有効範囲は?</b> <b>この文章</b> この字から この行 この段落	<b>編集続行?</b> する <b>しない</b>

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------

**段落スタイル**

**縦・横** ▶

縦・横  
文字の向きを指定します。  
参照 P.78

**文字サイズ** ▶

均等  
各行を同じ文字サイズにします。

らく<sup>2</sup>  
入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。

おまかせフォーマット  
各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。

自由のび<sup>2</sup>  
行ごとに文字の大きさを指定します。  
参照 P.79、81

たて書き  
よこ書き  
縦型よこ書

自動

均等  
らく<sup>2</sup>

(おまかせフォーマット)

1行 ▶

特大 1a 小 1d  
 大 1b 細 1e  
 中 1c

2行 ▶

自由のび<sup>2</sup>

大大 2a 大小 2c  
 中中 2b 小大 2d

3行 ▶

自由のび<sup>2</sup>

均等 3a 2大 3c  
 1大 3b 3大 3d

4行 ▶

自由のび<sup>2</sup>

均等 4a 3大 4d  
 1大 4b 4大 4e  
 2大 4c

5行 ▶

自由のび<sup>2</sup>

均等 5a 3大 5d  
 1大 5b 4大 5e  
 2大 5c 5大 5f

6行 ▶

自由のび<sup>2</sup>

均等 6a 下大 6c  
 上大 6b

7-13行 ▶

自由のび<sup>2</sup>  
均等

編集

機能編

### 段落スタイル

#### 割付け

##### 割付け

各行の文字の配置を指定します。

参照 P.82



#### 外枠・表組

##### 外枠

ピクトグラフのような飾り枠がつけられます。

「?二?」(記号外枠)はオリジナルの外枠を作ります。

参照 P.83

なし

外枠 ▶

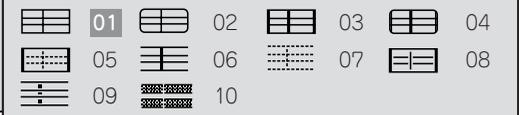


##### 表組み

ピクトグラフのような表組みのラベルを作ります。

参照 P.83

表組み ▶



#### 終わり?

##### 終わり?

指定後のみ表示され、段落スタイルの範囲を指定します。

参照 P.69

有効範囲は?

この文章

この段落

編集続行?

する

しない

編集

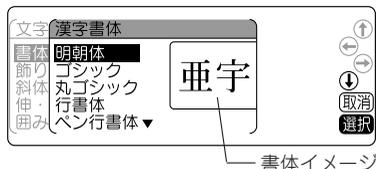
機能編

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	
<b>文章書式</b> <b>定長印刷</b> ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>定長印刷</b>            決まった長さのラベルを作ります。            参照  P.85         </div> <b>地紋印刷</b> ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>地紋印刷</b>            定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。            参照  P.87         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>文字地紋</b>            文字地紋の入ったラベルを作ります。            参照  P.87         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>創作地紋</b>            創作地紋の入ったラベルを作ります。            参照  P.87         </div> <b>余白</b> ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>余白</b>            ラベルの前後の余白を調整します。            参照  P.90         </div> <b>終わり?</b> ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>終わり?</b>            指定後のみ表示されます。            参照  P.69         </div>	<b>しない</b> VHS 数値指定 8mmビデオ A4ファイル ミニDV B5ファイル MD CDケース 音楽テープ FD・MO	(数値指定のみ) ▶ 1.0cm~95cm (数値指定以外) <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div> 前寄せ</div> <div> 割付け</div> <div> 中寄せ</div> <div> 後寄せ</div> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div> 前寄せ</div> <div> 割付け</div> <div> 中寄せ</div> <div> 後寄せ</div> </div>	
	<b>なし</b> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; gap: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 菱形</div> <div style="text-align: center;"> 海波</div> <div style="text-align: center;"> 菱網</div> <div style="text-align: center;"> 雪</div> <div style="text-align: center;"> 桜</div> <div style="text-align: center;"> 星</div> <div style="text-align: center;"> カト</div> <div style="text-align: center;"> 唐草</div> <div style="text-align: center;"> 切抜</div> <div style="text-align: center;"> 点網</div> <div style="text-align: center;"> 文字地紋 ▶</div> </div>	(点網のみ) <b>網濃度</b> <b>ふつう</b> 濃い (文字地紋のみ) ▶ 地紋の文入力画面		
	創作1~4 ▶	(創作1~4のみ) ▶	<b>創作地紋柄</b> <b>小柄</b> 大柄	
	<b>極少</b> <b>少なめ</b> ふつう 多め 自動少なめ 自動多め			
<b>編集続行?</b> する <b>しない</b>				

## 機能の説明(文字モード)

### ●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。書体イメージは、指定中のガイドで確認できます。



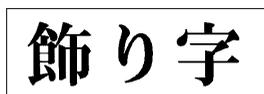
### MEMO

太型書体は、文字が太い書体です。一部の文字は大きさにかかわらず、つぶれますのでご了承ください。

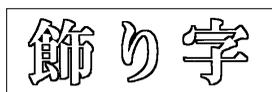
### ●飾り字

文字の装飾を選択します。

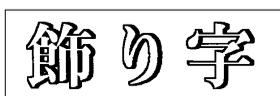
ふつう



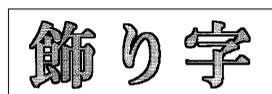
白文字



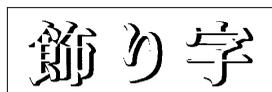
白抜影



淡文字



影文字



### MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

### ●斜体・強調

文字の斜体、強調を選択します。

正体



強調



斜体



斜強調



### MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

## ●伸・縮

各行の基本文字サイズ(行の大小)は、テープ幅・入力行数・文字サイズの段落スタイル指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

ふつう (ご購入時の初期設定値)	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
小さく-中並び/下並び	基本サイズより、1段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び/下並びから選びます。
細かく-中並び/下並び	基本サイズより、2段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び/下並びから選びます。
縮める	横の長さを基本サイズの約0.75倍にします。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約1.5倍にします。

## MEMO

- 基本文字に対して、「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。
- 英数専用書体(HV体・BR体・PL体・ST体)はベースラインが漢字書体や、かな書体と異なるため、「下並び」を指定しても漢字書体や、かな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは段落スタイルの指定で変えることができます。  
参照 P.79 「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルを作ることができます。

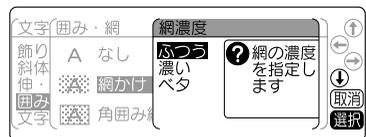
## ●囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。表示されるピクチュアグラフで囲み・網の種類を確認できます。網かけ、角囲み、丸囲み網を選択した場合は、さらに網濃度を選びます。



## !! 注意 !!

- 網濃度で「ベタ」を選ぶと、自動的に飾り字が「白文字」に指定されます。
- 網濃度の指定を変更しても、テキスト画面の印刷イメージには反映されません。
- 網濃度で「濃い」または「ベタ」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。



## ●文字間

文字の間隔を選びます。

密着

□□密着

狭い

□□狭い

ふつう

□□ふつう

広い

□□広い

さらに文字間「ピッチ自動」、「ピッチ固定」を選びます。

ピッチ自動

世界選抜 1-1 キングFC  
UEHA選抜 0-2 キングFC

「ピッチ自動」にすると、英数字にプロポーショナルやカーニングがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

ピッチ固定

世界選抜 1 - 1 キングFC  
UEHA選抜 0 - 2 キングFC

「ピッチ固定」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字(半角スペースを含む)をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「ピッチ固定」を選んでください。

## MEMO

### 文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。  
参照  P.131 「外字を使う」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルが作れます。

### カーニングとは

文字の左右の余白を重ねることで、隣合う文字の間隔を調整してバランスを整える機能です。「T」と「o」などの組み合わせは、自動的にカーニングがおこなわれ、「T o」→「To」となります。

## 機能の説明(段落スタイル)

### ●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするか、縦型よこ書きにするかを指定します。

たて書き/よこ書きの変更は  (縦・横) ボタンでも指定できます。

参照  P.64 「ラベルの向きを変える(縦・横)」

よこ書き(ご購入時の初期設定値)

よこ書き

たて書き

たて書き

縦型よこ書き

縦型  
よこ  
書き

### MEMO

縦型よこ書きを指定すると、段落スタイルの「文字サイズ」と文字モードの「文字間」の指定が反映されません。また、セットされたテープ幅によって、入力できる文字数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24*mm	36mm
入力可能な文字数	1文字	2文字	3文字	5文字	7文字	10文字	13文字

24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「\*」のついた24\*mm幅テープは10文字まで印刷できます。品番末尾に「\*」がつかない24mm幅テープは7文字まで印刷できます。

## ●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく<sup>2</sup>」「おまかせフォーマット」「自由のび<sup>2</sup>」で指定してください。  
「均等」、「らく<sup>2</sup>」の変更は<sup>らく<sup>2</sup></sup>ボタンでも指定できます。

均等	<p>各行を同じ文字サイズにします。 12mm幅テープ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>2ndアルバム 発売中!</b></p> </div> <p>18mm幅テープ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>封入特典</b> サインストイベント招待券 日時:6月10日 19:30~ 詳しくは店員まで</p> </div>
らく <sup>2</sup> (ご購入時の 初期設定値)	<p>入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します(フルオート)。 <b>1行のとき</b>:文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>「テプラ」PRO</b></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>簡単・綺麗なラベルが作れる「テプラ」PRO</b></p> </div> <p><b>2行以上のとき</b>:各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>堀之内</b> ◆0X0-20XX-20XX</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>HORINOUCHI</b> ◆0X0-20XX-20XX</p> </div> </div> <p>テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。</p>
おまかせ フォーマット	<p>各行の文字サイズ(行の大小)を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます(セミオート)。 参照 <a href="#">P.80</a> 「おまかせフォーマット」</p>
自由のび <sup>2</sup>	<p>行ごとの文字サイズを自由に選びます(マニュアル)。 参照 <a href="#">P.81</a> 「自由のび<sup>2</sup>」</p>

### MEMO

各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケータで確認できます。

## おまかせフォーマット(1行~13行)

選択肢から文字サイズ(行の大小)を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

また、「自由のび<sup>2</sup>」を選ぶと、行ごとの文字の大きさ(行の大小)を自由に指定できます。



## おまかせフォーマット 1行

特大1a・大1b・中1c・小1d・細1eと選んだ場合、テーブルにより次のような文字の大きさで印刷されます。

印字サンプル	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt]	K [72]	K' [64]	H [51]	U [38]	U' [32]	G [26]
テーブル幅	特大	大	中	小	細	—
36mm	特大	大	中	小	細	—
24 * mm	—	—	特大	大	中	小
18mm	—	—	—	特大	大	中
12mm	—	—	—	—	—	特大
9mm	—	—	—	—	—	—
6mm	—	—	—	—	—	—
4mm	—	—	—	—	—	—

印字サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt]	L [19]	L' [16]	M [13]	S [10]	S' [8]	P [6]	F [5]
テーブル幅	—	—	—	—	—	—	—
36mm	—	—	—	—	—	—	—
24 * mm	細	—	—	—	—	—	—
18mm	小	細	—	—	—	—	—
12mm	大	中	小	細	—	—	—
9mm	特大	大	中	小	細	—	—
6mm	—	—	特大	大	中	小	細
4mm	—	—	—	—	特大	大	中、小、細

## !! 注意 !!

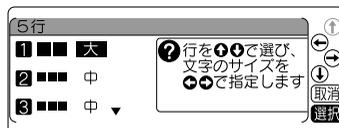
テーブルに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テーブル幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部分が機能しない場合があります。各行の文字サイズは、文字サイズインジケーターで確認してください。

## MEMO

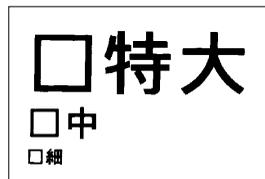
- 24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「\*」のついた24\*mm幅テープは10行まで印刷できます。品番末尾に「\*」がつかない24mm幅テープは7行まで印刷できます。
- おまかせフォーマット(2行以上)は、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

### 自由のび<sup>2</sup>

各行ごとに文字の大きさ(行の大小)を「細」「小」「中」「大」「特大」の5段階で、自由に指定できます。ただし、テープ幅や行数によっては異なるサイズを指定しても、印刷結果は同じになることがあります。



2行(18mm幅テープ)の印刷見本



3行(24mm幅テープ)の印刷見本



4行(36mm幅テープ)の印刷見本



5行(36mm幅テープ)の印刷見本

## MEMO

- これらの例は、自由のび<sup>2</sup>の組み合わせのごく一部です。
- 各行の文字サイズは文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

## ●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

 前揃え(ご購入時の初期設定値)	行頭を揃えます。
 中揃え	各行の中心を揃えます。
 割付け	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割りつけます。
 後揃え	行末を揃えます。

### MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「割付け」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

## ●外枠・表組み

文章(段落)のまわりに外枠や表組みをつけます。

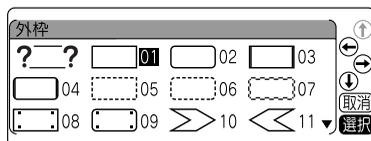
### なし(ご購入時の初期設定値)

外枠・表組みをつけません。

### 外枠

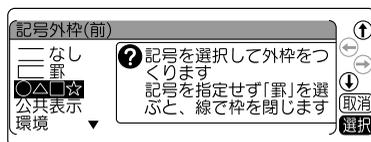
文章(段落)のまわりに外枠をつけます。

表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。



?□?を選ぶと、外枠の左右に配置する記号を選択して外枠を作れます。

参照 P.84 「記号外枠を指定する」



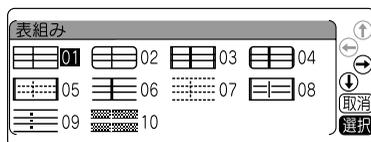
### 表組み

文章(段落)を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。

また、複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。

表示されるピクトグラフで表組の種類を確認できます。

備品名	RDS
管理番号	1103-U



## MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、(記号)を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の罫を入力します。

ラベルの行中に縦罫線が入る

備品名	RDS本館
管理番号	1103-U

段落1

段落2

テキスト画面に罫を入力する

シフト+選択改行で改段落をして、  
このように段落2を入力します。

1 RDS罫本館  
2 1103-U

## 記号外枠を指定する

記号外枠とは、外枠の前後を記号の中から選んでオリジナルの外枠を作る機能です。

例：



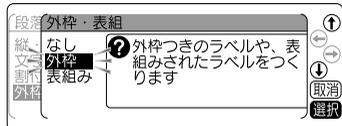
「記号外枠(前)」  
で選択した記号

「記号外枠(後)」  
で選択した記号

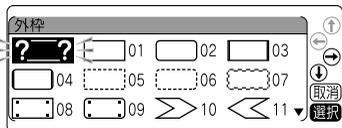
### 1 編集を押す

「編集」メニューが表示されます。

### 2 「外枠・表組」の「外枠」を選ぶ



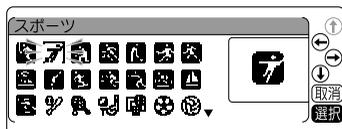
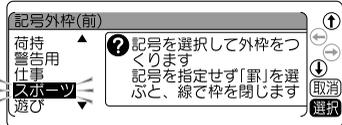
### 3 「?」を選び、「選択」を押す



記号選択メニューが表示されるので、記号外枠の前部分を指定します。

### 4 外枠の前部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「スポーツ」の中から  を選びます。

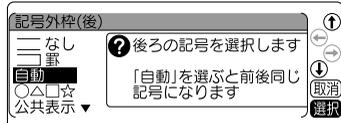


記号外枠の前部分が選択されます。続いて、後ろ部分を指定します。

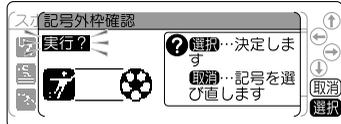
### 5 外枠の後ろ部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「スポーツ」の中から  を選びます。

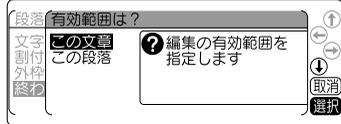
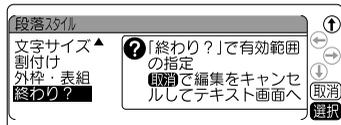
ここで「自動」を選ぶと、前部分と同じ記号が指定されます。



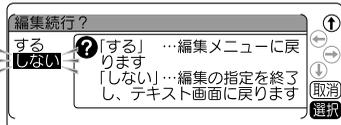
### 6 デザインを確認し、「選択」を押す



### 7 「終わり?」で「選択」を押し、「有効範囲」を指定する



### 8 「編集続行?」で「しない」を選択し、「選択」を押す



記号外枠が指定されます。

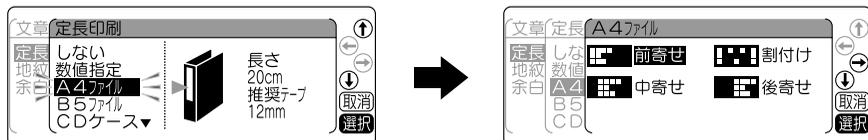


# 機能の説明(文章書式)

## ●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。

長さを指定した後、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



「数値指定」を選んだときは、ラベルの長さを指定してからラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をお奨めします。

用途	長さ	推奨テープ幅
A4ファイル	20cm	12mm
B5ファイル	15cm	12mm
CDケース	11cm	4mm
FD・MO	7.0cm	18mm、24mm、36mm
VHS	14cm	18mm
8mmビデオ	7.0cm	9mm
ミニDV	4.0cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
音楽テープ	9.5cm	9mm

## MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「入力した文章が長すぎます」が表示され、印刷できません。文字数を減らしたり、行の大小指定や文字の伸・縮の指定で文字の小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがりの長さと完全には一致しません。
- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ「1.8cm」以下のラベルは印刷できません。

## 定長内に文字をおさめる「つめ<sup>2</sup>」機能

「文字サイズ」で「らく<sup>2</sup>」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく<sup>2</sup>」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。

そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ<sup>2</sup>」機能が働きます。

### ① 一番最後の段落の文字を小さくする (図A→B)

(図A→B)

定長に入らない場合はまず、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で一番最後の段落(⑤)の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

### ② 最後から2番目の段落の文字を小さくする (図B→C)

それでも定長に入らない場合は、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で最後から2番目の段落(③)の文字サイズを1段階小さくします。

定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。

この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定し直すが、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。

A



段落①  
らく<sup>2</sup>指定

段落②

段落③  
らく<sup>2</sup>指定

段落④

段落⑤  
らく<sup>2</sup>指定

文字サイズを  
小さくした

B



段落①  
らく<sup>2</sup>指定

段落③  
らく<sup>2</sup>指定

段落⑤  
らく<sup>2</sup>指定

文字サイズを  
小さくした

C



※段落②、④が「らく<sup>2</sup>」を指定していない段落です。

## !! 注意 !!

- 「らく<sup>2</sup>」を指定していない段落は「つめ<sup>2</sup>」機能は働きません。
- 「らく<sup>2</sup>」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ<sup>2</sup>」機能による処理はおこなわれません。

## ●地紋印刷

ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



「点網」を選んだときは、さらに濃度指定ができます。

### !! 注意 !!

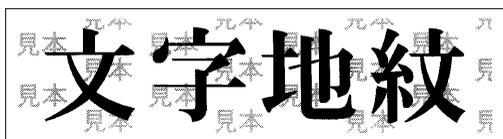
網濃度で「濃い」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。



### 文字地紋

好きな文字を入力し、地紋として印刷することができます。

参照 P.88 「文字地紋を使う」

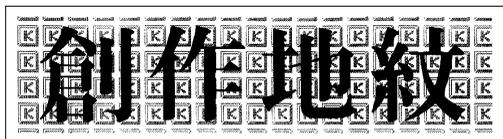


### 創作地紋

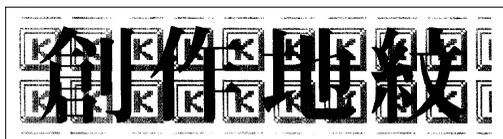
オリジナルの柄の地紋を作成します。

参照 P.89 「創作地紋を作る」

小柄



大柄



## MEMO

- 文字地紋は「文字地紋」、創作地紋は「創作1」～「創作4」のエリアに登録できます。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがあります。印刷に影響はありません。
- 地紋印刷時、ハーフカットを有効にしていると、地紋の一部分に縦の濃いラインが入る場合があります。
- 文字地紋/創作地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面でそれぞれを消去していくか、本機の初期化をおこなってください。

参照 P.157 「本機を初期化する」

## 文字地紋を使う

文字地紋を使えば、ラベルの下地にオリジナルの文字を印刷することができます。企業名を入れたラベルなども作れます。

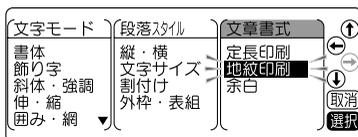
例：「5周年記念」の文字を地紋にして印刷する



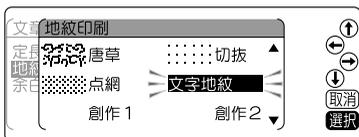
### 1 「編集」を押す

「編集」メニューが表示されます。

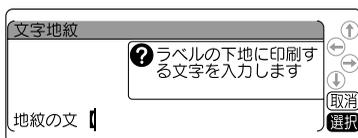
### 2 「地紋印刷」を選び、「選択」を押す



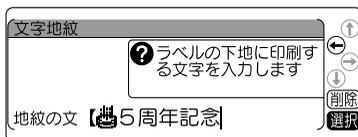
### 3 「文字地紋」を選び、「選択」を押す



「地紋の文」の入力画面になります。

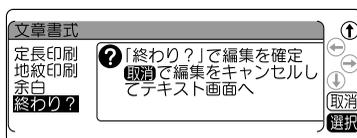


### 4 地紋の文「5周年記念」を入力し、「選択」を押す



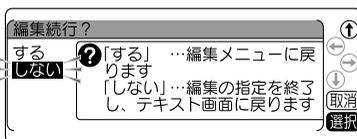
入力できる文字数は16文字までです。  
文字だけでなく、記号、外字も入力できます。

### 5 「終わり?」を選び、「選択」を押す



地紋インジケータが点灯します。

### 6 「編集続行?」で「しない」を選び、「選択」を押す



## MEMO

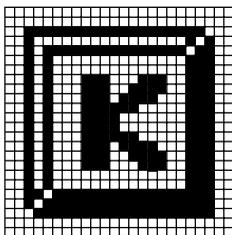
- 文字地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面で消去するか、初期化をおこなってください。参照 P.157 「本機を初期化する」
- 文字地紋に文字モードを指定するときは、**シフト**+**編集**で指定します。なお、文字モードの「囲み・網」の指定はできません。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがあります。印刷に影響はありません。

## 創作地紋を作る

24ドット×24ドットのオリジナルマークを登録し、地紋として使うことができます。登録できるマークは「創作1」～「創作4」の4個です。

会社のロゴマークなどを地紋として印刷すれば、本格的な管理用ラベルが作成できます。

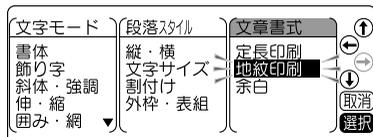
**例**：次のようなマークを「創作1」に登録する



**1** **編集**を押す

「編集」メニューが表示されます。

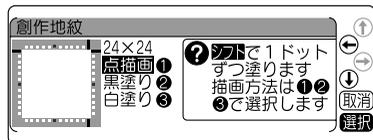
**2** 「地紋印刷」を選び、**選択**を押す



**3** 「創作1」を選び、**選択**を押す



創作地紋の描画面面になります。



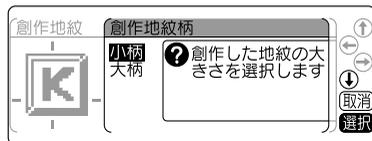
**4** 創作地紋を描画する

描画方法は、外字を作成する場合と同じです。← ↑ ↓ → で描画エリア内をカーソル移動し、**シフト** ボタンで1ドットずつ塗りつぶします。

参照 P.132 「画面表示と描画方法」

**5** 創作地紋の描画が終わったら **選択**を押す

**6** 「小柄」または「大柄」を選び、**選択**を押す

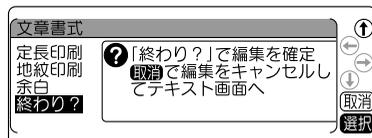


### 小柄と大柄のちがい

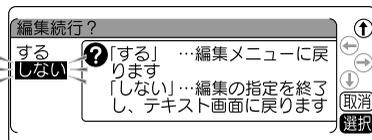
例を「小柄」と「大柄」で印刷すると以下のようになります。



**7** 「終わり？」を選び、**選択**を押す



**8** 「編集続行？」で「しない」を選び、**選択**を押す



### !! 注意 !!

- 全面が黒っぽいパターンの創作地紋は、印刷結果にムラが生じることがあります。
- 創作地紋では24ドットのデータを作成します。

## ●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少(余白：前後約1mm)

[極少]

少なめ(余白：前後約3mm)

[少なめ]

ふつう(余白：前後約10mm)

[ふつう]

多め(余白：前後約18mm)

[多め]

自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約1/3が前後の余白になります(12mm幅テープであれば余白は前後約4mm)。

[自動少なめ]

自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります(12mm幅テープであれば余白は前後約12mm)。

[自動多め]

### MEMO

ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約20mm以下のラベルは印刷できません。ラベル長さが約20mm以上になるように定長や余白を設定してください(ハーフカットが有効の場合は、長さ8mm以上のラベルを印刷できます)。

また、「極少」、「少なめ」(全テープ幅)、「自動少なめ」(36mm幅テープ以外)、「自動多め」(4mm、6mm幅テープ)を指定すると、前余白の調整のために印刷前にテープが約20mm空送りされ、カットされます。

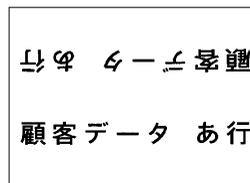
# ●デザインされたラベルを呼び出す(フォーム)

本機には名前ラベルやビデオラベルなどデザインされたフォームが登録されています。また特殊フォームとして通常の編集指定では作ることのできない、特殊なデザインのラベルも用意されています。

例：「8mmビデオ」のラベル  
(デザインフォーム)



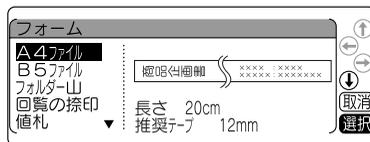
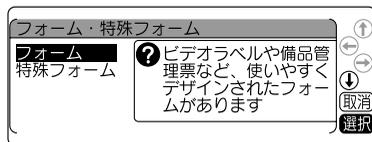
例：「見出し(横)」  
長さ 3.2cm のラベル  
(特殊フォーム)



## ラベルの作りかた

フォームは以下のような流れで利用します。

- 1 使用するフォームを決める  
使いたいフォームを選んでください。
- 2 **シフト**を押しながら、**ファイル**(=フォーム・特殊フォーム)を押す  
「フォーム・特殊フォーム」メニューが表示されます。
- 3 「フォーム」または「特殊フォーム」を選ぶ  
**↑**、**↓**で目的のフォームが含まれる項目(「フォーム」または「特殊フォーム」)を選び、**選択**を押してください。  
それぞれのメニューが選択され、選択肢を指定する画面になります。



- 4 使用するフォームを指定する  
**↑**、**↓**で目的のフォーム名を選び、**選択**を押してください。  
特殊フォームの見出し(縦)、見出し(横)、ケーブル用の場合は、ここでラベル長さを選択します。



次へ進みます



シフト + ファイル

機能編

## MEMO

操作を途中でやめるときは(削除)または(ファイル)を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

### 5 文字を入力する

フォームの場合は、テキスト画面にデザインされたフォームの内容が表示されます。次のようにはじめから入力されていますので、文字や記号を削除して内容を変更します。

例 : 1 ▶▶  
1 ▶▶世界一周旅行\_Vol.2  
2 DATE : 20XX.11.1

特殊フォームの場合は、入力画面になります。入力ガイドの後ろ(右側)にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



複数行の特殊フォームのときは、(下)を押すと次の行にカーソルが移ります。

見出し(縦)と見出し(横)では、「おもて」の行で(選択)を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

## MEMO

- 特殊フォームでの入力を途中でやめるときは(削除)または(ファイル)を押して1つ前の状態に戻ります。
- 現在の編集の指定内容は、インジケータで確認できます。
- デザインフォームで指定されている編集指定は変更できますが、特殊フォームで指定できる機能には制限があります。

参照 P.103 「特殊フォーム」

### 6 印刷する

参照 P.45 「6.印刷する」

## MEMO

特殊フォームの印刷をした後は、特殊フォームの続行を確認する画面になります。「する」を選択すると特殊フォームの画面に戻り、「しない」を選択すると通常のテキスト画面に戻ります。このときのテキスト画面には、特殊フォームを使用する前の文章が残っています。

# フォーム・特殊フォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<p><b>フォーム・特殊フォーム</b></p> <p><b>フォーム</b> ▶</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>フォーム</b>            あらかじめ作られたフォームに文字や記号を入力するだけで、いろいろなデザインのラベルを簡単に作ることができます。  <b>参照</b>  P.91、92</p> </div>	<p><b>A4ファイル</b></p> <p>B5ファイル</p> <p>フォルダー山</p> <p>回覧の捺印</p> <p>税込値札</p> <p>備品管理票</p> <p>CDケース</p> <p>FD・MO</p> <p>VHS(縦)</p> <p>VHS(横)</p> <p>8mmビデオ</p> <p>ミニDV</p> <p>MD</p> <p>音楽テープ</p> <p>DAT</p> <p>ケーブル(細)</p> <p>ケーブル(太)</p> <p>注意!</p> <p>禁止!</p> <p>メッセージ</p> <p>誕生祝い</p> <p>住所&amp;氏名</p> <p>なまえ(縦)</p> <p>なまえ(横)</p> <p>学校持ち物</p> <p>お祝い</p> <p>銘板</p> <p>QR携帯 1</p> <p>QR携帯 2</p> <p>QR携帯 3</p> <p>QR備品管理</p> <p>外国語 1</p> <p>外国語 2</p> <p>外国語 3</p> <p>外国語 4</p>	

シフト + ファイル

機能編



# フォーム見本

## デザインフォーム

- A4ファイル/B5ファイル..... A4判/B5判ファイルの背見出しラベルとして最適です。  
(推奨テープ幅：12mm)

出張申込書	経理部門：開発技術部 発案年月日：20XX年10月31日
-------	---------------------------------

1段落目

記号：2桁数字

2段落目

- フォルダー山... フォルダーの山の部分に最適です。(推奨テープ幅：12mm)

TITLE 出張ホテルデータ
-------------------

1段落のみ

- 回覧の捺印..... 回覧文書に最適です。(推奨テープ幅：12～36mm)

回覧							
----	--	--	--	--	--	--	--

1段落目

2～8段落目

## MEMO

段落を増やすと捺印の枠が増えます。

- 税込値札..... 値札に最適です。(推奨テープ幅：18～36mm)

キングジム XXXXX ¥1,050 (税込価格)
---------------------------------

1段落のみ

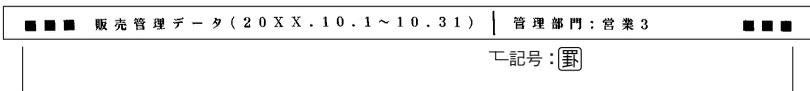
- 備品管理票..... 備品管理の表示に最適です。(推奨テープ幅：18～36mm)

備品名	デジタルPBX
管理番号	0512-S
購入年月	20XX年10月
管理部署	営業部

1段落目

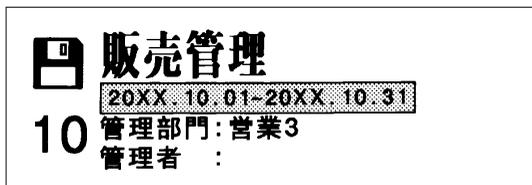
2段落目

■CDケース ..... CDケースの背ラベルに最適です。(推奨テープ幅：4mm)



1段落のみ

■FD・MO ..... FDやMOのラベルに最適です。(推奨テープ幅：18~36mm)



1段落目

2段落目

■VHS(縦) ..... VHSビデオテープのたて書きラベルに最適です。(推奨テープ幅：18mm)



1段落目

2段落目

3段落目

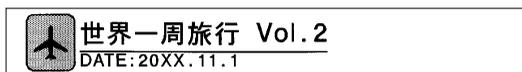
■VHS(横) ..... VHSビデオテープのよこ書きラベルに最適です。(推奨テープ幅：18mm)



1段落目

2段落目

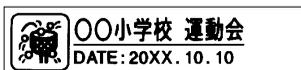
■8mmビデオ ..... 8mmビデオのラベルに最適です。(推奨テープ幅：9mm)



1段落目

2段落目

- ミニDV ..... ミニDV(デジタルビデオ)のラベルに最適です。(推奨テープ幅：9mm)



1段落目      2段落目

- MD ..... MDのタイトルラベルに最適です。(推奨テープ幅：4mm)



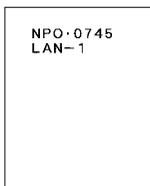
1段落のみ

- 音楽テープ/DAT ..... 音楽テープやDATのタイトルラベルに最適です。MDのケースに貼ってください。(推奨テープ幅：9mm)



1段落のみ

- ケーブル(細) ..... 24mm幅ケーブル表示ラベル用のフォームです。(推奨テープ幅：24mm)



1段落のみ

- ケーブル(太) ..... 36mm幅ケーブル表示ラベル用のフォームです。(推奨テープ幅：36mm)



1段落のみ

■注意！ ..... 注意喚起表示、警告表示に最適です。(推奨テープ幅：9～36mm)



1段落目

2段落目

■禁止！ ..... 禁止表示に最適です。(推奨テープ幅：9～36mm)



1段落目

2段落目

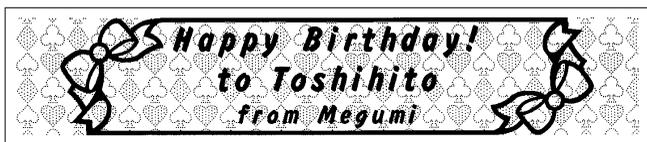
■メッセージ ..... インパクトのあるメッセージに最適です。(推奨テープ幅：9～36mm)



1段落目

2段落目

■誕生日祝い ..... 誕生日祝いの表示に最適です。(推奨テープ幅：9～36mm)



1段落のみ

■住所&氏名 ..... 住所、氏名の表示に最適です。(推奨テープ幅：12～36mm)



1段落目

2段落目

■なまえ(縦)..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：6～36mm)



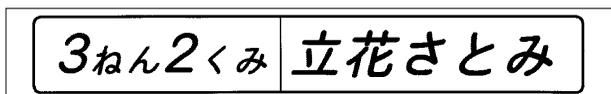
1段落目 2段落目

■なまえ(横)..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：6～36mm)



1段落目 2段落目

■学校持ち物..... 持ち物表示に最適です。(推奨テープ幅：4～36mm)



1段落目 2段落目 3段落目

■お祝い..... お祝いのラベルに最適です。(推奨テープ幅：9～36mm)



1段落のみ

■銘板..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：4～36mm)



1段落のみ

■QR携帯1 ..... 携帯電話で読取ると電話帳に登録できるQRコードです。(推奨テープ幅：36mm)



■QR携帯2 ..... 携帯電話で読取ると電話帳に登録できるQRコードです。(推奨テープ幅：36mm)



■QR携帯3 ..... 携帯電話で読取ると電話帳に登録できるQRコードです。(推奨テープ幅：36mm)



シフト + ファイル

機能編

## MEMO

- 「QR携帯1」、「QR携帯2」、「QR携帯3」のQRコードは、それぞれDoCoMo、au、Vodafoneの携帯電話での読み取り・登録に対応しています(2005年10月現在)。QRコードの読み取り・登録については、携帯電話の取扱説明書などを参照してください。
- コードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QRコードマーク(☎)の直後(右側)にカーソルを合わせ、**シフト**を押しながら **5<** (=連番・QR・バーコード)を押してください。

参照 P.146 「QRコードを印刷する」

■QR備品管理... 備品管理の表示に最適です。(推奨テープ幅：18～36mm)

備品名	607d	
管理番号	KG00206	
購入年月日	20XX年5月12日	
管理部 署	開発技術部	

1段落目

2段落目

3段落目

■外国語1 ..... お店のメッセージに最適です。(推奨テープ幅：24,36mm)



1段落のみ

■外国語2 ..... 案内表示に最適です。(推奨テープ幅：24,36mm)



〒記号：[国]

1段落目

2段落目

3段落目

4段落目

5段落目

■外国語3 ..... 値札に最適です。(推奨テープ幅：24,36mm)



1段落目

2段落目

3段落目

■外国語4 ..... 営業時間の表示に最適です。(推奨テーク幅：24,36mm)

営業時間(Business hours/营业时间/영업시간)
<b>9:00~21:00</b>
定休日(Regular holiday/休息日/정기휴일)
水曜日(Wednesday/星期三/수요일)

1段落のみ

## MEMO

「外国語1」～「外国語4」では定型外国語が使用されています。  
定型外国語の編集については、P.139「定型外国語を編集する」を参照してください。

シフト  
+  
ファイル

機  
能  
編

## 特殊フォーム

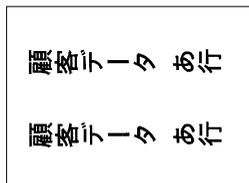
### MEMO

特殊フォームでも **シフト** を押しながら **削除** (=消去) を押しと、入力した内容の全文消去ができます。

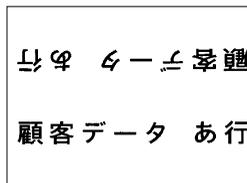
### !! 注意 !!

- 入力内容にある「おもて」「うら」や「1行目」「2行目」は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- 特殊フォームで作成した文章は、ファイルに登録できません。

■見出し(縦) ... たて書きのインデックスに最適 ■見出し(横) ... よこ書きのインデックスに最適です。



24mm幅テープ(長さ3.2cm)の印刷見本



24mm幅テープ(長さ3.2cm)の印刷見本

### 入力内容

おもて [顧客データ あ行  
うら [顧客データ あ行

編集ボタンで指定可能な機能	文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	2行(おもて1行 うら1行)
	入力可能な文字数	各行27文字
印刷可能な文字数	長さ1.8cm	各行4文字
	長さ3.2cm	各行8文字
	長さ6.0cm	各行17文字
	長さ8.0cm	各行23文字
	長さ11cm	各行27文字

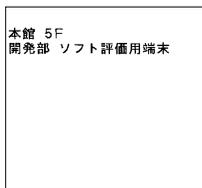
### !! 注意 !!

- 「編集」メニューには文字モードのみ表示されます。
- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も印刷可能な文字数は変わります。ただし、入力可能な文字数は27文字までです。
- 文字間で「密着」を選ぶと「中寄せ」の状態で印刷されます。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「入力した文章が長すぎます」が表示されます。**選択** 以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま **選択** を押しと、定長を解除して印刷します。
- 4mm幅、6mm幅のテープには印刷できません。

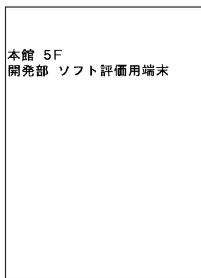
### MEMO

「おもて」の行で **選択** を押しと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

■ケーブル用 ..... ケーブル表示ラベル用の特殊フォームです。24mm幅、36mm幅テープに対応しています。



24mm幅テープ  
(長さ2.6cm)2行  
の印刷見本



36mm幅テープ  
(長さ2.6cm)2行  
の印刷見本

### 入力内容

1行目 [本館] 5F

2行目 [開発部] ソフト評価用端末

編集 ボタンで指定可能な機能		文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	3行	
	入力可能な文字数	各行26文字	
印刷条件	印刷可能な行数	2行(24mm幅テープ時)	
		3行(36mm幅テープ時)	
	印刷可能な文字数	長さ2.6cm	各行 13文字
		長さ5.0cm	各行 26文字

シフト + ファイル

## !! 注意 !!

印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また、英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も、印刷可能な文字数が変わります。ただし、入力可能な文字数は26文字までです。

## MEMO

- 「編集」メニューには文字モードのみ表示されます。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「入力した文章が長すぎます」が表示されます。以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま  を押すと、定長を解除して印刷します。

## 参考

### 「ケーブル用」には、ケーブル表示ラベル

印刷部分を汚れなどから保護する「セルフラミネート」タイプ。

白エリアに印刷し、透明エリアを巻きつけることによりラミネートできます。

SV24K: 24mm幅(ケーブル径 φ2.1mm~φ5.4mm用)

SV36K: 36mm幅(ケーブル径 φ2.8mm~φ7.6mm用)

### 「見出し(縦/横)」には、インデックスラベル

キングファイルのインデックス表示に最適。

ミシン目入りラベルなので、折りやすくキレイに貼れます。

STY24KM: インデックス山に貼り付けるタイプです(24mm幅 透明つや消し)。

SSY24K : 書類などに直接貼り付けるタイプです(24mm幅 白)。

機能編

■複数ラベル..... 1行のラベルを複数枚同時に印刷します。



12mm幅テープの印刷見本

#### 入力内容

- 1枚目 [ 札幌
- 2枚目 [ 仙台
- 3枚目 [ さいたま
- 4枚目 [ 本社
- 5枚目 [ 横浜

編集ボタンで指定可能な機能		文字モードのすべての機能
入力・印刷条件	ラベル数	16枚
	行数	1行
	文字数	各ラベル30文字

### MEMO

「編集」メニューには文字モードのみ表示されます。段落スタイルと文章書式は編集設定の保存値にしたがいます。

■縦型よこ書き ... 内線表などの縦型表示に最適です。 ■横型たて書き ... メニューなどの横型表示に最適です。

104	207	217	219	330	423
田中	酒井	長谷部	内館	岡野	都築
田中	酒井	長谷部	内館	岡野	都築
田中	酒井	長谷部	内館	岡野	都築
田中	酒井	長谷部	内館	岡野	都築
田中	酒井	長谷部	内館	岡野	都築
田中	酒井	長谷部	内館	岡野	都築

24mm幅テープの印刷見本

都築	岡野	内館	長谷部	酒井	田中	田中
4	3	2	2	2	1	1
2	3	1	1	0	0	0
3	0	9	7	7	4	4

24mm幅テープの印刷見本

### 入力内容

- 1行目 [ 田中 ] 104
- 2行目 [ 酒井 ] 207
- 3行目 [ 長谷部 ] 217
- 4行目 [ 内館 ] 219
- 5行目 [ 岡野 ] 330
- 6行目 [ 都築 ] 423

編集ボタンで指定可能な機能	文字モードの「書体」のみ	
入力条件	入力可能な行数	32行
	入力可能な文字数	各行13文字
印刷可能な文字数	テープ幅による(下表参照)	

ソフト + ファイル

## MEMO

- 「編集」メニューには文字モードの「書体」のみ表示されます。
- 各行の文字数が印刷時の行数になるので、印刷可能な文字数はテープ幅によって制限されます。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24*mm	36mm
印刷可能な文字数	1文字	2文字	3文字	5文字	7文字	10文字	13文字

24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「\*」のついた24\*mm幅テープは10文字まで印刷できます。品番末尾に「\*」がつかない24mm幅テープは7文字まで印刷できます。

機能編

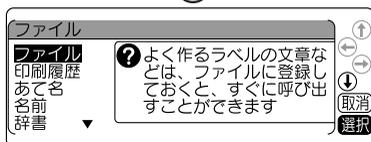
# ●文章を呼び出す・登録する

本機の **ファイル** ボタンでは、作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録できます。また、印刷履歴の呼び出しもできます。

## ●ファイル ボタンを使う

作成した文章やあて名などのデータを登録するには、**ファイル** ボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。

ファイルメニュー画面



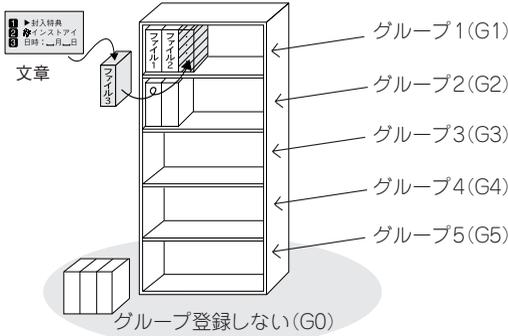
ファイルボタンのメニュー一覧 (**太字** は購入時の初期設定値です。)

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル ▶	<b>登録</b>	作成した文章にファイル名をつけて保存します	P.109
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.110
	消去	登録した文章を消去します	P.111
	複写	登録した文章を別のファイルに複写します	P.112
	印刷	5つまでのファイルを続けて印刷します	P.114
	グループ名修正	ファイルのグループ名を修正します	P.113
印刷履歴 ▶	<b>呼出</b>	最近印刷した文章を呼び出します	P.115
	消去	印刷履歴を消去します	P.115
あて名 ▶	<b>登録</b>	あて名を登録します	P.118
	修正	登録したあて名を修正します	P.119
	消去	登録したあて名を消去します	P.120
	複写	登録したあて名を複写します	P.119
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します	P.121
	グループ名修正	あて名のグループ名を修正します	P.122
名前 ▶	<b>登録</b>	名前とふりがなを登録します	P.125
	修正	登録した名前を修正します	P.126
	消去	登録した名前を消去します	P.126
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します	P.126
	グループ名修正	名前のグループ名を修正します	P.126
	辞書 ▶	<b>登録</b>	語句に読みをつけて辞書登録します
修正		登録した辞書を修正します	P.129
消去		登録した辞書を消去します	P.130
外字 ▶	<b>新規作成</b>	新規に外字を作成し、登録します	P.133
	参照作成	文字や記号を参照して外字を作成し、登録します	P.136
	修正	登録した外字を修正します	P.134
	呼出	登録した外字を文章中に呼び出します	P.134
	消去	登録した外字を消去します	P.135
	複写	登録した外字を複写します	P.135

# ファイルとは

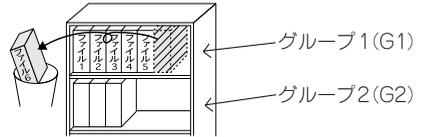
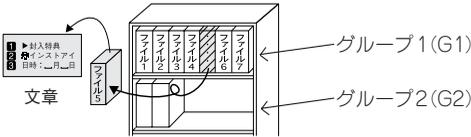
作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文章のほかに編集機能の指定内容などラベルの状態がそのまま登録されます。ファイルは、5つのグループ(G1～G5)に分類して登録できます。それぞれグループ名を変更できるので、仕事用、プライベート用などファイル进行分类して整理できます。なお、グループに分類したくないファイルは「G0：グループ登録しない」も選べます。

登録…文章を保存します。グループごとに分類できます。



呼出…ファイルを画面上に呼び出します。

消去…ファイルを削除します。



## MEMO

ファイル機能には、このほか、登録した文章を別のファイルに複写する「複写」、5つまでのファイルを続けて印刷できる「印刷」、ファイルのグループ名を修正する「グループ名修正」機能があります。

## !! 注意 !!

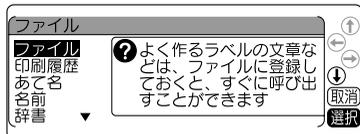
大切なファイルやあて名、名前、外字のデータは、ファイル転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を利用し、パソコンにバックアップすることをお奨めします。

# ファイルを登録する

ファイルに文章を登録します。ファイルはファイル番号00~99(100件)の中から番号を選んで登録します。

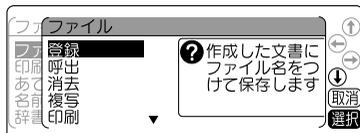
1 **ファイル**を押す

2 「ファイル」を選び、**選択**を押す



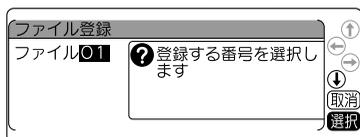
「ファイル」メニューが表示されます。

3 「登録」を選び、**選択**を押す



ファイル登録画面が表示されます。

4 **↑**、**↓**または**F0** ~ **F9** で登録するファイル番号を選び、**選択**を押す

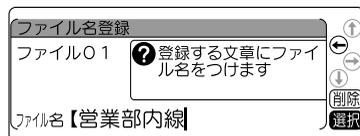


↓ 数字入力した場合



5 ファイル名を入力し、**選択**を押す

ファイル名は15文字まで自由につけられます。入力しなくても登録できます。



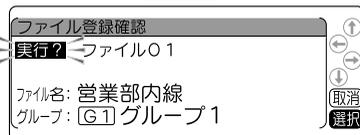
6 登録するグループを選び、**選択**を押す

グループ登録しない場合は**G0**を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

7 内容を確認し、**実行**を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

## !! 注意 !!

「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がかわれる可能性があります。

## MEMO

- 操作を途中でやめるときは**解除**または**ファイル**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル、あて名、名前データを消去してください。
- 本機には、約10,000文字(最大で100個のファイル)を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- ファイルに登録できるのは、テキスト画面で作成した文章のみです。

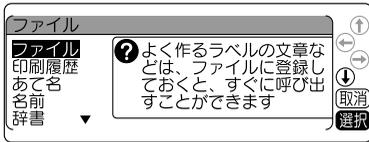
# ファイル呼び出す

ファイルに登録した文章をテキスト画面に呼び出します。「上書き呼出」と「連結呼出」の2つの呼び出し方法があります。「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全部消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。

「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

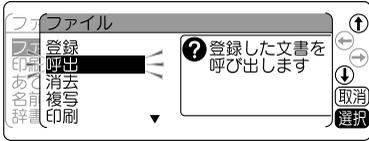
① **ファイル**を押す

② 「ファイル」を選び、**選択**を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「呼出」を選び、**選択**を押す



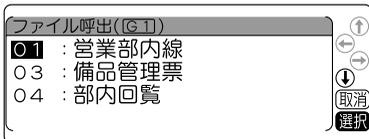
ファイル呼出グループ選択画面が表示されます。

④ 呼び出したいファイルが登録されているグループを選び、**選択**を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



⑤ **↑** **↓** または **F9** ~ **F0** で呼び出したいファイルを選び、**選択**を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

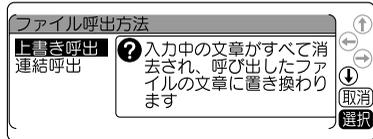
⑥ 内容を確認し、**選択**を押す

**←** **↑** **↓** **→** で文章を確認することができます。



呼出方法を選択する画面になります。

⑦ 「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、**選択**を押す



ファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

## !! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は消え、**復活**を押しても復活させることはできません。「上書き呼出」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 「連結呼出」で呼び出す場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーした部分が、自動的に文末から削除されます。

## MEMO

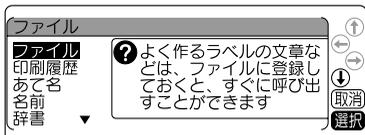
操作を途中でやめるときは**戻る**または**キャンセル**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

# ファイルを消去する

ファイルは、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

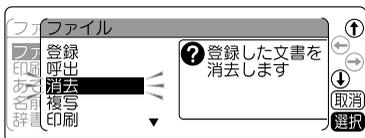
① **ファイル**を押す

② 「ファイル」を選び、**選択**を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「消去」を選び、**選択**を押す



ファイル消去画面が表示されます。

④ 消去する範囲を選び、**選択**を押す

- 1件 : 1ファイルのみ消去します。  
[G 1]~[G 5] : 選択したグループ内のすべての  
ファイルのファイルを消去します。  
全件 : すべてのファイルを消去します。



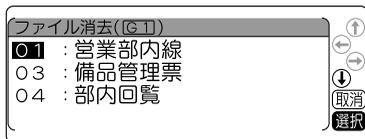
グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります(手順⑦)。1件の場合は次の手順でファイルを選びます。

⑤ 消去したいファイルが登録されているグループを選び、**選択**を押す

グループがわからないときは[G 0]を選びます。



⑥ **↑** **↓** または **[G 0]** ~ **[G 5]** で消去したいファイルを選び、**選択**を押す



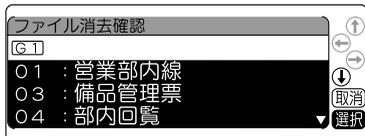
消去する内容の確認画面になります。

⑦ 内容を確認し、**選択**を押す

ファイル1件消去の場合はラベルの内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているファイルのファイル名が表示されます。1件消去の場合

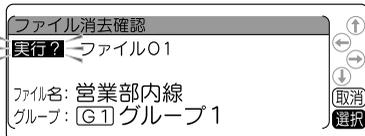


グループ消去の場合



⑧ 内容を確認し、**選択**を押す

1件消去の場合はファイルの情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



ファイルが消去され、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

- 消去したファイルは、**復活**を押しても復活させることはできません。
- 操作を途中でやめるときは**削除**または**ファイル**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことで、テキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

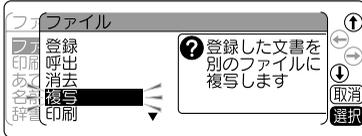
# ファイルを複写する

登録したファイルを別の番号のファイルへ複写します。

① **ファイル**を押す

② 「ファイル」を選び、**選択**を押す  
「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「複写」を選び、**選択**を押す



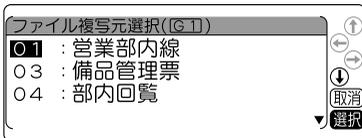
ファイル複写画面が表示されます。

④ 複写元のファイルが登録されているグループを選び、**選択**を押す

グループがわからないときは[G 0]を選びます。



⑤ **↑** **↓** または **F0** ~ **F9** で複写元のファイルを選び、**選択**を押す



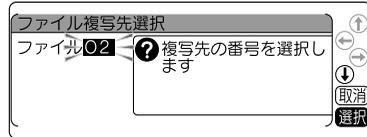
複写する内容の確認画面になります。

⑥ 内容を確認し、**選択**を押す

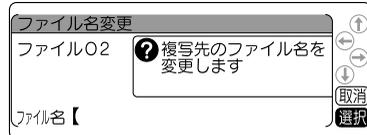


ファイル複写先選択画面が表示されます。

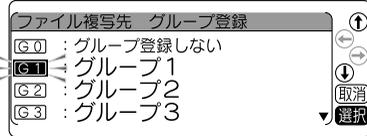
⑦ **↑** **↓** または **F0** ~ **F9** で複写先のファイル番号を選び、**選択**を押す



⑧ ファイル名を入力し、**選択**を押す  
ファイル名は15文字まで自由につけられます。入力しなくても登録できます。

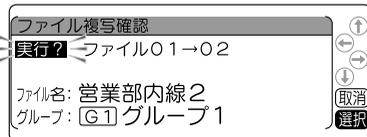


⑨ 登録するグループを選び、**選択**を押す  
グループ登録しない場合は[G 0]を選びます。



複写する内容の確認画面になります。

⑩ 内容を確認し、**選択**を押す



「実行中」と表示された後、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

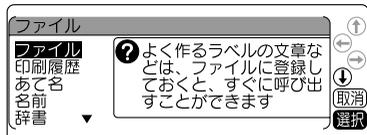
- 操作を途中でやめるときは **戻る** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ファイル複写をおこなっても、複写元のファイルは残ります。

# グループの名前を変える

ファイルを登録するグループ名を変更できます。  
あて名や名前データのグループも同様の操作で変更できます。

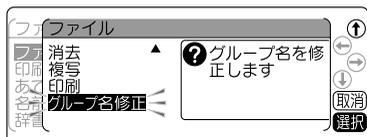
① **ファイル** を押す

② 「ファイル」 を選び、 **選択** を押す



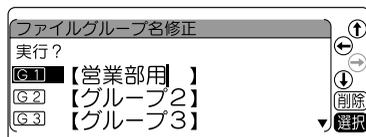
「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「グループ名修正」 を選び、 **選択** を押す



グループ名修正画面が表示されます。

④ **↑** **↓** で名前を変えたいグループを選び、グループ名を変更する



⑤ **選択** を押す

「実行?」が選択されます。

⑥ 内容を確認し、 **選択** を押す



「実行中」と表示された後、グループ名が変更されます。

## MEMO

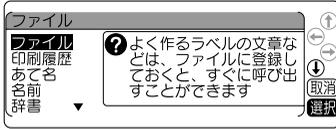
- 操作を途中でやめるときは **削除** または **バック** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- あて名や名前のグループ名を変えるときは、手順②で「あて名」または「名前」を選んでください。
- グループ名を消去して登録すると、グループ名は空欄になります。
- 手順④で **シフト** を押しながら **削除** (=消去) を押すと、全文消去となり、すべてのグループ名が消去されます。

# ファイルをまとめて印刷する

ファイル番号を指定するだけでファイルをテキスト画面に呼び出さずに印刷できます。一度に5つのファイルまで指定できます。

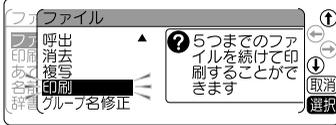
1 **「ファイル」**を押す

2 「ファイル」を選び、**「選択」**を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

3 「印刷」を選び、**「選択」**を押す



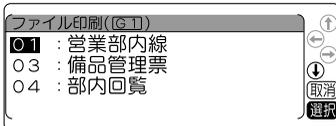
ファイル印刷画面が表示されます。

4 印刷したいファイルが登録されているグループを選び、**「選択」**を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



5 **↑**、**↓** または **F0** ~ **F9** で印刷したいファイルを選び、**「選択」**を押す



印刷する内容の確認画面になります。

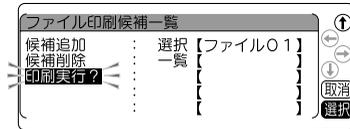
6 内容を確認し、**「選択」**を押す



印刷するファイル候補の一覧画面になります。

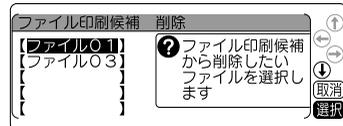
7 「印刷実行？」を選び、**「選択」**を押す

印刷が開始されます。



印刷するファイルを追加するときは、「候補追加」を選び、**「選択」**を押して手順4からの操作を繰り返します。

印刷するファイルを取り消すときは、「候補削除」を選び、**「選択」**を押します。印刷するファイルの候補から削除するファイルを選び、**「選択」**を押します。



内容を確認し、**「選択」**を押すと「実行中」と表示された後、印刷するファイル候補の一覧画面に戻ります。

## !! 注意 !!

- セットされているテープカートリッジのテープ幅がファイルに含まれる文章の行数を印刷できない場合、そのファイルの印刷はおこなわれません。
- 指定したファイル印刷の全長が16mを超える場合は印刷できません。印刷候補を減らしてください。

## MEMO

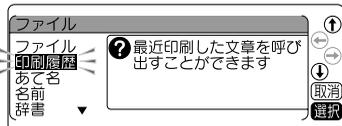
- 印刷するとき、各ファイルはテキスト画面に呼び出されません。
- 操作を途中でやめるときは**ESC**または**F20**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 「候補削除」をおこなっても、ファイルそのものは削除されません。

# ●最近印刷した文章を呼び出す

## 印刷履歴を呼び出す

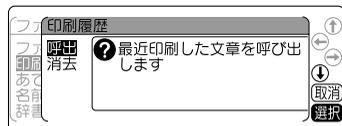
本機は、最近印刷した文章を最大5つまで記憶しており、簡単な操作で呼び出すことができます。ファイル登録をし忘れた場合などに便利です。

- 1 **「ファイル」**を押す
- 2 **「印刷履歴」**を選び、**「選択」**を押す



「印刷履歴」メニューが表示されます。

- 3 **「呼出」**を選び、**「選択」**を押す



最近印刷した文章(第1段落の1行目のみ)が5つ表示されます。

- 4 呼び出したい文章を選び、**「選択」**を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**「選択」**を押す



「実行中」と表示された後、文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

## 印刷履歴を消去する

- 1 **「ファイル」**を押す
- 2 **「印刷履歴」**を選び、**「選択」**を押す
- 3 **「消去」**を選び、**「選択」**を押す



最近印刷した文章が5つ表示されます。

- 4 消去する文章を選び、**「選択」**を押す



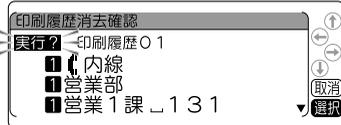
消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**「選択」**を押す



- 6 内容を確認し、**「選択」**を押す

「実行中」と表示された後、文章が印刷履歴から消去されます。



## !! 注意 !!

- 印刷履歴を呼び出すと、テキスト画面で作成していた文章は消え、**復活**を押しても復活させることはできません。呼び出す前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 最近印刷した5つの文章を保存するため、古いものから自動的に書き換えられていきます。
- 印刷履歴の対象となるのは、通常印刷のみで、特殊印刷や特殊フォーム印刷などは保存されません。
- 文字数の多い文章の場合、記憶している文章の件数が5件にならないことがあります。
- QRコードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

## MEMO

操作を途中でやめるときは**削除**または**ファイル**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

# ●名前や語句を登録する(あて名/名前/辞書)

## あて名ラベルを作る

あて名データとして郵便番号や住所・名前などを登録しておく、あて名ラベルをまとめて印刷することができます。

### ■登録できる項目とあて名ラベル

101-0031  
東京都千代田区東神田二丁目10番18号  
株式会社キングジム 開発部  
山岸 正樹 様



項目	入力内容	入力可能文字
〒番号(郵便番号)	[101-0031	8文字
住所1	[東京都千代田区東神田二丁目10番18号	20文字
住所2	[	20文字
会社	[株式会社キングジム	20文字
部署	[開発部	20文字
氏名	[山岸 正樹	20文字
〒■■■■■(カスタマバーコード)	[10100312-10-18	20文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照 P.123 「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約10,000文字(最大100件のあて名)です。

### !! 注意 !!

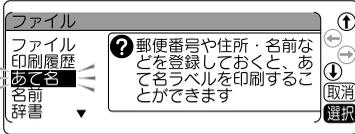
- あて名ラベルは品番末尾に「\*」のついた24mm幅テープと36mm幅テープに対応しています。
- 郵便番号に入力した先頭の5桁に対応する都道府県名と区町村名を、「住所1」に自動的に入力することができます。郵便番号変換は、2005年8月時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所、所在地が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

# あて名を登録する

あて名データを登録します。あて名はあて名番号00~99(100件)の中から番号を選んで登録します。

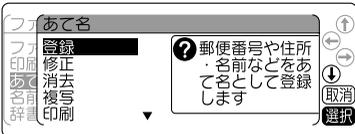
① **ファイル**を押す

② 「あて名」を選び、**選択**を押す



「あて名」メニューが表示されます。

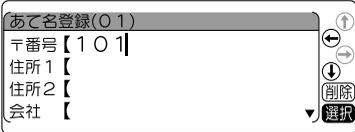
③ 「登録」を選び、**選択**を押す



あて名登録画面が表示されます。

④ **↑**、**↓** または **F0** ~ **F9** で登録するあて名番号を選び、**選択**を押す

⑤ 数字ボタンで郵便番号を入力する



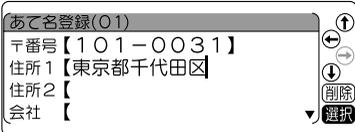
4桁目を入力すると、自動的にハイフン(ー)が挿入されます。

⑥ **変換スペース**を押す

郵便番号に対応する都道府県名と区町村名の候補が表示されます。

⑦ 地名が正しいときは、**選択**を押す

地名が違うときは、**←**、**↑**、**↓**、**→** で適切な地名を選びます。

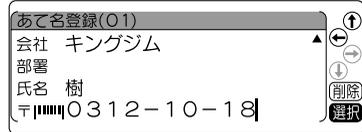


⑧ 住所1を入力し、**選択**を押す

⑨ 住所2、会社名、部署名、氏名を入力し、**選択**を押す

⑩ 必要に応じてカスタマバーコードを入力し、**選択**を押す

参照 P.123「カスタマバーコードについて」

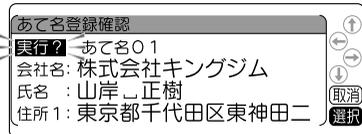


⑪ 登録するグループを選び、**選択**を押す

グループ登録しない場合は、**G0**を選びます。



⑫ 内容を確認し、**選択**を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

## !! 注意 !!

「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。あて名の内容がかわれる可能性があります。

## MEMO

- 未入力項目があっても登録できます。
- 操作を途中でやめるときは **戻る** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- 本機には、約10,000文字(最大で100件のあて名データ)を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんの文章をファイルしていたり、名前を登録していると、登録できるあて名の件数が少なくなります。

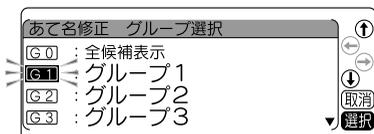
## あて名を修正する

登録したあて名を修正します。

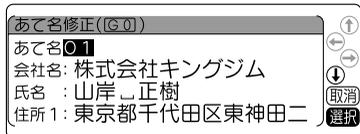
- 1 **ファイル**を押す
- 2 「あて名」を選び、**選択**を押す  
「あて名」メニューが表示されます。
- 3 「修正」を選び、**選択**を押す



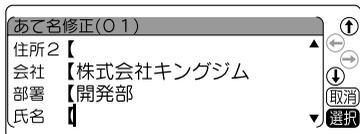
- 4 修正したいあて名が登録されているグループを選び、**選択**を押す  
グループがわからないときは[G 0]を選びます。



- 5 **↑**、**↓**または[F 0] ~ [F 9]で修正したいあて名を選び、**選択**を押す



- 6 内容を修正し、**選択**を押す



以降は、P.118 登録操作(手順11以降)と同様にグループを選び登録します。

### MEMO

操作を途中でやめるときは **削除** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

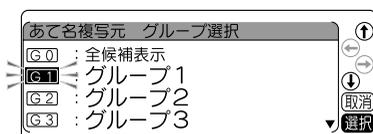
## あて名を複写する

登録したあて名を別の番号のあて名へ複写します。

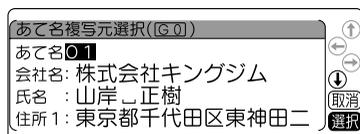
- 1 **ファイル**を押す
- 2 「あて名」を選び、**選択**を押す  
「あて名」メニューが表示されます。
- 3 「複写」を選び、**選択**を押す



- 4 複写元のあて名が登録されているグループを選び、**選択**を押す  
グループがわからないときは[G 0]を選びます。



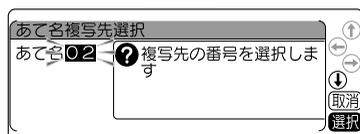
- 5 **↑**、**↓**または[F 0] ~ [F 9]で複写元のあて名を選び、**選択**を押す



- 6 内容を確認し、**選択**を押す



- 7 **↑**、**↓**または[F 0] ~ [F 9]で複写先のあて名番号を選び、**選択**を押す



以降は、P.118 登録操作(手順11以降)と同様にグループを選び登録します。

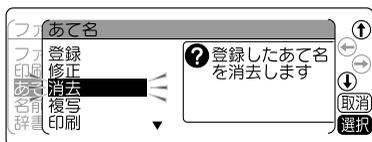
# あて名を消去する

あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

① **ファイル**を押す

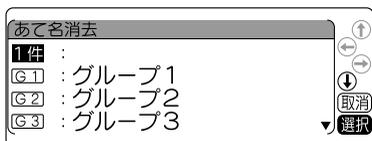
② 「あて名」を選び、**選択**を押す  
「あて名」メニューが表示されます。

③ 「消去」を選び、**選択**を押す



④ 消去する範囲を選び、**選択**を押す

1件 : 1件のみ消去します。  
[G1]~[G5] : 選択したグループ内のすべてのあて名を消去します。  
全件 : すべてのあて名を消去します。



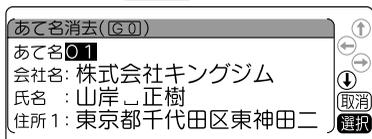
グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります(手順⑦)。  
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

⑤ 消去したいあて名が登録されているグループを選び、**選択**を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



⑥ **↑**、**↓**または**←**、**→**で消去したいあて名を選び、**選択**を押す

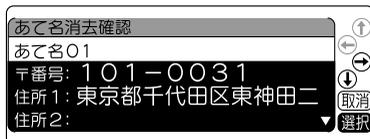


消去する内容の確認画面になります。

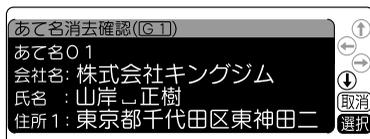
⑦ 内容を確認し、**選択**を押す

1件消去の場合はあて名の内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているあて名の情報が表示されます。

1件消去の場合

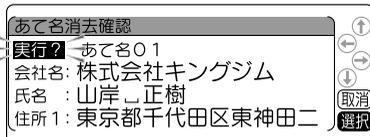


グループ消去の場合



⑧ 内容を確認し、**選択**を押す

1件消去の場合はあて名の情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」[全件]と表示されます。



あて名が消去され、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

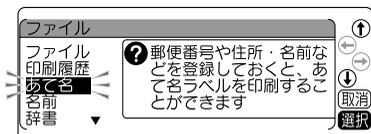
- 消去したあて名は、**復活**を押しても復活させることはできません。
- 操作を途中でやめるときは**削除取消**または**ファイル**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

# あて名ラベルを印刷する

あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。  
また、印刷時に書体を指定できます。

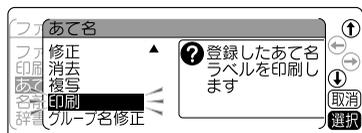
1 **ファイル**を押す

2 「あて名」を選び、**選択**を押す



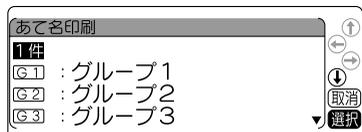
「あて名」メニューが表示されます。

3 「印刷」を選び、**選択**を押す



4 印刷する範囲を選び、**選択**を押す

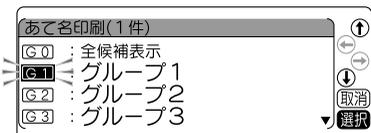
1件 : 1件のみ印刷します。  
[G1]~[G5] : 選択したグループ内のすべてのあて名を印刷します。  
全件 : すべてのあて名を印刷します。



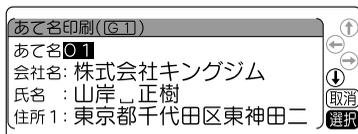
グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります(手順7)。  
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

5 印刷したいあて名が登録されているグループを選び、**選択**を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



6 **↑** **↓** または **Page Up** **Page Down** で印刷したいあて名を選び、**選択**を押す

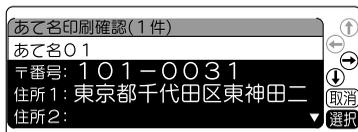


印刷する内容の確認画面になります。

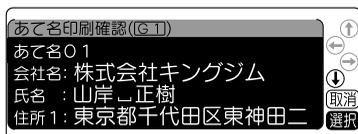
7 内容を確認し、**選択**を押す

1件印刷の場合はあて名の内容が、グループまたは全件印刷の場合は含まれているあて名の情報が表示されます。

1件印刷の場合



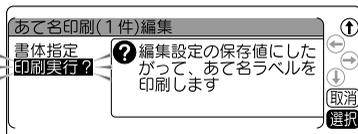
グループ印刷の場合



8 内容を確認し、**選択**を押す

あて名印刷の編集画面になります。

9 「印刷実行?」を選び、**選択**を押す



あて名が印刷されます。

## MEMO

「書体指定」を選ぶと、印刷する書体を指定できます。指定した後に「印刷実行?」を選んで**選択**を押すと、指定した書体であて名が印刷されます。

## !! 注意 !!

- あて名ラベルは24\*mm、36mm幅テープに対応しています。
- カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをお奨めします。

## MEMO

- あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的につきます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後に「御中」がつきます。氏名まで入力すると、氏名の後に「様」がつきます。

氏名を入力しない「あて名」

101-0031  
東京都千代田区東神田二丁目10番18号  
  
株式会社キングジム  
開発部 御中

「御中」がつきます

氏名まで入力した「あて名」

101-0031  
東京都千代田区東神田二丁目10番18号  
  
株式会社キングジム  
開発部  
山岸 正樹 様

「様」がつきます

- 操作を途中でやめるときは  または  を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

## あて名のグループ名修正

あて名を登録するグループ名を変更できます。

参照  P.113 「グループの名前を変える」

# カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差し出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードをカスタマバーコードといいます。本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、カスタマバーコードを印刷することができます。

## MEMO

- 「カスタマバーコード」を印刷する義務はありません。
- 「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のみご利用頂けます。
- 「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割り引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

## カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード(〒)」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

**例**：千葉県鎌ヶ谷市右京塚

東3丁目20-5 鈴木・A&bコーポB604号

- 住所データを次のAとBの部分に分割する  
住所A：「郵便番号」で指定される町域名まで  
住所B：町域名以降の住所
- 住所Aを郵便番号に置き換える  
〔-〕(ハイフン)は省略
- 住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える
- データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める  
「&」(アンパサンド) 「/」(スラッシュ)  
「・」(中黒) 「.」(ピリオド)
- ③および④で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す
- 抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換える  
「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、「ブランク」、「2文字以上連続したアルファベット文字」
- ⑥の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる
- 先頭がハイフンの場合は取り除く
- アルファベットの前後にある(-)を取り除く
- ②で処理したデータに⑨で処理したデータをつなげる

	郵便番号	住所B
	XXX-XXXX	東3丁目-20-5 鈴木・A&bコーポB604号
(②の処理)	XXXXXXX	
(③の処理)		東3丁目-20-5 鈴木・A&bコーポB604号
(④の処理)		東3丁目-20-5 鈴木ABコーポB604号
(⑤の処理)		3 -20-5 B604号
(⑥の処理)		東 丁目 鈴木ABコーポ
		「-」に置き換え
(⑥の処理後)		-3--20-5-B604
(⑦の処理)		-3-20-5-B604
(⑧の処理)		3-20-5-B604
(⑨の処理)		3-20-5B604
(⑩の処理)	XXXXXXXX3-20-5B604	

## カスタマバーコードの記入例

- 漢数字が「丁目」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所Bとし、算用数字に変換して指定します。

**例** : 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号  
永井タワー601  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 十一丁目六番地一号永井タワー601  
バーコード [xxxxxxxx11-6-1-601]

**例** : 北海道帯広市稲田町南七線西28  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 七線西28  
バーコード [xxxxxxxx7-28]

- 連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット1文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。  
もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

**例** : 茨城県日立市宮田町6丁目7-14  
ABCビル2F  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 6丁目7-14ABCビル2F  
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2]

**例** : 茨城県日立市宮田町6丁目7-14  
ABCビル2F201号室  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 6丁目7-14ABCビル2F201号室  
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2-201]

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが2文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

**例** : 神戸市中央区港島中町9丁目7-6  
南シティA棟1F1号  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 9丁目7-6南シティA棟1F1号  
バーコード [xxxxxxxx9-7-6A1-1]

**例** : 京都府綾部市青野町綾部6-7  
LプラザB106  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 6-7 LプラザB106  
バーコード [xxxxxxxx6-7LB106]

- バーコードの合計桁数が20文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

**例** : 札幌市中央区南四条西29丁目1524-23  
第2ステージハウス501  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 29丁目1524-23第2ステージハウス501  
バーコード [xxxxxxxx29-1524-23-2]

### MEMO

本機ではバーコードは20文字まで入力できます。

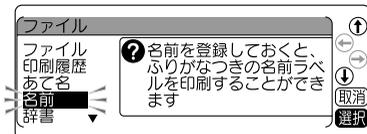
# 名前を登録する

名前データを登録します。

名前は名前番号01~40(40件)の中から番号を選んで、登録します。

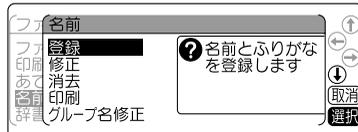
1 **ファイル** を押す

2 「名前」 を選び、 **選択** を押す

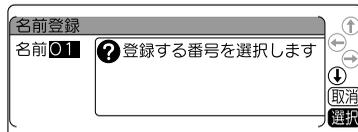


「名前」メニューが表示されます。

3 「登録」 を選び、 **選択** を押す



4 **↑**、**↓** または **F0**~**F9** で登録する名前番号を選び、 **選択** を押す



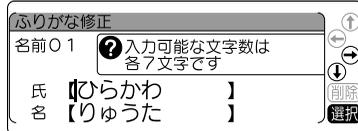
5 名前(氏と名)を入力し、 **選択** を押す  
各7文字まで入力できます。



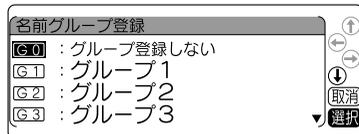
ふりがな修正画面が表示されます。

6 ふりがなを確認し、 **選択** を押す

必要に応じてふりがなを修正します。

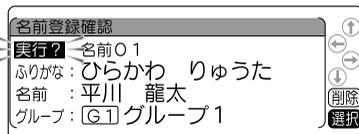


7 登録するグループを選び、 **選択** を押す  
グループ登録しない場合は「G0」を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

8 内容を確認し、 **選択** を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

## !! 注意 !!

「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。名前の内容がこわれる可能性があります。

## MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- 本機には、約10,000文字(最大で40件の名前データ)を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。

## 名前を修正する

登録した名前を修正する場合は、P.125手順③で「修正」を選びます。登録したグループから名前の番号を選ぶと修正画面になり、登録と同様の操作で修正できます。

## 名前を消去する

名前を消去する場合は、P.125手順④で「消去」を選びます。消去の範囲(1件、グループ、全件)を選び、消去します。1件消去を選択した場合は、さらに名前番号を指定します。

## 名前のグループ名修正

名前を登録するグループ名を変更できます。  
参照 P.113「グループの名前を変える」

## 名前ラベルを印刷する

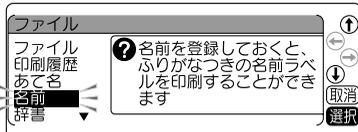
名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。  
また、印刷時に書体やラベルの長さ(定長)などを指定できます。

ファイル  
名前

機能編

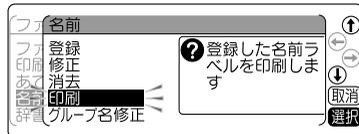
① **ファイル**を押す

② 「名前」を選び、**選択**を押す



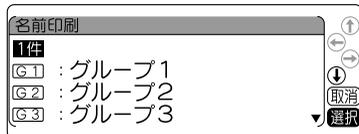
「名前」メニューが表示されます。

③ 「印刷」を選び、**選択**を押す



④ 印刷する範囲を選び、**選択**を押す

- 1件 : 1件のみ印刷します。
- G1 ~ G5 : 選択したグループ内のすべての名前を印刷します。
- 全件 : すべての名前を印刷します。



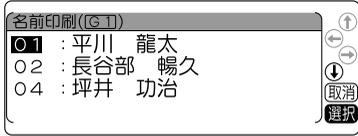
グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります(手順⑦)。  
1件の場合は次の手順で名前を選びます。

⑤ 印刷したい名前が登録されているグループを選び、**選択**を押す

グループがわからないときはG0を選びます。



6 または ~ で印刷したい名前を選び、 を押す



印刷する内容の確認画面になります。

7 内容を確認し、 を押す

1件印刷の場合は内容が、グループまたは全件印刷の場合は名前一覧が表示されます。  
1件印刷の場合



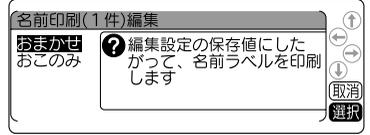
グループ印刷の場合



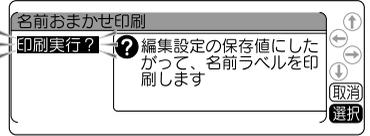
8 内容を確認し、 を押す  
名前印刷の編集画面になります。

9 そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、 を押す

ここで「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、書体、飾り字、斜体・強調、ふりがなの有無が指定できます。



10 「印刷実行？」を選び、 を押す



名前ラベルが印刷されます。

### MEMO

- 操作を途中でやめるときは または を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 登録した名前をたて書きで印刷する場合は、「編集設定」メニューから「縦・横」を選び、「たて書き」に設定してください。参照 P155 「保存値を変更する」

### !! 注意 !!

4mm幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前1行のラベルが印刷されます。

9mm幅テープ(「ふりがな」あり)

9mm幅テープ(「ふりがな」なし)

4mm幅テープ



## 変換できない語句を登録する(辞書の登録)

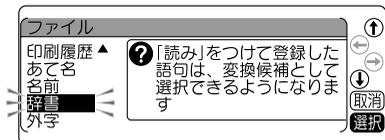
難しい人名や長い熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」に「読み」をつけて辞書登録しておく、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できるようになります。

辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。辞書番号01～50に最大50個まで登録できます。

**例**：特許申請手続き代行書類（とつきよしよるい）を登録する

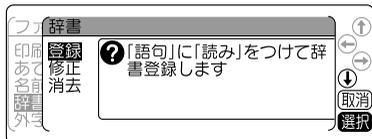
① **ファイル**を押す

② 「辞書」を選び、**選択**を押す

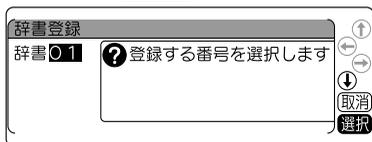


「辞書」メニューが表示されます。

③ 「登録」を選び、**選択**を押す

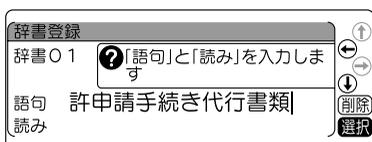


④ **↑**、**↓** または **Page Up**、**Page Down** で登録する辞書番号を選び、**選択**を押す

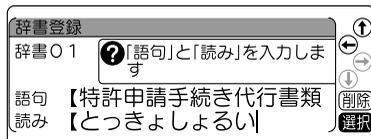


辞書の登録画面になります。

⑤ 「語句」を入力し、**選択**を押す



⑥ 「読み」をひらがなで入力する



⑦ **選択**を押す

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

### MEMO

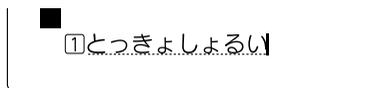
- 登録できる「語句」の文字数は15文字以内、「読み」の文字数は16文字以内です。ただし、濁音、半濁音は2文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 入力できる「読み」はひらがなのみです。
- 操作を途中でやめるときは、入力した文字をすべて削除してから**削除**または**ファイル**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」を登録しようとする、「辞書に登録済み」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では文章書式・段落スタイル・文字モード・連番・バーコードの登録はできません。
- 辞書がいっぱいでこれ以上登録できなくなると、「辞書の登録数がいっぱいです」が表示されます。それでも辞書の登録をしたい場合は、辞書消去で不要な辞書データを削除してください。

## 登録した語句を呼び出す

通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

**例**：特許申請手続き代行書類を「とっきよしよるい」で呼び出す

### ① 「とっきよしよるい」を入力する



### ② 変換スペースを押す

辞書登録した「特許申請手続き代行書類」が変換候補として表示されます。



### ③ 「特許申請手続き代行書類」になっている状態で [↓] を押す



「特許申請手続き代行書類」が確定されます。

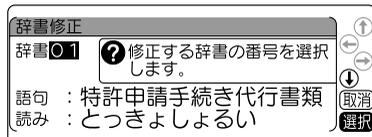


## 登録した辞書を修正する

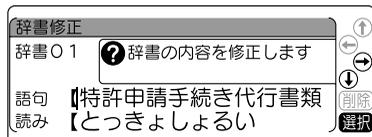
**例**：「読み」の「とっきよしよるい」を「とくしん」に変える

### ① P.128 「変換できない語句を登録する」の手順③で「修正」を選び、[選択]を押す

### ② 修正したい辞書を選び、[選択]を押す

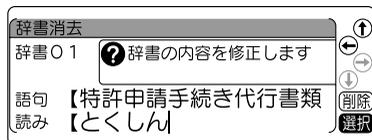


登録した辞書が表示され、修正できる状態になります。



### ③ 新しい「読み」を入力する

「とっきよしよるい」を削除し、「とくしん」と入力しなおします。



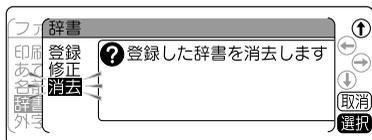
### ④ [選択]を押す

「読み」を修正した辞書が登録されます。

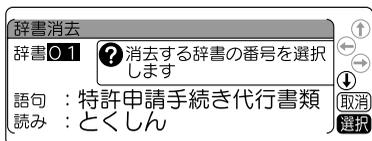
# 登録した辞書を消去する

登録されている辞書を消去します。

- 1 **ファイル** を押す
- 2 「辞書」を選び、**選択** を押す  
「辞書」メニューが表示されます。
- 3 「消去」を選び、**選択** を押す



- 4 **↑**、**↓** または **00** ~ **99** で消去したい辞書を選び、**選択** を押す

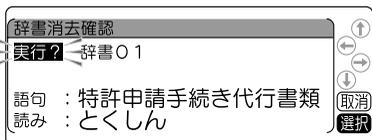


消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**選択** を押す



- 6 **選択** を押す



辞書が消去され、テキスト画面に戻ります。

## !! 注意 !!

消去した辞書は**復活**を押しても復活させることはできません。十分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

## MEMO

操作を途中でやめるときは**削除**または**ファイル**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

# ●外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字・記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「編集」の文字モードで文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字2つに分けて登録(文字間「ふつう」)



文字間「密着」



## MEMO

- 外字は10文字まで登録できます。
- 本機は、美しい印刷を可能にするアウトラインフォントという形式の文字を搭載していますが、外字については作成のしやすさから、ビットマップ形式を採用しています。ビットマップ形式での外字はアウトラインフォントの文字と比べて多少ギザギザが目立ちます。
- データ転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を利用すると、パソコンで外字を作成・編集できます。

## 外字を作る概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・40・48ドットの5段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。

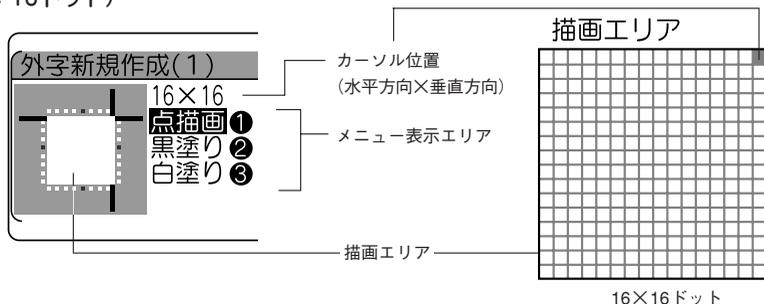
ただし、5段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・32・40・48ドットの字形データを作り、後から細部を補正して作るしくみになっています。

## 画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点(ドット)を塗りつぶしていきます。

### 画面表示

(例：16ドット)



16×16ドット

### 描画方法(メニュー表示エリアで選択)

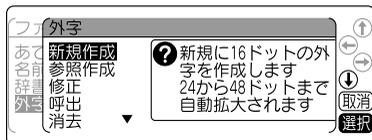
描画方法(メニュー)には、1ドットずつ塗りつぶす「点描画」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗り」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗り(=消去)」があり、それぞれ数字ボタン **【1】** / **【2】** / **【3】** で選択します。

メニュー	描画方法	手順
点描画	1つ1つの点(ドット)ずつ塗りつぶす方法	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>【1】</b>を押す。 メニュー「点描画」がネガ表示されます。</li> <li>塗りつぶすドットにカーソルを <b>←</b> <b>↑</b> <b>↓</b> <b>→</b>で移動する。</li> <li><b>シフト</b>を押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押しと、白く塗りつぶされます。</li> </ol>
黒塗り	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす方法 指定範囲	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>【2】</b>を押す。 メニュー「黒塗り」がネガ表示されます。</li> <li>塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを <b>←</b> <b>↑</b> <b>↓</b> <b>→</b>で移動する。</li> <li><b>シフト</b>を押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを <b>←</b> <b>↑</b> <b>↓</b> <b>→</b>で移動する。</li> <li><b>シフト</b>を押す。手順<b>②</b>と<b>④</b>で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。</li> </ol>
白塗り	広い範囲のブロックを白くする(消す)方法 指定範囲	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>【3】</b>を押す。 メニュー「白塗り」がネガ表示されます。</li> <li>塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを <b>←</b> <b>↑</b> <b>↓</b> <b>→</b>で移動する。</li> <li><b>シフト</b>を押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを <b>←</b> <b>↑</b> <b>↓</b> <b>→</b>で移動する。</li> <li><b>シフト</b>を押す。手順<b>②</b>と<b>④</b>で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。</li> </ol>

# 外字を作成し、登録する

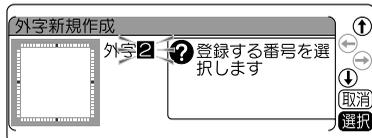
例：外字番号「2」に「読み」を登録する

- 1 **「F」**を押す
- 2 「外字」を選び、**「選択」**を押す  
「外字」メニューが表示されます。
- 3 「新規作成」を選び、**「選択」**を押す



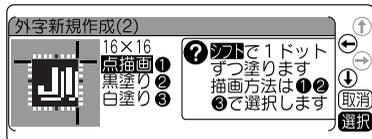
描画エリアと外字番号が表示されます。

- 4 登録する番号に「2」を選び、**「選択」**を押す



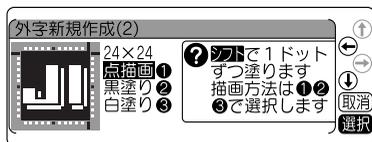
- 5 16ドットのデータを描画する

**「シフト」**と**「←」「↑」「↓」「→」**で描画します。  
参照 **「P.132 「画面表示と描画方法」**



- 6 16ドットの描画が終わったら、**「選択」**を押す

16ドットのデータをもとに、24・32・40・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。

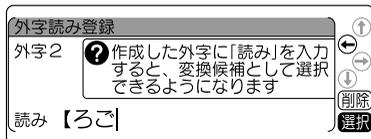


- 7 24・32・40・48ドットのデータを補正する  
手順**⑤**と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。**「選択」**を押すと、次のサイズの描画に移ることができ、48ドットの描画が終わると、「読み」の入力画面が表示されます。

## !! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しないと、文字サイズによってはきれいに印刷されません。

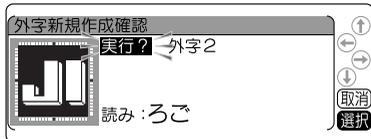
- 8 外字の「読み」を入力し、**「選択」**を押す  
「読み」はひらがなで16文字まで入力できます。



## MEMO

- 登録できる「読み」の文字数は16文字以内です。ただし、濁音、半濁音は2文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- テキスト入力でこの「読み」を入力し、**「変換スペース」**を押すと、外字を呼び出すことができます。

- 9 内容を確認し、**「選択」**を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

## MEMO

- 操作を途中でやめるときは**「削除」**または**「F」**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは**「F」**ボタンで外字を新規作成できません。

## 外字を修正する

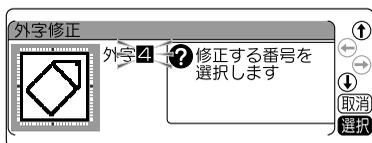
例：外字番号「4」の48ドットデータを修正する

- 1 **ファイル** を押す
- 2 「外字」 を選び、**選択** を押す  
「外字」メニューが表示されます。
- 3 「修正」 を選び、**選択** を押す



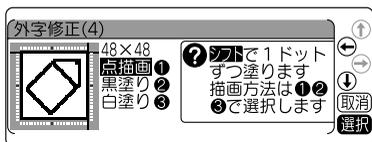
登録されている外字番号が表示されます。

- 4 修正する外字番号「4」を選び、**選択** を押す



16ドットの描画画面が表示されます。

- 5 48ドットの描画画面が表示されるまで **選択** を押す



- 6 48ドットのデータを修正する  
参照 P.132 「画面表示と描画方法」

- 7 **選択** を押す  
「読み」の入力画面が表示されます。  
必要に応じて、「読み」の修正をします。

- 8 **選択** を押す  
修正の確認画面になります。

- 9 内容を確認して、**選択** を押す  
外字が修正され、テキスト画面に戻ります。

## 外字を呼び出す

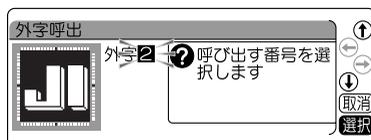
登録した外字を入力します。外字を滑らかに印刷したいときは、「平滑化＝する」を選んでください。

### MEMO

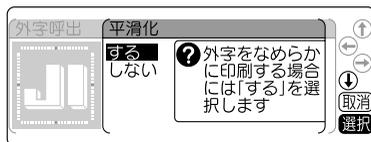
簡単に呼び出すには

登録した外字の読みを入力し、**変換スペース** を押すと、登録した外字が表示されます(この場合には外字の「平滑化」はおこなわれません)。

- 1 外字を入力する部分にカーソルを合わせる
- 2 **ファイル** を押す
- 3 「外字」 を選び、**選択** を押す
- 4 「呼出」 を選び、**選択** を押す
- 5 呼び出す外字を選び、**選択** を押す



- 6 「平滑化」メニューから「する」または「しない」を選び、**選択** を押す



カーソル位置に外字が入力されます。

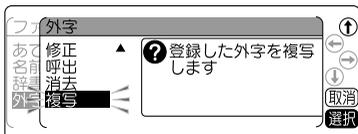
### MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 記号メニューで「外字呼出」を選択しても手順⑤に進めます。

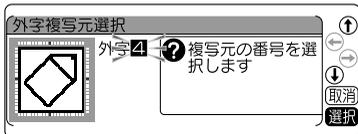
## 外字を複写する

外字を別の外字番号に複写します。

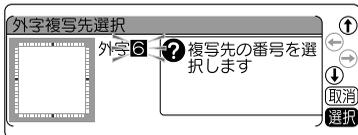
- 1 **ファイル** を押す
- 2 「外字」 を選び、**選択** を押す
- 3 「複写」 を選び、**選択** を押す



- 4 複写元の外字番号を選び、**選択** を押す

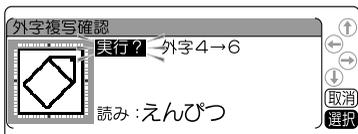


- 5 複写先の外字番号を選び、**選択** を押す



- 6 複写先の「読み」を入力し、**選択** を押す  
複写する内容の確認画面になります。

- 7 内容を確認し、**選択** を押す



外字が複写され、テキスト画面に戻ります。

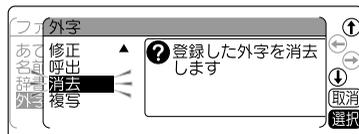
### MEMO

- 複写の操作を途中でやめるときは、**削除** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、**ファイル** ボタンで外字を複写できません。

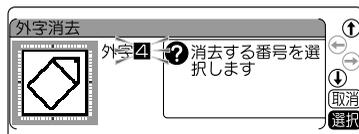
## 外字を消去する

登録されている外字を消去します。

- 1 **ファイル** を押す
- 2 「外字」 を選び、**選択** を押す
- 3 「消去」 を選び、**選択** を押す

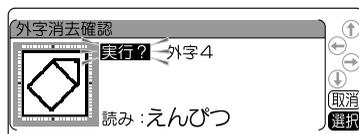


- 4 消去する外字番号を選び、**選択** を押す



消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**選択** を押す



外字が消去され、テキスト画面に戻ります。

### !! 注意 !!

消去した外字は**復活**を押しても復活させることはできません。十分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

### MEMO

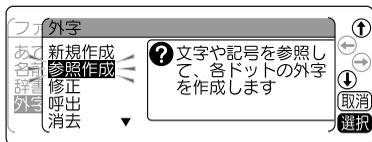
- 操作を途中でやめるときは、**削除** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、**ファイル** ボタンで外字を消去できません。
- 消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

# 外字を参照作成し、登録する

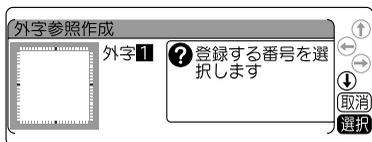
「参照作成」では、本機に内蔵されている文字や記号のデータをもとに修正して外字を作成します。操作は「外字を作成し、登録する」と同じですが、「参照作成」は途中で参照する文字を入力します。

例：「記号」の「生き物」の「」にヒゲをつけて「」にする

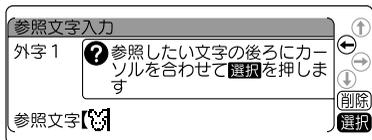
- 1 **ファイル**を押す
- 2 「外字」を選び、**選択**を押す
- 3 「参照作成」を選び、**選択**を押す



- 4 登録する外字番号を選び、**選択**を押す



- 5 参照する文字(記号)を入力し、カーソルをその後ろ(右側)に合わせる



最大5文字まで入力できますが、カーソルの左側の1文字を参照します(入力ガイドにカーソルがあるときは先頭文字を参照します)。

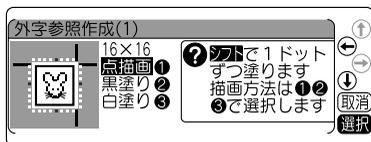
## MEMO

- 最大5文字まで入力できるので、単語や熟語、辞書登録した語句なども利用できます。
- 連番、バーコード、合成記号、編集記号、半角スペース、外字は参照できません。
- 参照する文字には、文字モードの書体を指定できます。

- 6 データを修正する  
参照文字が16ドットで表示されますので、これをもとに修正します。

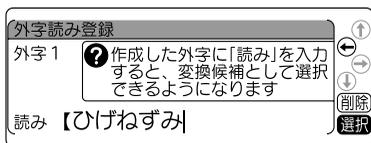
**選択**を押すと次のサイズの修正画面に移ります。

参照 [P.132](#)「画面表示と描画方法」



- 7 48ドットの描画が終わったら **選択**を押す

- 8 外字の「読み」を入力し、**選択**を押す



- 9 内容を確認し、**選択**を押す

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

## MEMO

- 文章中でこの「読み」を入力し、**変換スペース**を押すと外字を呼び出すことができます。
- 操作を途中でやめるときは、**削除**または**ファイル**を押してください。ただし、それまでに描画していた別のサイズの外字データもなくなります。
- 仮確定文字があるときは、**ファイル**ボタンで外字を参照作成できません。

# ●定型外国語を入力する

本機には、定型文を日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語で表示する定型外国語機能があります。日本語の読みを入力し、検索結果から定型文を選ぶだけで、自動的に対応する英語、中国語、韓国語の文章が呼び出されます。さらに定型文によっては記号の入ったラベルになるため、注意ラベルなどの作成に役立ちます。



定型外国語に対応している定型文は、よく使う注意文や表示文、名詞など約800フレーズにおよび、いろいろな用途に利用できます。

## MEMO

定型外国語に対応している定型文(日本語)は、P.187「定型外国語一覧表」を参照してください。

## 定型外国語メニュー一覧

**シフト**を押しながら**記号**(=定型外国語)を押すと定型外国語が入力できます。

メニュー	
<b>定型外国語</b>	
<b>入力</b>	<b>呼出確認</b>
日本語の読みを入力して定型文を検索します。 参照  P.138	呼び出した定型文を確認します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・[選択] でテキスト画面に確認中の定型外国語を呼び出します。</li><li>・[印刷] で確認中の定型外国語を各言語ごとに印刷します。</li></ul>

# 定型外国語を使う

定型の日本語に該当する英語、中国語、韓国語のラベルを作成します。

例：「エレベーター」のラベルを作成する

- 呼出確認画面から「印刷」を指定した場合のラベル



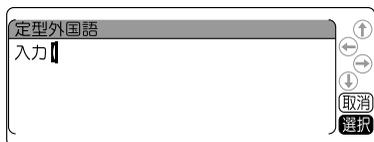
- テキスト画面に呼び出した場合のラベル



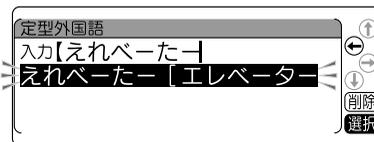
シフト + 記号

機能編

- 1 シフトを押しながら記号 (=定型外国語) を押す  
「定型外国語」入力画面が表示されます。



- 2 検索したい内容を、ひらがなで入力し、  
「選択」を押す  
変換候補一覧が表示されます。



## MEMO

- ひらがな以外を入力した場合は定型文を検索できません。
- 入力された文字に対応する定型文がない場合は、「該当する候補がありません」が表示され検索結果になにも表示されません。

- 3 検索結果が複数ある場合は、↑ ↓で目的の文を選び「選択」を押す  
定型外国語呼出確認画面が表示されます。

- 4 内容を確認し、操作を選択する

- 「選択」：確認中の定型外国語をテキスト画面に新しい段落として挿入します (手順7へ)。
- 「印刷」：言語ごとにラベルを印刷します (手順5へ)。

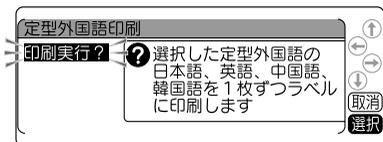


## MEMO

操作を途中でやめるときは「削除」または「記号」を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

## 5 「印刷実行」を選び、**選択**を押す

各言語のラベルが印刷されます。印刷後は呼出確認の画面に戻ります(手順6へ)。



### MEMO

手順6で印刷実行した場合、ラベルは以下の指定で印刷され、変更はできません。

「文字サイズ」：「自動」－「均等」

「漢字/かな書体」：「ゴシック」

「英数書体」：「HV体」

「文字間」：「狭い」－「ピッチ自動」

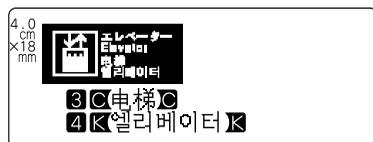
上記以外は、初期設定値となります。各機能の初期設定値については、P70「編集メニュー一覧」を参照してください。

## 6 **削除**または**選択**を押す

終了する場合は**削除**を押します。テキスト画面に文章を呼び出す場合は、**選択**を押します。



## 7 テキスト画面でラベルを編集する



### MEMO

- 手順2で表示される定型文は、最初の1文字を入力しただけでも検索できます。
- テキスト画面では、定型外国語マークで囲まれて表示されます。定型外国語マークは、日本語が「J」J、英語が「E」E、中国語が「C」C、韓国語が「K」Kになります。
- 定型外国語マークで囲まれた言語は、12個までしか挿入できません。

## 定型外国語を編集する

定型外国語のラベルを編集する場合は、以下のことに注意してください。

- 定型外国語マークで囲まれた各言語は、内容を変更できません。
- 定型外国語マークで囲まれた各言語内に文字カーソルを移動すると点線表示の状態でも移動できますが、各言語は1つのブロックになっており、削除する場合、その言語の文全体が削除されます。コピーする場合も、文全体をコピーします。
- 日本語と英語は書体を変更できますが、中国語と韓国語は変更できません。文字サイズや強調などの編集は全言語で変更できます。



# ●連番やバーコードを印刷する

シフトを押しながら<sup>シフト</sup> (=連番・QR・バーコード)を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

## 連番・バーコードメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
<b>連続番号</b>				
連続番号 ▶	初期値入力 ▶	繰返し回数		
1桁		1回		
2桁		2回		
1桁丸付		3回		
2桁丸付		4回		
		5回		
		10回		
連続番号 連番の入ったラベルを作ります。 参照 P.141				
<b>バーコード</b>				
QRコード ▶	用途	誤り訂正レベル		
	一般 ▶	7%		
	URL ▶	15%		
		25%		
		30%		
JAN-13 ▶	全体の幅 ▶			数値入力
NW-7 ▶	小さめ			
JAN-8 ▶	ふつう	(NW-7、ITF、 CODE39のみ)	(NW-7、ITF、 CODE39のみ)	
ITF ▶	大きめ			
UPC-A ▶		細・太の比率 ▶	チェックデジット ▶	
CODE39 ▶		2.0	あり	
UPC-E ▶		2.5	なし	
		3.0		
バーコード バーコードの入ったラベルを作ります。 参照 P.144				

# 連番を印刷する

数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。

連続番号には「1桁」「2桁」「1桁丸付」「2桁丸付」があります。連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数(1、2、3、4、5、10回)を指定します。繰り返し回数では同じ文字を何回繰り返すかを指定します。

**例** : 2桁連番で、4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る



## 1 連番を入れる位置にカーソルを合わせる



## 2 シフトを押しながら (連番・QR・バーコード) を押す

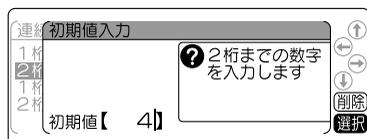
「連続番号」メニューが表示されます。

## 3 「2桁」を選び、 [選択] を押す



「初期値入力」画面が表示されます。

## 4 初期値に「4」を入力し、 [選択] を押す



## MEMO

初期値には、「1桁」「1桁丸付」の場合は英数字1桁、「2桁」「2桁丸付」の場合は数字を2桁まで入力できます。

## 5 繰り返し回数「2回」を選び、 [選択] を押す



テキスト画面に戻り、カーソル位置に連番(連番マーク<sup>1</sup>N + 数値エリア「4」)が表示されます。



## MEMO

テキスト画面での連番マークは、「1桁」が<sup>1</sup>N、「2桁」が<sup>2</sup>N、「1桁丸付」が<sup>1</sup>N、「2桁丸付」が<sup>2</sup>Nになります。

次へ進みます

6 (印刷)を押す

「4」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

7 (印刷)を押す

繰り返し回数「2回」を指定しているので、2枚目の「4」のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

8 (印刷)を押す

「5」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 5

以降、同様に繰り返します。

## MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、「1桁」「1桁丸付」の場合は、数字の0～9とアルファベットのA～Z、a～zです。「2桁」「2桁丸付」の場合は、数字の0～9または00～99です。小数点やマイナスは指定できません。
- 「1桁」「1桁丸付」の場合、1、2、3、4…と9まで数字が1つずつ繰り返ります。英字の場合、A(a)、B(b)、C(c)、D(d)とアルファベット順に1つずつ繰り返ります。

「1桁」で数字の場合

1、2、3、… 8、9、0、1、…

「1桁丸付」で数字の場合

①、②、③、… ⑧、⑨、⑩、①、…

「1桁」で英字の場合

A、B、C、… X、Y、Z、A、…

a、b、c、… x、y、z、a、…

「1桁丸付」で英字の場合

①、②、③、… ⑩、⑪、⑫、①、…

①、②、③、… ⑩、⑪、⑫、①、…

- 「2桁」「2桁丸付」の場合、1、2、3、4…と99(または、01、02、03、04…と99)まで数字が1つずつ繰り返ります。

「2桁」で初期値が1桁の場合

1、2、3、… 9、10、… 98、99、0、1、…

「2桁」で初期値が2桁の場合

01、02、03、… 09、10、… 98、99、00、01、…

「2桁丸付」で初期値が1桁の場合

①、②、③、… ⑩、⑪、… ⑩⑧、⑩⑨、①、②、…

「2桁丸付」で初期値が2桁の場合

①①、①②、①③、… ①⑨、②①、… ①⑧⑧、①⑧⑨、②①、②②、…

- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて6個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後(右側)にカーソルを合わせ、**シフト**+**右矢印**(=連番・QR・バーコード)を押してください。「連番」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- 連番を削除するときは、連番の直後(右側)にカーソルを合わせ、**削除**を押してください。
- 連番(連番マーク<sup>1</sup><sup>2</sup><sup>3</sup><sup>4</sup>+数値エリア)にも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できます。
- 連番は合成記号と組み合わせることはできません。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルを枚数分印刷することができます。参照 P.149 「同じラベルを連続して印刷する(ぞく?)」

# バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

## 印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体幅		
	小さめ	ふつう	大きめ
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	—	—
NW-7・ITF・CODE39	○	○	○

**太字** は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

—：指定不要

全体幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

### !! 注意 !!

バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則にしたがって入力してください。

**例**：「ITF」のバーコード（全体幅大きめ、細・太の比率 3.0、チェックデジットあり）を印刷する



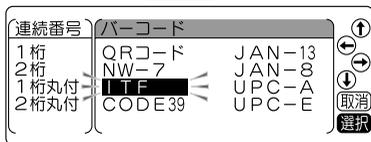
シフト + びく

機能編

**1** **シフト** を押しながら **びく** (=連番・QR・バーコード) を押す

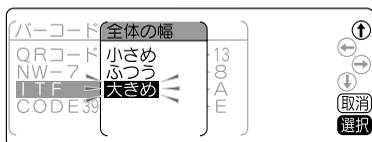
「バーコード」メニューが表示されます。

**2** **ITF** を選び、**選択** を押す



「全体の幅」メニューが表示されます。

**3** **大きめ** を選び、**選択** を押す



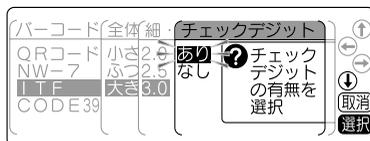
「細・太の比率」メニューが表示されます。

**4** **「3.0」** を選び、**選択** を押す



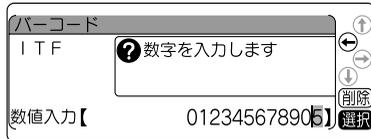
「チェックデジット」メニューが表示されます。

**5** **「あり」** を選び、**選択** を押す



バーコードの数値入力画面になります。

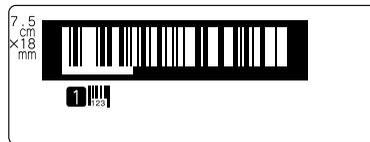
## 6 数値ボタンでバーコードの数値を入力する



数値が表示されます。右側の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。なお、入力できる桁数は規格によって異なります。

## 7 選択 を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク( )が表示されます。



## 8 印刷 を押す

バーコードのラベルが印刷されます。

## MEMO

- 1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて6個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク( )の直後(右側)にカーソルを合わせ、シフト +  $\bigcirc$  (=連番・QR・バーコード)を押してください。「バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面に入り、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するときは、バーコードマーク( )の直後(右側)にカーソルを合わせ、削除 を押してください。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

### バーコードマークに反映される機能

段落スタイル	外枠・表組、割付け
文字モード	囲み・網

- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。
- お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをお奨めします。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1～29桁、CODE39は1～27桁です。
- ITFは偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスペアコード(0)が自動的に発生します。
- UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ(線の部分)と数字の長さが一致しないことがあります。ご使用上問題はありません。
- バーコードは合成記号と組み合わせることはできません。

# QRコードを印刷する

QRコードは2次元コードの一種で、通常のバーコードよりも多くの情報量を表現できます。また、内容にひらがなや漢字などの日本語情報を入力できます。

**例**：携帯電話用の電話帳データ（名前、読み、電話番号など）

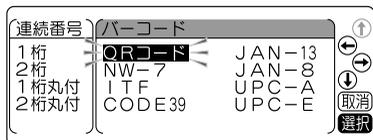


入力例「MECARD:N:山岸,正樹;SOUND:ヤマギシ,マサキ;TEL:0301234567;;」  
(英数、記号は半角文字です。入力に必要な情報はお使いの携帯電話によって異なります。デザインフォームのP.100「QR携帯1」～「QR携帯3」を参考にしてください。)

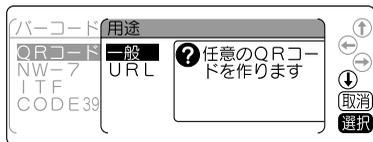
**1** **シフト**を押しながら **ら** (=連番・QR・バーコード)を押す

「バーコード」メニューが表示されます。

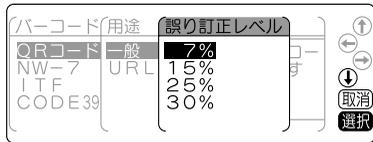
**2** 「QRコード」を選び、**選択**を押す



**3** 用途を選び、**選択**を押す



**4** 誤り訂正レベルを選び、**選択**を押す



## MEMO

誤り訂正レベルとは、QRコードのよごれ、破損などから読み取れなくなったデータを復元する能力です。誤り訂正レベルを上げると、復元能力は向上しますが、QRコードのサイズが大きくなることがあります。

**5** 内容を入力する

一般：複数行の入力ができます。**シフト**を押しながら **選択** で改行できます。



URL：ABC(半角)入力で1行のみ入力できます。あらかじめ「http://www.」が入力されています。



## MEMO

- QRコードでは、半角英数字が入力できます。**入力助**を押して入力状態を「ABC(半角)入力」にしてください。用途が「URL」の場合は「ABC(半角)入力」のみとなります。
- 入力中、文字サイズインジケーターにQRコードのサイズが表示されます。

**6** **選択**を押す

テキスト画面に戻ります。カーソルの位置にQRコードマーク(📱)が表示されます。



## MEMO

- QRコードの場合、テープ幅や指定項目により入力可能文字数が異なります。

QRコードの最大入力可能文字数：

誤り訂正レベル=7%

文字種 \ QRコードのサイズ	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	10	32	65	141	262	346
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz...と入力した場合)	17	53	106	230	425	586
半角数字 (1234567890123...と入力した場合)	41	127	255	552	692	—

誤り訂正レベル=15%

文字種 \ QRコードのサイズ	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	8	26	52	111	204	277
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz...と入力した場合)	14	42	84	180	331	450
半角数字 (1234567890123...と入力した場合)	34	101	202	432	692	—

誤り訂正レベル=25%

文字種 \ QRコードのサイズ	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	7	20	37	80	149	198
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz...と入力した場合)	11	32	60	130	241	322
半角数字 (1234567890123...と入力した場合)	27	77	144	312	580	692

誤り訂正レベル=30%

文字種 \ QRコードのサイズ	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	4	15	27	60	109	154
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz...と入力した場合)	7	24	44	98	177	250
半角数字 (1234567890123...と入力した場合)	17	58	106	235	427	602

- 印刷できる文字サイズは各テープ幅によって異なります。4mm、6mm、9mm幅テープにはQRコードを印刷することができません。参照  P.79 「文字サイズ」
- 1つの文章に入力できるQRコードは2個までです。また、1つの文章に入力できるバーコード(QRコードを含む)は、連番と合わせて6個までです。
- QRコードには一部の記号も入力できます。入力画面で  を押すことで呼び出せます。
- コードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QRコードマーク  の直後(右側)にカーソルを合わせ、 を押しながら  (=連番・QR・バーコード) を押してください。「連番・QR・バーコード」メニューが表示され、 を押しながら  (=連番・QR・バーコード) を押してください。以降の指定方法は作成操作と同じですが、「用途」やバーコードの規格を変更すると、入力されていたコードの内容は失われます。
- 文字サイズインジケータのG~K部分が点滅している場合、「QRコードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。以下の操作をおこなってください。
  - QRコードの誤り訂正レベルを低くする。
  - QRコードの文字数を減らす。
- QRコードが大きい場合、「QRコードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。QRコード入力中の文字サイズインジケータを参考にして以下の操作をおこなってください。
  - 幅の広いテープに交換する。
  - 通常テキストの行数を減らす。
  - QRコードの誤り訂正レベルを低くする。
  - QRコードの文字数を減らす。
- QRコードの情報量によっては、印刷したラベルが印刷履歴に記録されないことがあります。

# ●特殊な印刷(ぞく<sup>2</sup>、でか<sup>2</sup>)

 ボタンを押すと、連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷などの特殊な印刷を指定できます。

## 特殊印刷メニュー一覧

**太字** は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>特殊印刷</b> <b>連続印刷</b> 同じラベルを連続して印刷します。 参照  P.149	<b>連続印刷</b> ▶ 止めるまで <b>しない</b> 2枚ぞく <sup>2</sup> 3枚ぞく <sup>2</sup> : 10枚ぞく <sup>2</sup> 12枚ぞく <sup>2</sup> : 20枚ぞく <sup>2</sup> 25枚ぞく <sup>2</sup> : 40枚ぞく <sup>2</sup> 50枚ぞく <sup>2</sup> : 100枚ぞく <sup>2</sup>	
<b>拡大印刷</b> ラベルを拡大して印刷します。 参照  P.150	<b>拡大印刷</b> ▶ <b>しない</b> 2倍でか <sup>2</sup> ▶ 3倍でか <sup>3</sup> ▶ 4倍でか <sup>4</sup> ▶	2/2 1/2 1/2 3/3 1/3 1/3 1/3 4/4 1/4 1/4 1/4 1/4
<b>鏡文字印刷</b> 鏡像反転して印刷します。 参照  P.152	<b>鏡文字印刷</b> ▶ する <b>しない</b>	
印刷実行？		

ぞく<sup>2</sup>でか<sup>2</sup>

機能編

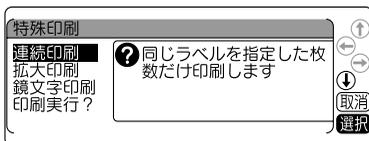
# 同じラベルを連続して印刷する(ぞく<sup>2</sup>)

同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

**例** : 同じラベルを 3 枚連続して印刷する

**1** 文章を入力し、を押す  
「特殊印刷」メニューが表示されます。

**2** 「連続印刷」を選び、を押す

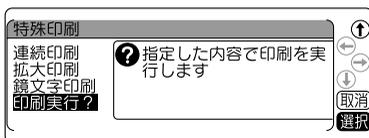


**3** 「3枚ぞく<sup>2</sup>」を選び、を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

**4** 「印刷実行?」を選び、を押す



印刷が開始されます。1枚目の印刷が終了するとテープがカット、またはハーフカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。

## MEMO

- 操作を途中でやめるときはを押してください。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。
- ハーフカット有効で連番の繰り返し回数を2回以上に指定して連番印刷を実行した場合、ハーフカットは自動で無効になります。参照 「連番を印刷する」

## !! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行?」を選択したときのみ実行されます。ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ出口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ出口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再びカットするおそれがあります。
- 印刷途中でテープが終了しても、指定した枚数分の印刷カットをおこないます。刃の磨耗を防ぐため、印刷途中でテープが終了した場合は、を押して印刷を中止してください。

ぞく<sup>2</sup>でか

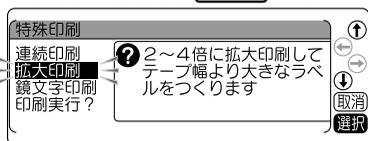
機能編



## 例 : 3倍に拡大して印刷をする

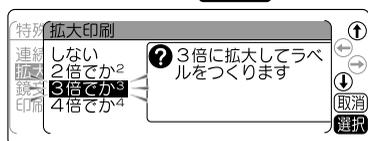
① 文章を入力したあと を押す  
「特殊印刷」メニューが表示されます。

② 「拡大印刷」を選び、 を押す



「拡大印刷」メニューが表示されます。

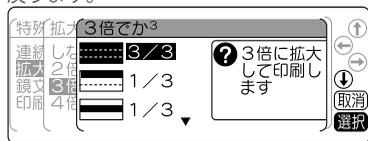
③ 「3倍でか<sup>3</sup>」を選び、 を押す



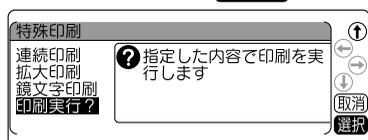
「3倍でか<sup>3</sup>」メニューが表示されます。

④ 「3/3」を選び、 を押す

「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。



⑤ 「印刷実行？」を選び、 を押す



印刷が開始されます。3枚1組のラベルが1枚ずつ印刷されます。

⑥ テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

## MEMO

- 操作を途中でやめるときは を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとするとき、全長が16mを超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章の内容を2組に分けるなど指定をし直してください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍、3倍、4倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍、3倍、4倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍、3倍、4倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍でか <sup>2</sup>	約2倍	約2倍	約4倍
3倍でか <sup>3</sup>	約3倍	約3倍	約9倍
4倍でか <sup>4</sup>	約4倍	約4倍	約16倍

例えば「3倍でか<sup>3</sup>」で印刷をおこなうと、 ボタンによる通常の印刷に比べて、幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになるので、使用するテープ量は約9倍になります。

## !! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。 ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

## 参考

### カラフルな3倍でか<sup>3</sup>

「3倍でか<sup>3</sup>」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。



# ●読みのわからない漢字を入力する(コード入力)

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。

入力できるコードの種類は区点コード・JISコード・シフトJISコードです。

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照  P.175 「漢字変換表」

**例** : 「お休み處」と入力する

## 1 仮確定文字がないことを確認する

1 お休み

## 2 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。

處…4961(区点コード)

参照  P.175 「漢字変換表」

## 3 を押しながらか (=コード入力) を押す

コード入力画面になります。

コード  處

### MEMO

仮確定文字があるときは、 を押しながらか  を押してもコード入力画面にならず、仮確定文字が変換されます。文字を確定したあとにおこなってください。

## 4 コードを入力する

    を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。

處  
ニ處普  
コード【4961】

コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

### MEMO

コードの入力を間違えたときは  を押して入力しなおしてください。

## 5 「處」を選び、 を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。

1 お休み處

シフト  
+  
無変換

機能編

# ●編集機能の保存値を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では $\textcircled{\text{編集}}$ ボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

## 編集ボタンの機能

機能の分類	指定できる機能
文章書式	地紋印刷、定長印刷、余白
段落スタイル	縦・横、文字サイズ、割付け、外枠・表組
文字モード	書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、「編集設定」で保存値を変更しておくと、文章を作るたびに $\textcircled{\text{編集}}$ ボタンで変更する必要がなくなります。ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、編集設定のリセットによって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

## MEMO

- 各機能の初期設定値についてはP.70「編集メニュー一覧」を参照してください。
- $\textcircled{\text{編集}}$ ボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻りますが、地紋印刷の文字地紋/創作地紋データのみは本機内部に保存され、ほかの文章でも使用することができます。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。

## !! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照  $\text{\textcircled{P.52}}$  「すべての文章を消去する」

## 保存値を変更する

- 1 **シフト**を押しながら<sup>削除</sup>**削除**(=消去)を押し、全文消去をおこなう

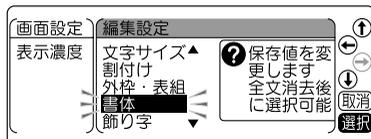
### !! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

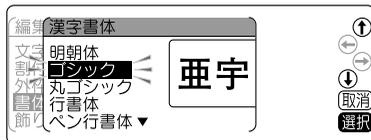
参照 **P.52** 「すべての文章を消去する」

- 2 **シフト**を押しながら<sup>復活</sup>**復活**(=編集設定)を押す

- 3 「編集設定」メニューの変更したい項目を選び、**選択**を押す



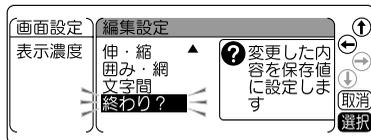
- 4 保存値に設定したい選択肢を選び、**選択**を押す



各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

参照 **P.67** 「ラベルの見栄えをよくする (編集)」

- 5 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「編集設定」メニューから「終わり?」を選び、**選択**を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

## 保存値を初期設定値に戻す

変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値(初期設定値)に戻します。

- 1 **シフト**を押しながら<sup>削除</sup>**削除**(=消去)を押し、全文消去をおこなう

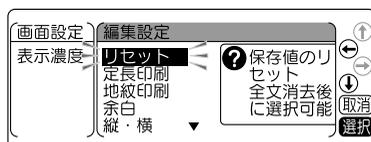
### !! 注意 !!

保存値の設定を初期設定値に戻すときには、全文消去をする必要があります。

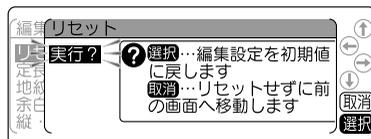
参照 **P.52** 「すべての文章を消去する」

- 2 **シフト**を押しながら<sup>復活</sup>**復活**(=編集設定)を押す

- 3 「編集設定」メニューの「リセット」を選び、**選択**を押す



- 4 「実行?」を選び、**選択**を押す



編集の保存値が初期設定値に戻ります。

### MEMO

操作を途中でやめるときは<sup>削除</sup>**削除**または<sup>復活</sup>**復活**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

# 編集設定メニュー一覧

**シフト**を押しながら**復活**(=編集設定)を押すと、画面の表示濃度や編集機能の保存値の設定を変更できます  
(**太字**は購入時の初期設定値)。

メニュー	最初の選択肢
<b>画面設定</b> <b>画面設定</b> 画面表示の濃さを設定します。 参照  P.25	<b>表示濃度</b> ▶ -5 : <b>0</b> : +5
<b>編集設定</b> <b>編集設定</b> 編集機能の保存値を設定します。 参照  P.154	<b>実行?</b> 詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。
リセット ▶ 定長印刷 ▶ 地紋印刷 ▶ 余白 ▶ 縦・横 ▶ 文字サイズ ▶ 割付け ▶ 外枠・表組 ▶ 書体 ▶ 飾り字 ▶ 斜体・強調 ▶ 伸・縮 ▶ 囲み・網 ▶ 文字間 ▶ 終わり? ▶	

シフト + 復活

機能編

# ●本機を初期化する

## !! 注意 !!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、下記の手順で「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。  
なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータや外字のデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

## 初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

内容		機能		編集設定 のリセット (P.155)	印刷設定 のリセット (P.60)	全文消去 (P.52)	特殊フォーム での全文消去 (P.103)	電源OFF (P.47)
		初期化						
入力	テキスト画面の文章	●	—*1	—	●	—	—	
	コピーした内容	●	—	—	—	●	—	
	地紋データ	●	—	—	—	—	—	
	特殊フォームの文章	●	—	—	—	●	—	
	入力状態と小文字ロック	●	—	—	—	—	—	
	「みえ <sup>2</sup> 」の設定	●	—	—	—	—	—	
データ	ファイルデータ	●	—	—	—	—	—	
	印刷履歴	●	—	—	—	—	—	
	あて名データ	●	—	—	—	—	—	
	名前データ	●	—	—	—	—	—	
	辞書データ	●	—	—	—	—	—	
	外字データ	●	—	—	—	—	—	
設定	自動カットの設定値	●	—	●	—	—	—	
	印刷濃度の設定値	●	—	●	—	—	—	
	表示濃度の設定値	●	—	—	—	—	—	
	編集設定の保存値	●	●	—	—	—	—	

● :ご購入時の状態に戻ります。

— :保持されます。

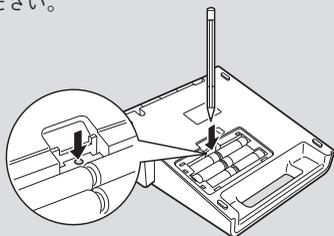
\*1 :編集設定のリセットをおこなうときには、全文消去をする必要があります。

## 初期化する

### ① (ON/OFF) ボタンを押して電源を切る

#### !! 注意 !!

(ON/OFF) ボタンを押しても電源が切れないときには、「強制終了ボタン」を使って電源を切ってください。



「強制終了ボタン」を、ボールペンなど先の細いものでしっかり押しすと、電源が切れます。

### ② 選択 改行 と 削除 取消 を押しながら (ON/OFF) ボタンを押す

「本体初期化？」が点滅します。



#### !! 注意 !!

- 初期化をやめるときは [ 選択 ] 以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？  
今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

### ③ [ 選択 ] を押す

「初期化中」と表示され、本機の初期化がおこなわれた後、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。





# 付録

# ●メニュー一覧

各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

ボタン	機能名	参照ページ
シフト + 印刷	テープ送り	P.164
せきり	特殊印刷	P.148
シフト + せきり	印刷設定	P.162
ファイル	ファイル	P.107
シフト + ファイル	フォーム・特殊フォーム	P.91
記号	記号	P.163
シフト + らぐ	連番・QR・バーコード	P.140
編集	編集	P.70
シフト + 復活	編集設定	P.156
シフト + 削除	消去	P.164

## 印刷設定メニュー一覧

シフトを押しながらせきり(=印刷設定)を押すと、自動カット・ハーフカットの設定や印刷濃度を変更できます(太字は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>印刷設定</b> <b>自動カット</b> ▶ 自動カット 印刷時の自動カットとハーフカットの有効・無効を設定します。 参照 P.58 <b>印刷濃度</b> ▶ 印刷濃度 印刷濃度を調整します。 参照 P.60 <b>リセット</b> ▶ リセット 自動カットと印刷濃度を初期設定値にします。 参照 P.60	<b>自動カット</b> ▶ <b>する</b> しない -3 : <b>0</b> : +3	(するのみ) <b>ハーフカット</b> <b>する</b> しない
	実行?	

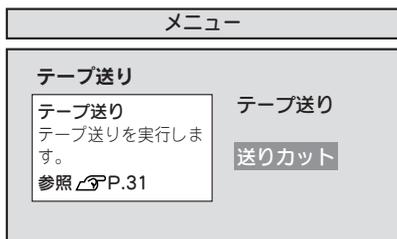
# 記号メニュー一覧

記号を押すと、記号を入力できます(太字は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>記号</b>		
<b>外字呼出</b> 登録した外字を入力します。 参照  P.134	<b>外字呼出</b> ▶ 記述 ▶ 省略 ▶ カッコ ▶ 矢印 ▶ ○△□☆ ▶ 単位 ▶ 算数 ▶ 数字 ▶	<b>外字選択</b> ▶ 記号選択 参照  P.183 「記号一覧表」
		平滑化 する しない
<b>2桁数字</b> 2桁の数字を1文字として入力します。 参照  P.65	<b>2桁数字</b> ▶ 公共表示 ▶ 環境 ▶ 荷物 ▶ 警告用 ▶ 仕事 ▶ スポーツ ▶ 遊び ▶ ビデオ ▶ 音楽 ▶ 生き物 ▶ 乗り物 ▶ 食べ物 ▶ 予定 ▶ 暮らし ▶ シーズン ▶ 家族 ▶ 干支 ▶ 星座 ▶ ギリシャ ▶ ロシア ▶ 欧州 ▶ 案内記号 ▶ 編集 ▶	<b>数値入力</b> 記号選択 参照  P.183 「記号一覧表」
<b>編集</b> 全角スペースや縦罫線を入力します。 参照  P.41、83		
<b>合成</b> 合成文字を作成します。 参照  P.43	<b>合成</b> ▶	

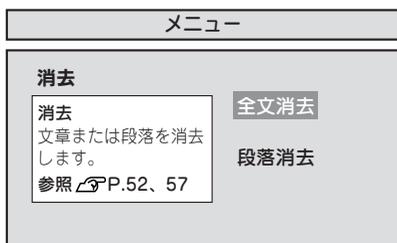
## テープ送りメニュー一覧

**シフト**を押しながら**印刷**(=テープ送り)を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます(**太字**は購入時の初期設定値です)。



## 消去メニュー一覧

**シフト**を押しながら**削除**(=消去)を押すと、文章全体または段落全体を消去できます(**太字**は購入時の初期設定値です)。



# ●テープカートリッジを使いわける

反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消シラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・ケーブル表示ラベル・グレー文字ラベルをご使用の際は下記のとおり対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消シラベル・夜光ラベル	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 参照 P.58 「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」
ハーフカッター 使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消シラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・ケーブル表示ラベル	「ハーフカット」無効で印刷する。 参照 P.58 「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」
オートトリマー 使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消シラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル	オートトリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整 が必要	反射ラベル・透明つや消シラベル	印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル	印刷がカスれた場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 参照 P.60 「印刷濃度を調整する」

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

## !! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみをとってください。参照 P.31 「5.テープ送りをする」

## MEMO

- 以下の商品は生産を中止しています。  
夜光ラベル：2002年6月中止  
反射ラベル：2003年3月中止  
転写テープ：2003年5月中止  
ふせん紙ラベル：2004年4月中止  
伸縮ラベル：2004年12月中止
- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。

# ●こんな表示が出たときは

## エラーメッセージが表示されたときは

### MEMO

同じエラーでも、画面の表示状態によってメッセージの表示が変わります。

参照 [P.24](#) 「表示の切り換え(みえ?)」

エラーメッセージ	原因・対処
電圧が低下しています 新しい電池を正しくセット してください！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3アルカリ乾電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合があります。電池の⊕⊖の向きを確認してください。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 参照 <a href="#">P.26</a> 「1. ACアダプタを接続する」 参照 <a href="#">P.26</a> 「2. 電池(別売)を入れて使用するときは」
上カバーを閉じてください！	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示されます。上カバーを閉じてください。
テープがありません！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照 <a href="#">P.28</a> 「3. テープカートリッジをセットする」
印刷ヘッドが過熱！電源を 切り、テープを抜いてしばらく 放置してください	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー！	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷イメージの表示ができません。または、あて名印刷を24*mm・36mm幅以外のテープで印刷しようとした。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、不要な行を削除して、行数を減らしてください。 参照 <a href="#">P.53</a> 「テープ幅と印刷できる行数」
入力した文章が長すぎます 文字数を減らすか、文字サイ ズを小さくしてください	入力した文章が長すぎて、一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らすか、文字の大きさを小さくしてください。
連番・バーコードは6個まで しか入力できません	連番とバーコードは、合わせて6個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 <a href="#">P.141</a> 「連番を印刷する」 参照 <a href="#">P.144</a> 「バーコードを印刷する」
QRコードは 2個までしか入力できません	QRコードは2個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 <a href="#">P.146</a> 「QRコードを印刷する」

エラーメッセージ	原因・対処
QRコードが大きすぎます！	<p>QRコードが大きすぎます。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、QRコード入力中の文字サイズインジケーターを参考にして以下の操作をおこなってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 幅の広いテープに交換する。</li> <li>• 通常テキストの行数を減らす。</li> <li>• QRコードの誤り訂正レベルを低くする。</li> <li>• QRコードの文字数を減らす。</li> </ul> <p>参照 <a href="#">P.146</a> 「QRコードを印刷する」</p>
定型外国語は12個までしか入力できません	<p>定型外国語マーク (U, J, E, B, C, K) で囲まれた定型外国語は、12個までしか入力できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ります。定型外国語以外の内容は呼び出されています。</p> <p>参照 <a href="#">P.138</a> 「定型外国語を使う」</p>
文字サイズ「自動」に指定されているときのみ有効です	<p>すでに段落スタイルの文字サイズが指定されている段落を (らく?) ボタンで自動切り換えしようとした。この場合は、らく?/均等切換はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。</p> <p>(らく?) ボタンは、文字サイズ「自動」に指定されているときのみ有効です。</p> <p>参照 <a href="#">P.79</a> 「文字サイズ」</p>
指定した特殊印刷はできません 拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください	<p>指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。</p> <p>参照 <a href="#">P.149</a> 「同じラベルを連続して印刷する(そく?)」</p> <p>参照 <a href="#">P.150</a> 「テープ幅より大きなラベルを作る(でか?)」</p>
入力した文章が長すぎます 定長を解除して実行しますか？	<p>定長で指定した長さに文章がおさまりません。</p> <p>いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らす、文字の大きさを小さくする、余白を少なくするなどの対処をおこなってください。このまま <input type="checkbox"/> 選択 改行 を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。</p> <p>参照 <a href="#">P.85</a> 「定長印刷」</p>
定長の指定が短すぎます 定長を解除して実行しますか？	<p>ハーフカットOFFで約20mm未満のラベルをプレビューまたは印刷しようとした。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、テープの長さを変更してください。</p> <p>このまま <input type="checkbox"/> 選択 改行 を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。</p> <p>参照 <a href="#">P.58</a> 「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」</p>
メモリーがいっぱいです これ以上登録できません	<p>ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。</p> <p>参照 <a href="#">P.111</a> 「ファイルを消去する」</p> <p>参照 <a href="#">P.120</a> 「あて名を消去する」</p> <p>参照 <a href="#">P.126</a> 「名前を消去する」</p>

エラーメッセージ	原因・対処
ファイルが登録されていません	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> <a href="#">P.109</a> 「ファイルを登録する」
ファイル印刷の長さが長すぎます 印刷候補を減らしてください	ファイル印刷候補(最大5件)すべてを印刷すると、一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してファイル印刷候補の選択メニューに戻り、ファイル印刷の候補数を減らしてください。
印刷履歴がありません	印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
あて名が登録されていません	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> <a href="#">P.118</a> 「あて名を登録する」
辞書の登録数がいっぱいです これ以上登録できません	辞書がいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な辞書を消去してください。 <b>参照</b> <a href="#">P.130</a> 「登録した辞書を消去する」
辞書に登録済みの語句です	辞書登録ですすでに登録してある「語句・読み」をふたたび登録しようとした。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
辞書が登録されていません	辞書が登録されていない状態で、辞書の修正、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> <a href="#">P.128</a> 「変換できない語句を登録する(辞書の登録)」
未入力の項目があるため 辞書に登録できませんでした	未入力の項目がある状態で、辞書を登録しようとした。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
名前が登録されていません	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> <a href="#">P.125</a> 「名前を登録する」
外字が登録されていません	外字が登録されていない状態で、外字の修正、呼び出し、消去、複写の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 <b>参照</b> <a href="#">P.133</a> 「外字を作成し、登録する」 <b>参照</b> <a href="#">P.136</a> 「外字を参照作成し、登録する」
外字の登録数がいっぱいです これ以上登録できません	外字の登録数がいっぱい、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な外字を消去してください。 <b>参照</b> <a href="#">P.135</a> 「外字を消去する」

## MEMO

表記以外のエラーメッセージが表示されたときは、当社お客様相談室までご相談ください。

**参照** [P.204](#) 「アフターサービスについて」

# ●故障かな？と思ったら

## MEMO

パソコンと接続しているときの問題は、PCラベルソフトの取扱説明書も参照してください。

## 正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。

不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、本機の初期化をおこなってください。

参照  P.157 「本機を初期化する」

## (ON/OFF) ボタンを押してもディスプレイに何も表示されない

### ● ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

### ● 電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが   逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、正しくセットされているか確認してください。

### ● 専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？

同梱のACアダプタ (AS1527J) 以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

### ● 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

### ● ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。

参照  P.25 「ディスプレイの濃度を調整する」

## キーボードが動作しない

### ● PCリンクランプが点灯し、ディスプレイに「PC通信可能」と表示されていませんか？

PCリンクランプが点灯しているときは、パソコンからの操作が優先されます。「テブラ」本体でラベルを作るときは、 を押してPCリンクを解除してください。

## ディスプレイが消える

### ● オート・パワーオフ機能ではありませんか？

本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。(オート・パワーオフ)

### ● 操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

## を押しても何も印刷されない

### ● 文章が入力されていますか？

テキスト画面や特殊フォームに何も入力されていないと印刷はされません。

### ● オートトリマーが動作中ではありませんか？

オートトリマー使用中は、印刷できません。

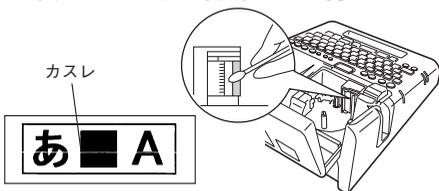
### ● 消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？

テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかり閉じてください。

## 文字がきちんと印刷されない

- テープカートリッジは正しくセットされていますか？  
テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。  
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順にしたがってセットしてください。  
参照 P.28「3. テープカートリッジをセットする」

- 印刷ヘッドが汚れていませんか？  
印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。同梱のヘッド・クリーニングテープ(SR36C)または別売のヘッド・クリーニングキット(RC15)をご使用になるが、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。  
参照 P.172「お手入れについて」



- 電池が消耗していませんか？  
電池が消耗すると「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ(AS1527J)を使用してください。電池を交換せずに使いつづけると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

## ラベルを印刷後、オートカットされない

- 自動カットを「しない」に設定していませんか？  
印刷設定の自動カットを「しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。  
参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」
- カッターの刃が磨耗していませんか？  
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。  
参照 P.204「アフターサービスについて」

## 文章の途中までしか印刷されない

- テープカートリッジにテープの残りがありませんか？  
テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。  
参照 P.28「3. テープカートリッジをセットする」

- 電池が消耗していませんか？  
電池が消耗すると「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ(AS1527J)を使用してください。電池を交換せずに使いつづけると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

## ハーフカットがうまくできない

- ハーフカットは「する」になっていますか？  
印刷設定の自動カットでハーフカットを「しない」に設定すると、ハーフカットはおこなわれません。  
参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

- 自動カット「しない」になっていませんか？  
印刷設定の自動カットが「しない」になっている場合はハーフカットも動作しません。  
参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

- ハーフカットのできないラベルを使用していないませんか？  
本機のカッターでハーフカットできないラベルを使用している場合は、ハーフカットを「しない」に設定してください。  
参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

- ハーフカットの刃が磨耗していませんか？  
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると、磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。  
参照 P.204「アフターサービスについて」

## オートトリマーでうまくカットできない

- **印刷中ではありませんか？**  
テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。
- **ラベルをトリマー差込み口にきちんと差し込んでいますか？**  
ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。  
参照  P.61 「カドを丸く仕上げる」
- **切りクズがつまっていませんか？**  
カド丸トレーをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。  
参照  P.62 「オートトリマーのお手入れ」
- **4mm、6mm幅テープをカットしようとしていませんか？**  
4mm、6mm幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー(RT36W)を使ってカットしてください。  
参照  P.11 「別売品のご案内」
- **オートトリマーでカットのできないラベルを使用していませんか？**  
本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込まないでください。  
参照  P.61 「カドを丸く仕上げる」
- **オートトリマーの刃が磨耗していませんか？**  
オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。  
参照  P.204 「アフターサービスについて」

## ファイルの内容が消えてしまった

- **本機の初期化をしましたか？**  
本機の初期化をおこなうと、ファイル・あて名・外字・辞書登録などのデータがすべて失われます。  
参照  P.157 「本機を初期化する」
- **動作中にACアダプタや電池を抜きましたか？**  
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備をしています」が表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

## 印刷履歴に記録されない

QRコードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないこともあります。参照  P.146 「QRコードを印刷する」

## ラベルを貼り付けることができない

- **裏紙をはがしていますか？**  
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。  
参照  P.46 「7.ラベルを貼る」
- **貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？**  
表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

### MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。  
参照  P.204 「アフターサービスについて」

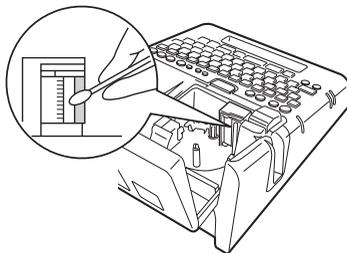
# ●お手入れについて

## ■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

## ■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。同梱のヘッド・クリーニングテープ(SR36C)または別売のヘッド・クリーニングキット(RC15)をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



# ヘッド・クリーニングテープを使う

## ヘッドクリーニングをおこなう

① ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

② **シフト**を押しながら**印刷**(= テープ送り)を押す

③ 「テープ送り」を選び、**選択 改行**を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1~2回 おこなってください。

参照 P.31 「5.テープ送りをする」

### !! 注意 !!

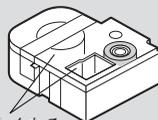
● 使用後は元の箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドを傷める原因になります。



● ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドを傷める原因となります。



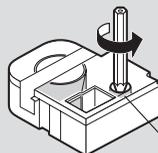
● 図のようにテープがすべて「巻き取りコア」に巻き取られたら、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドを傷めるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



白いテープがなくなる

### MEMO

- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープはSR36Cをお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみをとってください。



巻き取りコア

- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめにみえますが、約120回のクリーニングが可能です。

# ●入力文字一覧表

## 文字ボタン配列

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	¥	^	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	~	「	」
A	S	D	F	G	H	J	K	L	;	:	]	[
Z	X	C	V	B	N	M	,	.	/	.		

## 入力文字表

「大」は **シフト** を押していない状態、「小」は **シフト** を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かな		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
1	!	!	ぬ	!	!	!	!	!
2	@	@	ふ	@	@	@	@	@
3	#	#	あ	あ	#	#	#	#
4	\$	\$	う	う	\$	\$	\$	\$
5	%	%	え	え	%	%	%	%
6	&	&	お	お	&	&	&	&
7	'	'	や	や	'	'	'	'
8	*	*	ゆ	ゆ	*	*	*	*
9	(	(	よ	よ	(	(	(	(
0	)	)	わ	を	)	)	)	)
¥	¥	=	ほ	ほ	¥	=	¥	=
^	^	^	へ	へ	^	^	^	^
-	-	-	ー	ー	-	-	-	-
Q	Q	q	た	た	Q	q	Q	q
W	W	w	て	て	W	w	W	w
E	E	e	い	い	E	e	E	e
R	R	r	す	す	R	r	R	r
T	T	t	か	か	T	t	T	t
Y	Y	y	ん	ん	Y	y	Y	y
U	U	u	な	な	U	u	U	u
I	I	i	に	に	I	i	I	i
O	O	o	ら	ら	O	o	O	o
P	P	p	せ	せ	P	p	P	p
~	~	÷	〜	〜	~	~	~	~
「	「	」	。・	。・	「	「	「	「

ボタン	ローマ字		かな		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
A	A	a	ち	ち	A	a	A	a
S	S	s	と	と	S	s	S	s
D	D	d	し	し	D	d	D	d
F	F	f	は	は	F	f	F	f
G	G	g	き	き	G	g	G	g
H	H	h	く	く	H	h	H	h
J	J	j	ま	ま	J	j	J	j
K	K	k	の	の	K	k	K	k
L	L	l	り	り	L	l	L	l
;	;	+	れ	れ	;	+	;	+
:	:	×	け	け	:	×	:	×
]	]	{	む	む	]	{	]	{
Z	Z	z	つ	つ	Z	z	Z	z
X	X	x	さ	さ	X	x	X	x
C	C	c	そ	そ	C	c	C	c
V	V	v	ひ	ひ	V	v	V	v
B	B	b	こ	こ	B	b	B	b
N	N	n	み	み	N	n	N	n
M	M	m	も	も	M	m	M	m
,	,	.	ね	ね	,	.	,	.
.	.	.	る	る	.	.	.	.
/	/	?	め	め	/	?	/	?
.	.	.	ろ	ろ	.	.	.	.

注1: ボタン **「** の **「** 」 と ボタン **「** の **「** 」 は単独では入力、印刷できません。

注2: ボタン **-** で入力できる文字は次のとおりです。

ローマ字(大)、かな(大): 「-」(長音)

ローマ字(小)、かな(小)、ABC(小)、ABC(半角): 「-」(マイナス)

ABC(大): 「-」(ハイフン)

注3: ボタン **.** の **.** はピリオドです。

# 漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照 P.153 「読みのわからない漢字を入力する(コード入力)」

## !! 注意 !!

- 漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。

参照 P.153 「読みのわからない漢字を入力する(コード入力)」

- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

## JIS第1水準 \*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ア	1601~1609	亜 啞 娃 阿 哀 愛 挨 始 逢	力	1880~1889	介 会 解 回 塊 壞 廻 快 怪 悔
	1610~1619	葵 茜 穉 惡 握 渥 旭 葦 芦 鯨		1890~1894	恢 懷 戒 拐 改
	1620~1629	梓 庠 幹 扱 宛 姐 虻 飴 絢 綾		1901~1909	魁 晦 械 海 仄 界 皆 繪 芥
	1630~1639	鮎 或 粟 恰 安 庵 按 暗 案 闇		1910~1919	蟹 開 階 貝 凱 効 外 咳 害 崖
	1640~1641	鞍 杏		1920~1929	慨 概 涯 碍 蓋 街 該 鑑 骸 湮
	1642~1649	以 伊 位 依 偉 圉 夷 委		1930~1939	馨 蛙 垣 柿 蛎 鈎 鈎 嚇 各 廓
イ	1650~1659	威 尉 惟 意 慰 易 椅 為 畏 異	1940~1949	扞 攬 格 核 殼 獲 確 穫 覺 角	
	1660~1669	移 維 緯 胃 萎 衣 謂 違 遣 医	1950~1959	赫 較 郭 閣 隔 革 学 岳 樂 額	
	1670~1679	井 支 域 育 郁 磯 一 壺 溢 逸	1960~1969	顎 掛 笠 檜 櫃 梶 歟 渴 割 喝	
	1680~1689	稻 茨 芋 鱒 允 印 咽 員 因 姻	1970~1979	恰 括 活 渴 滑 葛 褐 轄 且 鏗	
	1690~1694	引 飲 淫 胤 蔭	1980~1989	叶 枕 樺 鞞 株 兜 蒲 瀧 釜 鎌	
	1701~1705	院 陰 隱 韻 吋	1990~1994	嘯 鴨 栢 茅 荳	
ウ	1706~1709	右 宇 烏 羽	2001~2009	粥 刈 苜 瓦 乾 冠 寇 寒 刊	
	1710~1719	迂 雨 卯 鸚 鴉 丑 確 白 渦 噓	2010~2019	勘 勸 卷 喚 堪 姦 完 官 寬 干	
	1720~1729	唄 鬱 蔚 蠟 鮫 尻 浦 瓜 閤 噂	2020~2029	幹 患 感 慣 憾 換 敗 柑 桓 棺	
	1730~1732	云 運 雲	2030~2039	款 歛 汗 漢 濶 濯 環 甘 監 看	
	エ	1733~1739	荏 餌 叡 營 嬰 影 映	2040~2049	竿 管 簡 緩 缶 翰 肝 臘 莞 觀
		1740~1749	曳 榮 永 洩 洩 瑛 盈 穎 穎 英	2050~2059	諫 貫 還 鑑 問 閑 閑 隔 韓 館
1750~1759		衛 詠 銳 液 疫 益 駢 悅 謁 越	2060~2069	館 丸 含 岸 巖 玩 眼 眠 岩 翫	
1760~1769		閤 榎 馱 円 園 堰 奄 宴 延 怨	2070~2074	贖 雁 頑 頑 頑	
1770~1779		掩 援 沿 演 炎 焰 煙 燕 猿 綠	キ	2075~2079	企 伎 危 喜 器
1780~1786		艷 苑 菌 遠 鈴 鴛 塩		2080~2089	基 奇 嬉 寄 岐 希 幾 忌 揮 机
1787~1789	於 汚 甥	2090~2094		旗 既 期 棋 棄	
1790~1794	凹 央 輿 往 応	2101~2109		機 掃 穀 氣 汽 畿 祈 季 稀	
1801~1809	押 旺 橫 歐 毆 王 翁 襖 鶯	2110~2119		紀 徽 規 記 貴 起 軌 輝 飢 騎	
1810~1819	鴉 黃 岡 沖 菘 毳 屋 憶 臆 桶	2120~2129		鬼 龜 偽 儀 妓 宜 戲 技 擬 欺	
カ	1820~1827	牡 乙 俺 卸 恩 温 穩 音	2130~2139	犧 疑 祇 義 蟻 誼 譏 詢 菊 鞠	
	1828~1829	下 化	2140~2149	吉 吹 喫 桔 橘 詰 砵 砵 黍 却	
	1830~1839	仮 何 伽 佳 佳 加 可 嘉 夏 嫁	2150~2159	客 脚 虐 逆 丘 久 仇 休 及 吸	
	1840~1849	家 寡 科 暇 果 架 歌 河 火 珂	2160~2169	宮 弓 急 救 朽 求 汲 泣 灸 球	
	1850~1859	禍 禾 稼 箇 花 苜 茄 荷 華 菓	2170~2179	究 窮 發 級 糾 給 旧 牛 去 居	
	1860~1869	蝦 課 嘩 貨 迦 過 霞 駭 俄 峨	2180~2189	巨 巨 拋 拳 漢 虛 許 距 鋸 漁	
1870~1879	我 牙 画 臥 芽 蛾 賀 雅 餓 駕	2190~2194	鰐 魚 亨 亨 京		
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2201~2209	供	俠	僑	兇	鏡	共	凶	協	匡	
	2210~2219	脚	叫	喬	峽	強	強	法	恐	恭	
	2220~2229	扶	教	橋	況	狹	矯	胸	脅	興	
	2230~2239	蕎	郷	鏡	響	仰	凝	仰	僅	曉	
	2240~2249	業	局	曲	極	玉	桐	杆	僅	勤	均
	2250~2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260~2268	芹	菌	衿	謹	讓	近	金	吟	銀	
ク	2269										九
	2270~2279	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	駮	
	2280~2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	
	2290~2294	串	櫛	釧	肩	屈					
	2301~2309		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	糸
	2310~2319	栗	繰	桑	歛	歛	君	薰	訓	群	軍
	2320	郡									
ケ	2321~2329	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	
	2330~2339	珪	型	契	徑	惠	慶	慧	憩	揭	
	2340~2349	携	敬	景	桂	溪	畦	系	經	繼	
	2350~2359	繫	罟	荃	荊	計	詣	警	輕	頸	
	2360~2369	鷄	芸	迎	鯨	戟	擊	激	隙	桁	
	2370~2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380~2389	儉	倦	健	兼	兼	劍	喧	堅	堅	嫌
2390~2394	建	憲	懸	拳	搥						
2401~2409		檢	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	具	
2410~2419		肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	顛	驗
2420~2429	鯨	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	
2430~2434	絃	絃	言	諺	限						
コ	2435~2439										乎
	2440~2449	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	固
	2450~2459	糊	袴	股	胡	弧	戸	誇	跨	屨	屨
	2460~2469	顧	鼓	五	互	午	呉	吾	呉	婁	後
	2470~2479	御	悟	梧	檣	榘	榘	語	誤	護	翻
	2480~2489	乞	鯉	交	佼	候	候	倖	光	公	功
	2490~2494	効	勾	厚	口	向					
2501~2509		后	喉	坑	垢	好	弘	孝	宏	工	
2510~2519	巧	巷	幸	庚	弘	恒	恒	抗	抗		
2520~2529	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	
2530~2539	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	
2540~2549	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	
2550~2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇	鉞	
2560~2569	砧	銅	閣	降	項	香	高	鴻	剛	劫	
2570~2579	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻	
2580~2589	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	甌	
2590~2594	忽	惚	骨	伯	込						
2601~2609		此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	
2610~2618	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良	魂		
サ	2619										些
	2620~2629	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	磋	砂
	2630~2639	詐	鎖	梁	坐	挫	債	催	再	最	
	2640~2649	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	濟	
	2650~2659	災	采	犀	砵	砵	祭	齋	細	菜	裁
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2660~2669	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670~2679	堺	神	肴	咲	崎	埼	鷲	作	削	
	2680~2689	咋	搾	咋	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690~2694	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2701~2709		察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜
	2710~2719	鯖	捌	鋸	鮫	皿	晒	三	傘	參	山
	2720~2729	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕
2730~2736	讚	贊	酸	餐	斬	暫	残				
シ	2737~2739										仕
	2740~2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750~2759	子	屍	市	師	志	思	指	支	攷	斯
	2760~2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	社	私	糸
	2770~2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780~2789	詔	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児
	2790~2794	宇	寺	慈	持	時					
2801~2809		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	
2810~2819	耳	自	蔞	薛	汐	鹿	式	識	鳴	竺	
2820~2829	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	
2830~2839	湿	漆	疾	質	実	蓳	篠	儀	柴	芝	
2840~2849	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	捨	斜	煮	
2850~2859	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	
2860~2869	尺	灼	灼	爵	酌	積	錫	若	寂	弱	
2870~2879	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	弱	
2880~2889	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	
2890~2894	綬	需	因	収	周						
2901~2909		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	
2910~2919	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	襲	雙	蹴	
2920~2929	輯	週	酉	酬	集	醜	仕	充	十		
2930~2939	從	戎	柔	汁	洪	獸	縱	熟	熟	十	
2940~2949	夙	宿	祝	祝	縮	肅	塾	塾	出	術	
2950~2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	
2960~2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	巡	巡	遵	
2970~2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	
2980~2989	署	書	書	諸	諸	助	叙	女	序	徐	
2990~2994	恕	鋤	除	傷	償						
3001~3009		勝	匠	升	召	哨	唱	唱	嘗	獎	
3010~3019	妾	媚	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠	
3020~3029	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	
3030~3039	松	梢	樟	樵	沼	消	湘	燒	焦		
3040~3049	照	症	省	硝	礁	祥	章	笑	粧		
3050~3059	紹	肖	莖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	
3060~3069	詳	象	賞	醬	鉦	鐘	鐘	障	轄		
3070~3079	丈	丞	乘	冗	刺	城	場	壤	壤	常	
3080~3089	情	擾	条	杖	淨	状	量	稷	蒸	讓	
3090~3094	釀	錠	囁	墟	飾						
3101~3109		植	植	燭	織	職	色	触	食		
3110~3119	蝕	辱	唇	伸	信	侵	唇	娠	寢	審	
3120~3129	心	慎	振	新	晋	森	樸	深	深	申	
3130~3139	疹	真	神	秦	神	臣	芯	才	新	診	
3140~3149	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
シ ス	3150~3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞠				
	3158~3159									箇	諏		
	3160~3169	須	酢	囟	厨	逗	叵	垂	帥	推	水		
	3170~3179	炊	睡	粹	翠	袁	遂	醉	錐	錘	隨		
	3180~3189	瑞	髓	崇	蒿	數	枢	趨	難	据	杉		
	3190~3194	相	菅	頗	雀	裾							
	3201~3203		澄	摺	寸								
	3204~3209					世	瀬	畝	是	凄	制		
	3210~3219	勢	姓	征	性	成	政	整	呈	晴	棲		
	3220~3229	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製		
	3230~3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	靜	齊	稅		
	3240~3249	脆	隻	席	惜	咸	斥	昔	析	石	積		
3250~3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙			
3260~3269	接	撰	折	設	窃	節	說	雪	絶	舌			
3270~3279	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰			
3280~3289	扇	撰	栓	梅	泉	淺	洗	染	潛	煎			
3290~3294	煽	旋	穿	箭	線								
3301~3309		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	踐	踐			
3310~3319	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然			
3320~3324	全	禪	繕	膳	糰								
3325~3329									噲	塑	咀	措	曾
3330~3339	曾	楚	狙	疏	礎	祖	祖	粗	素				
3340~3349	組	蘇	詠	阻	溯	鼠	僧	創	及	叢			
3350~3359	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想			
3360~3369	搜	掃	挿	搔	搔	早	曹	巢	槍	槽			
3370~3379	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	綜	綜	聰			
3380~3389	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗			
3390~3394	霜	騷	像	增	憎								
3401~3409		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息			
3410~3419	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統			
3420~3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜			
3430~3439	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打			
3440~3449	陀	舵	椅	陀	駄	驛	体	堆	対	耐			
3450~3459	俗	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎			
3460~3469	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代			
3470~3479	台	大	第	醒	題	鷹	滝	龍	卓	啄			
3480~3489	宅	托	扱	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁			
3490~3494	諾	茸	風	蜻	只								
3501~3509		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	堅	迪			
3510~3519	棚	谷	狸	鱈	鱈	誰	丹	单	嘆	坦			
3520~3529	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	簞			
3530~3539	綻	耽	胆	蛋	綻	鞞	团	壇	彈	斷			
3540~3544	暖	檀	段	男	談								
3545~3549									值	知	地	馳	恥
3550~3559	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築			
3560~3569	畜	竹	筑	著	逐	秩	窒	茶	矯	着			
3570~3579	中	仲	宙	抽	昼	柱	注	虫	衷	衷			
3580~3589	註	耐	鈔	駐	櫛	瀦	猪	苧	苧	貯			
3590~3594	丁	兆	凋	喋	龍								
3601~3609		帖	帳	庁	用	張	彫	微	懲	挑			

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
チ	3610~3619	暢	朝	潮	襟	町	眺	聴	賑	腸	蝶			
	3620~3629	調	課	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄			
	3630~3636	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳						
ツ	3637~3639									津	津	椎		
	3640~3649	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	楯	槻	佃			
テ	3650~3659	漬	拓	辻	葛	綴	鏝	槽	漬	坪	壺			
	3660~3665	孀	紬	八	吊	釣	鶴							
ト	3666~3669									亭	低	停	偵	
	3670~3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟			
ナ	3680~3689	梯	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締			
	3690~3694	艇	訂	蹄	蹄	通								
ノ	3701~3709		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擲	敵	滴			
	3710~3719	的	笛	適	鎚	濁	哲	徹	徹	轍	迭			
ハ	3720~3729	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼			
	3730~3737	転	顛	点	伝	殿	澁	田	電					
ニ	3738~3739									兔	吐			
	3740~3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟			
ヌ	3750~3759	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴			
	3760~3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套			
ネ	3770~3779	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棹	棟			
	3780~3789	盜	洵	湯	湯	灯	燈	当	痘	痔	等			
ヘ	3790~3794	答	筒	糖	統	到								
	3801~3809	董	蕩	藤	討	膽	豆	踏	逃	透				
ホ	3810~3819	銓	陶	頭	騰	闊	働	動	同	堂	導			
	3820~3829	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠			
ヘ	3830~3839	鴿	匿	得	德	澆	特	督	秃	篤	毒			
	3840~3849	独	詭	栴	椽	凸	突	楸	届	薦	苦			
ニ	3850~3859	寅	西	滯	岷	屯	悼	敦	沌	豚	遁			
	3860~3863	頓	吞	曇	鈍									
ニ	3864~3869									奈	那	内	風	雍
	3870~3879	謎	灘	捺	鍋	槽	馴	繩	暇	南	楠			
ニ	3880~3882	軟	難	汝										
	3883~3889								二	尼	弍	迓	旬	脈
ニ	3890~3894	虹	廿	日	乳	入								
	3901~3907		如	尿	菲	任	妊	忍	認					
ニ	3908										濡			
	3909										襦			
ノ	3910~3919	衤	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	燃			
	3920	粘												
ノ	3921~3929		乃	迺	之	楚	囊	惱	濃	納	能			
	3930~3934	腦	農	農	覗	蚤								
ハ	3935~3939									巴	把	播	霸	杷
	3940~3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	靡			
ノ	3950~3959	排	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	鞞	配			
	3960~3969	倍	培	媒	梅	煤	煤	買	買	壳	賠			
ノ	3970~3979	陪	這	蝗	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍			
	3980~3989	柏	白	泊	箔	柏	舶	薄	迫	曝	漠			
ノ	3990~3994	爆	縛	奘	駁	麥								
	4001~4009	奘	函	崧	嶺	峯	管	轄	轄	肌				
ノ	4010~4019	畑	箱	八	鉢	澆	発	髣	髣	伐	罰			

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ハ	4020~4029	拔	筏	闊	鳩	嘶	犒	蛤	隼	伴	判
	4030~4039	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	版
	4040~4049	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	煩	煩
	4050~4058	頒	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	審	
	4059										匪
	4060~4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070~4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080~4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090~4094	枇	毘	琵琶	眉	美					
	4101~4109	鼻	必	裨	匹	疍	髭	彦	膝	菱	
4110~4119	肘	弼	必	畢	逼	桧	姫	媛	紐		
4120~4129	百	謬	依	彪	標	水	漂	瓢	票	表	
4130~4139	評	豹	廟	描	捕	秒	苗	鏹	鋸	蒜	
4140~4149	蛭	鱗	品	彬	斌	浜	瀨	貧	質	頰	
4150~4151	敏	瓶									
フ	4152~4159		不	付	埠	阜	婦	富	富	布	
	4160~4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170~4179	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180~4189	武	舞	葡	葡	蕪	部	封	楓	風	葺
	4190~4194	伏	副	復	幅	服					
	4201~4209		福	腹	復	覆	淵	弗	弘	沸	仏
	4210~4219	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220~4225	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	4226~4229							丙	併	兵	堀
	4230~4239	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陞	米	頁
4240~4249	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	窺	偏	變	
4250~4259	片	篇	編	辺	遍	遍	便	勉	娩	弁	
4260	鞭										
ホ	4261~4269		保	鋪	鋪	圃	捕	步	甫	輔	輔
	4270~4279	穗	募	墓	墓	戍	暮	母	簿	菩	倣
	4280~4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290~4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301~4309		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310~4319	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320~4329	亡	傍	剖	坊	妨	暢	忘	忙	房	暴
	4330~4339	望	某	棒	冒	紡	紡	膨	謀	貌	貿
	4340~4349	銓	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350~4359	牧	陸	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔
4360~4363	本	翻	凡	盆							
マ	4364~4369										摩
	4370~4379	味	枚	每	理	榎	幕	膜	枕	鋪	框
	4380~4389	鱒	裨	亦	侯	又	抹	末	沫	迄	侏
	4390~4394	蘭	磨	万	慢	滿					
	4401~4402		漫	蔓							
	4403~4409										味
	4410~4418	蜜	湊	糞	脛	脈	妙	耗	民	眠	
	4419										務
	4420~4428	夢	無	牟	予	霧	鶻	掠	婿	娘	
	4429										冥
4430~4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
メ	4440~4445	免	棉	綿	緬	面	麵				
	4446~4449										摸
モ	4450~4459	孟	毛	猛	盲	綱	耗	蒙	儲	木	默
	4460~4469	目	空	勿	餅	尤	戾	初	貫	問	悶
ヤ	4470~4472	紋	門	匂							
	4473~4479										也
ユ	4480~4489	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	藪
	4490	鏹									
ヨ	4491~4494		愉	愈	油	癒					
	4501~4509		論	輸	唯	佑	優	勇	友	有	幽
ヨ	4510~4519	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520~4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	融	夕		
ヨ	4529										予
	4530~4539	余	与	譽	譽	預	備	幼	妖	容	庸
ヨ	4540~4549	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	4550~4559	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽
ラ	4560~4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翼	淀		
	4569										羅
リ	4570~4579	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	4580~4587	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
リ	4588~4589										利
	4590~4594	履	李	梨	理	璃					
ル	4601~4609		痢	裏	裡	離	陸	律	率	立	
	4610~4619	葎	掠	略	劉	溜	留	留	硫	粒	
ル	4620~4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	僚	
	4630~4639	両	凌	寮	寮	梁	涼	療	瞭	稜	
ル	4640~4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
	4650~4659	厘	林	淋	琳	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660~4664	瑠	瑠	涙	累	類					
	4665~4669										令
ル	4670~4679	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	4680~4689	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
ル	4690~4694	漣	煉	練	練	聯					
	4701~4703		連	連	鍊						
ロ	4704~4709										呂
	4710~4719	露	勞	婁	廊	弄	朗	榔	榔	浪	漏
ロ	4720~4729	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	祿
	4730~4732	肋	録	論							
ワ	4733~4739										倭
	4740~4749	梓	鷲	互	互	鰐	託	藪	葎	椀	湾
4750~4751	碗	腕									
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

# JIS第2水準

\*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。  
従って「井」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4801~4809	弋	丐	丕	个	卯	、	井	ノ	又	
4810~4819	乖	乘	亂	丿	豫	事	舒	式	于	亞
4820~4829	亟	一	亢	京	毫	竄	从	仍	仄	仆
4830~4839	仿	仗	仞	仞	仞	价	伉	伉	佻	佻
4840~4849	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
4850~4859	侑	伴	來	倫	儘	俛	俛	俛	俛	俛
4860~4869	侑	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚
4870~4879	侑	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚
4880~4889	偃	假	會	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃
4890~4899	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4901~4909	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4910~4919	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4920~4929	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4930~4939	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4940~4949	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏
4950~4959	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏
4960~4969	几	處	困	凭	風	口	函	双	刊	刖
4970~4979	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖
4980~4989	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖	刖
4990~4999	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
5001~5009	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
5010~5019	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑
5020~5029	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍
5030~5039	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍
5040~5049	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄
5050~5059	廠	厶	參	參	雙	雙	曼	曼	曼	曼
5060~5069	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭
5070~5079	吩	吝	呖	咏	呵	咎	咎	咎	咎	咎
5080~5089	咒	呻	咀	嗽	咄	咄	咆	哇	罍	咸
5090~5099	啞	咬	哄	哈	咨					
5101~5109	畏	晒	咤	咤	崑	聆	哥	哦	啼	啼
5110~5119	晤	哽	啼	哭	哺	呀	啞	啞	啞	啞
5120~5129	售	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜
5130~5139	咯	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉
5140~5149	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉
5150~5159	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔
5160~5169	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔
5170~5179	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔
5180~5189	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤
5190~5199	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹
5201~5209	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
5210~5219	坏	址	坎	址	坏	址	坏	址	坏	址
5220~5229	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤
5235~5239	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5240~5249	堡	塙	塙	塙	毀	塙	塙	塙	塙	塙
5250~5259	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
5260~5269	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
5270~5279	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
5280~5289	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭
5290~5299	奢	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠
5301~5309	奸	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘
5310~5319	姜	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘
5320~5329	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘
5330~5339	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘
5340~5349	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌
5350~5359	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌
5360~5369	學	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺
5370~5379	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
5380~5389	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
5390~5399	尹	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈
5401~5409	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨
5410~5419	岑	岔	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫
5420~5429	岑	峙	峩	峩	峩	峩	峩	峩	峩	峩
5430~5439	崗	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
5440~5449	嵌	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
5450~5459	峽	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
5460~5469	嶺	巒	巒	巒	巒	巒	巒	巒	巒	巒
5470~5479	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛
5480~5489	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
5490~5499	廁	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
5501~5509	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
5510~5519	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
5520~5529	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋
5530~5539	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎
5540~5549	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
5550~5559	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
5560~5569	惠	忿	怡	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠
5570~5579	怕	佛	怵	怵	怵	怵	怵	怵	怵	怵
5580~5589	協	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆
5590~5599	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴
5601~5609	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴
5610~5619	惠	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴
5620~5629	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5630~5639	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5640~5649	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5650~5659	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5660~5669	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5670~5679	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5680~5689	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5690~5699	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5701~5709	戔	戔	戔	戔	戔	戔	戔	戔	戔	戔
5710~5719	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5720~5729	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5730~5739	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録





区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7740~7749	軾	輗	輘	輙	輚	輛	輜	輞	輟	輠
7750~7759	輡	輢	輣	輤	輥	輦	輧	輨	輩	輪
7760~7769	輫	輍	輎	輏	輐	輑	輒	輓	輔	輕
7770~7779	輖	輗	輘	輙	輚	輛	輜	輞	輟	輠
7780~7789	返	迹	迳	逌	逌	逌	逌	逌	逌	逌
7790~7799	迳	逌	逌	逌	逌	逌	逌	逌	逌	逌
7801~7809	迳	逌	逌	逌	逌	逌	逌	逌	逌	逌
7810~7819	迳	逌	逌	逌	逌	逌	逌	逌	逌	逌
7820~7829	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈
7830~7839	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈
7840~7849	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩
7850~7859	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩	酩
7860~7869	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
7870~7879	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
7880~7889	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
7890~7899	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
7901~7909	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙
7910~7919	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙
7920~7929	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃
7930~7939	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃
7940~7949	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
7950~7959	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
7960~7969	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼
7970~7979	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼
7980~7989	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關
7990~7999	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌
8001~8009	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
8010~8019	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
8020~8029	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉
8030~8039	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉	雉
8040~8049	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽
8050~8059	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲
8060~8069	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋
8070~8079	輔	輔	輔	輔	輔	輔	輔	輔	輔	輔
8080~8089	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶
8090~8099	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰
8101~8109	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰	頰
8110~8119	飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶
8120~8129	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞
8130~8139	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅
8140~8149	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
8150~8159	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟
8160~8169	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟
8170~8179	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢
8180~8189	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒
8190~8199	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒
8201~8209	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒
8210~8219	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼
8220~8229	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑
8230~8239	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8240~8249	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8250~8259	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8260~8269	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8270~8279	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8280~8289	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱
8290~8299	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱
8301~8309	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
8310~8319	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
8320~8329	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
8330~8339	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
8340~8349	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
8350~8359	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
8360~8369	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
8370~8379	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽
8380~8389	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽
8390~8399	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽	黽
8401~8409	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮
8410~8419	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮
8420~8429	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮
8430~8439	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮
8440~8449	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮
8450~8459	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮
8460~8469	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮
8470~8479	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮
8480~8489	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮
8490~8499	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮	亮
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

## その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

コード	
85	01 葛 02 祇 03 鮎 04 鰯 05 鰯 06 鰯 07 鰯 08 鰯 09 鰯 10 鰯 11 鰯 12 鰯 13 鰯 14 鰯 15 鰯
	16 鰯 17 鰯 18 鰯 19 鰯 20 鰯 21 鰯 22 鰯 23 鰯 24 鰯 25 鰯 26 鰯 27 鰯 28 鰯 29 鰯

# ●記号一覧表

## !! 注意 !!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

### 記述

、 。 ， ・ ・ ・ : ;
「 」 ? ! - - /
\ ~ @ ~ _ § †
‡ † ‡ † // 全
々 々 …… ※ *

### 省略

、 † ‡ † // 全 々
々 …… # No. & 〒
㊞ © ® ㊞ 印 ㊞ 注
㊞ 検 ㊞ 答 ㊞ 祝 ㊞ 休 ㊞ 祭
(代)(内)(直)(呼)(株)KK(有)
(財)(社)(特)(学)TEL FAX

### カッコ

‘ ’ “ ” ( ) [
] [ ] { } < >
《 》 「 」 『 』 【
】

### 矢印

→ ← ↑ ↓ ↘ ↙ ↗ ↖
↙ → ← ↑ ↓ ↔ ↕
○ △ □ ☆
○ ● ◎ △ ▲ ▽ ▼
◇ ◆ □ ■ ☆ ★ ◇
◆ ♠ ♣ ♥ ♡ ♣ ♣

### 単位

% ‰ μ m mm cm m km
ft mile cm <sup>2</sup> m <sup>2</sup> a ha km <sup>2</sup>
cm <sup>3</sup> m <sup>3</sup> mg g kg t cc
ml dl l kl mol ¥ (円)
\$ € £ Fr ¢ A V
Ω W kWhz dB HP Å
@ ° ′ ″ °C °F ct

### 算数

+ - ± × ÷ = ≠
< > ≤ ≥ ∞ ∴ ≡
≡ √ ∞ ∧ S

### 数字

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭
⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ○
一 二 三 四 五 六 七
八 九 I II III IV V
VI VII VIII IX X i ii
iii iv v vi vii viii ix
X 1 2 3 4 5 6
7 8 9 0 1 2 3
4 5 6 7 8 9 0
+ - 1/2 1/3 2/3 1/4 3/4

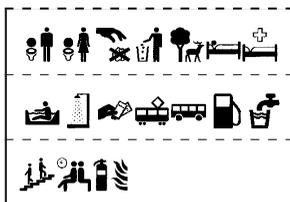
### 2桁数字

00 ~ 99
---------

### 公共表示

🚗 🚌 🚝 🚞 🚇 🚊 🚏
♿ 📞 🏠 🚰 🚱 🚲 🚳 🚴 🚵
🚶 🚷 🚸 🚹 🚺 🚻 🚼 🚽 🚾
🚿 🚿 🚿 🚿 🚿 🚿 🚿 🚿
🚿 🚿 🚿 🚿 🚿 🚿 🚿 🚿

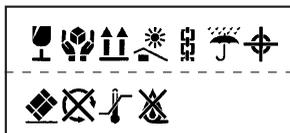
公共表示(続き)



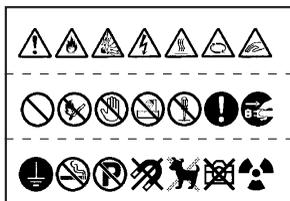
環境



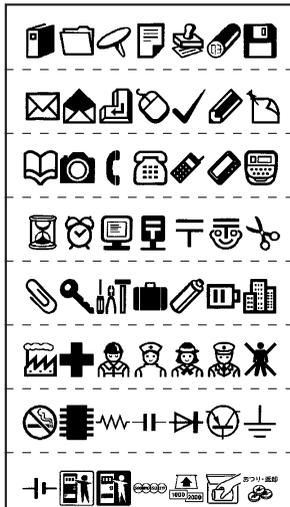
荷物



警告用



仕事



Ptct

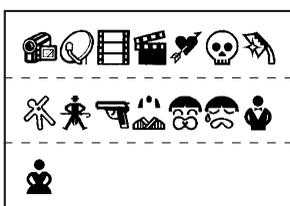
スポーツ



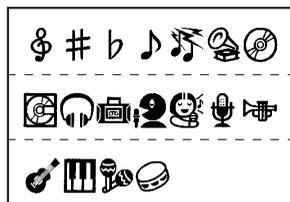
遊び



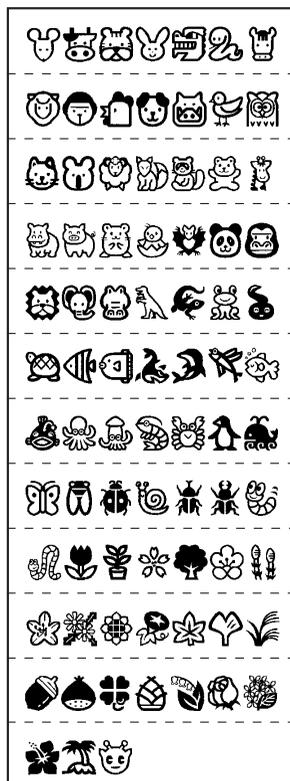
ビデオ



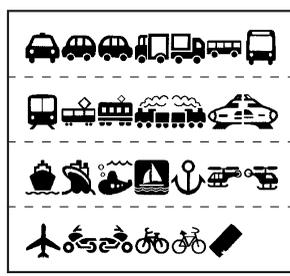
音楽



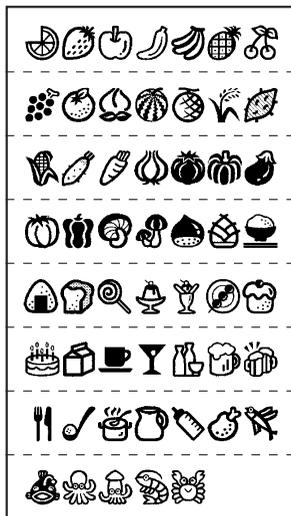
生き物



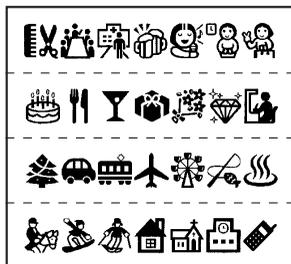
乗り物



食べ物



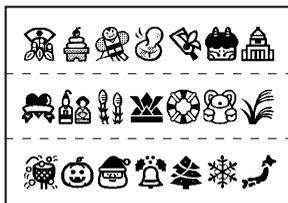
予定



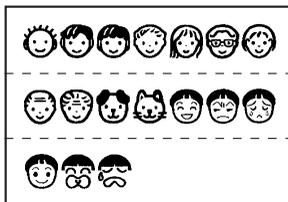
暮らし



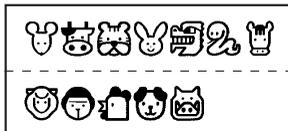
シーズン



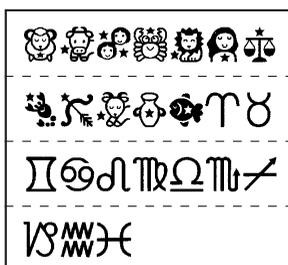
家族



干支



星座



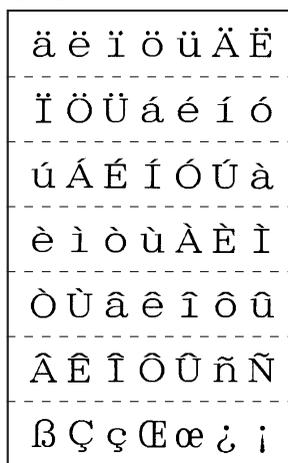
ギリシャ



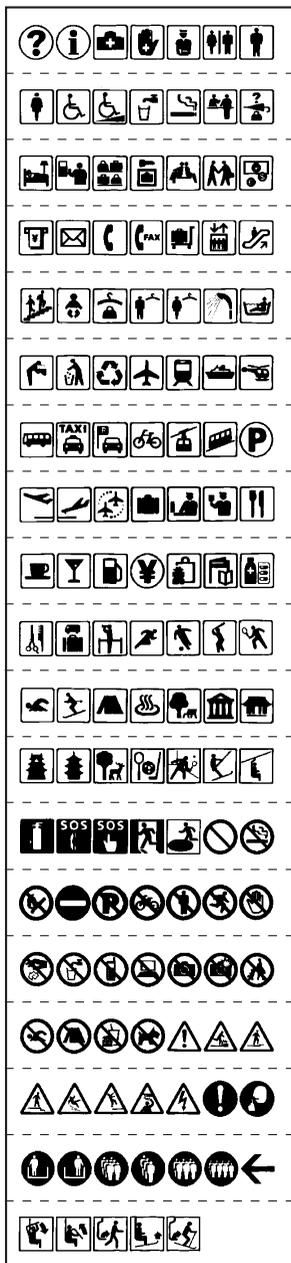
ロシア



欧州



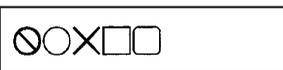
案内記号



編集



合成



# ●定型外国語一覧表

選択できる定型外国語の日本語を紹介します。

日本語の読みを入力し、検索結果から定型文を選ぶだけで、自動的に対応する英語、中国語、韓国語の文章が呼び出されます。さらに定型文によっては記号の入ったラベルになります。

## MEMO

- 定型外国語に対応している定型文の日本語、英語、中国語、韓国語、記号の一覧は、CD-ROMに収録の「Manual」フォルダにある「定型外国語\_1.0.pdf」を開くと、確認することができます。確認するためにはAdobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerが必要です。
- 一覧表の語順は、画面上で実際に表示される語順とは異なります。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のつぶれが発生することがあります。
- 一覧表の文字とラベルに印刷される文字の字形が異なるものがあります。

No.	記号	日本語
1		アイスクリーム
2		アイスコーヒー
3		アイスティー
4		IDカード
5		相部屋
6		アイロン
7		上がる
8		赤ワイン
9		秋
10		空部屋
11		開けられます
12		開ける
13		開けるな
14		朝ご飯
15	○	足もと注意
16		預り金
17		暖かい
18		熱い
19		後払い
20		危ない
21		アルコール
22		アルミ
23	○	安全バーを開ける

No.	記号	日本語
24	○	安全バーを閉める
25	○	案内
26	○	案内所
27		案内図
28		行き方
29		行き先
30		行き止まり
31		胃薬
32		居酒屋
33		医師
34	○	遺失物取扱所
35		医者
36		一日乗車券
37		胃腸薬
38	○	一列並び
39		1階
40		一般
41		犬
42		イベントリスト
43		いらっしゃいませ
44		入口
45		医療品
46	○	飲食禁止

No.	記号	日本語
47	○	飲料水
48		烏龍茶
49		上
50		迂回路
51	○	受付
52		受付時間
53		右折
54		運休
55		運賃(電車)
56		運賃(バス)
57		運転免許証
58		エアコン
59		映画
60		映画館
61		営業時間
62		営業中
63		営業日
64	○	ATM
65	○	駅
66	○	エスカレーター
67	○	エレベーター
68		宴会場
69		エントランス

No.	記号	日本語
70		エントランスホール
71		横断歩道
72		往復
73		往復切符
74		往復料金
75		オーダー
76		オートロック
77		大広間
78		大盛り
79	○	お会計
80		おかわり自由
81	○	屋外プール
82		屋上
83		贈り物
84		お酒
85		お座敷
86		お礼
87	○	お支払い
88		おしぼり
89	○	お食事
90		お酢
91		押す
92		お薦め
93		お茶
94		おつまみ
95		お釣り
96	○	お手洗
97		お手拭
98		お寺
99		お問い合わせ
100		大人
101		大人料金
102		おはようございます
103		お昼ご飯
104		オフ
105		オフィス
106	○	お風呂場

No.	記号	日本語
107		お待ちください
108	○	お店
109		お土産
110	○	おみやげ売場
111		お持ち帰り
112		お湯
113		折曲厳禁
114		終わり
115		オン
116	○	温泉
117		音量
118	○	カート
119		カード
120		カード支払い
121		カード挿入口
122		会員
123		開館時間
124		開館中
125		会議室
126	○	会計
127		介護犬
128		介護犬可
129		改札口
130		開始
131		介助犬
132		介助犬可
133	○	海水浴場
134		回数券
135	○	階段
136		懐中電灯
137		開店
138	○	ガイド
139		ガイドブック
140		開閉厳禁
141		開放厳禁
142	○	火気厳禁
143		学生

No.	記号	日本語
144		学生証
145	○	かけ込み禁止
146		火災報知器
147		貸切
148		風邪薬
149	○	ガソリンスタンド
150		片道
151		カタログ
152	○	滑面注意
153		可燃ごみ
154		可燃物
155	○	カフェ
156	○	カフェテリア
157		火曜日
158		カラオケ
159		カラオケルーム
160		辛子
161		ガラス
162		缶
163		換気扇
164		関係者以外立入禁止
165	○	観光案内所
166		観光案内資料
167	○	感電注意
168	○	館内案内
169		漢方薬
170		観覧料
171		貴金属
172		危険
173		危険物
174		北
175		北口(入口)
176		北口(出口)
177		貴重品
178		貴重品預かり所
179	○	喫煙車
180	○	喫煙所

No.	記号	日本語
181	○	喫煙コーナー
182	○	喫煙席
183	○	喫茶・軽食
184	○	喫茶店
185		キッチン
186	○	きっぷうりば
187		基本料金
188	○	客室
189		客室料金
190		客席
191		キャッシュ
192	○	キャッシュサービス
193	○	キャッシュ ディスペンサー
194		キャンセル
195		キャンセル待ち
196		キャンセル料
197	○	キャンプ禁止
198	○	キャンプ場
199		休館
200		休館日
201		救急箱
202		休業日
203	○	休憩所
204	○	救護所
205		休日
206		牛肉
207		牛乳
208		救命胴衣
209		教会
210		共同浴場
211	○	禁煙
212	○	禁煙時間
213	○	禁煙車
214	○	禁煙席
215	○	禁煙タイム
216		金額

No.	記号	日本語
217		緊急連絡先
218		金庫
219	○	銀行
220	○	銀行・両替
221	○	禁止
222		金曜日
223	○	空港
224		空車
225		空席
226		空調
227		クーポン券
228	○	くず入れ
229		薬
230		下り(下へ)
231		下り(電車)
232	○	下り段差注意
233		靴べら
234		靴をお脱ぎください
235	○	車椅子スロープ
236		クレジットカード
237	○	クローク
238		クローゼット
239	○	警告
240	○	警察
241		警察官巡回店
242	○	警察署
243	○	景勝地
244	○	軽食
245		携帯電話
246	○	携帯電話使用禁止
247		警備員巡回中
248		警備システム作動中
249		景品
250	○	ケーブル鉄道
251		ゲームコーナー
252		劇場
253	○	化粧室

No.	記号	日本語
254		下駄箱
255		月曜日
256	○	検疫
257		見学料
258		玄関
259		現金
260		現在地
261	○	券売機
262	○	ご案内
263		コインランドリー
264	○	コインロッカー
265	○	広域避難場所
266	○	更衣室
267	○	更衣室(女子)
268	○	更衣室(男子)
269	○	公園
270		高温注意
271		硬貨
272		硬貨投入口
273	○	航空機
274		高校
275		高校生
276		工事中
277	○	公衆電話
278		紅茶
279		交通案内
280	○	交番
281		御宴会場
282		コーヒー
283		コーラ
284		国際電話
285		国内電話
286	○	腰掛け式リフト
287		ご自由にお持ちください
288	○	ご出発
289		故障

No.	記号	日本語
290		胡椒
291		故障中
292		ご使用料
293		ご使用料金
294		ご署名
295	○	ご精算
296	○	ご精算所
297	○	ご相談窓口
298		ご注文
299		骨董品
300	○	ご到着
301		子供
302		子供用
303		子供料金
304		ご飯
305		ごみ置き場
306	○	ゴミ箱
307		ご予約
308		娯楽室
309		コレクトコール
310		ご連絡先
311		こわれもの
312		コンサートホール
313		コンセント
314		コンビニエンスストア
315		混浴
316		サービス料
317		サウナ
318		下がる
319		酒類
320		座敷
321		左折
322	○	撮影禁止
323	○	サッカー競技場
324		砂糖
325		サラダ

No.	記号	日本語
326	○	さわるな
327	○	三列並び
328		塩
329		歯科
330		時刻表
331	○	静かに
332		史跡
333	○	自然保護
334		下
335		試着室
336	○	室内プール
337		指定席
338	○	自転車
339	○	自転車乗り入れ禁止
340		自動
341		自動改札
342	○	自動券売機
343		自動ドア
344		自動販売機
345	○	支払い
346		自販機
347		紙幣
348		紙幣投入口
349		閉まる
350		事務所
351		閉める
352	○	シャワー
353	○	シャワー室
354	○	シャワールーム
355		シャンプー
356		従業員専用
357	○	終日禁煙
358		住所
359		ジュース
360		自由席
361		終点
362		重要

No.	記号	日本語
363		重要文化財
364		終了
365	○	宿泊施設
366	○	出国手続
367	○	出発
368	○	授乳室
369		小
370	○	障害物注意
371	○	消火器
372		小学生
373		小学校
374		使用可能
375		使用禁止
376		昇降口
377		乗車券
378		乗船券
379		使用中
380		消灯時間
381		消費期限
382		消費税
383		使用不可
384	○	情報コーナー
385		消防署
386		賞味期限
387		乗務員室
388		正面口
389		醤油
390		使用料
391		使用料金
392		食事
393	○	食堂
394		植物園
395	○	女子
396	○	女子トイレ
397	○	女性
398	○	女性専用
399	○	女性用

No.	記号	日本語
400		食券
401	○	ショップ
402		署名
403		所要時間
404	○	書類審査
405		資料室
406		城
407		白ワイン
408		シングルルーム
409		神社
410	○	身障者用設備
411	○	進入禁止
412		新発売
413	○	新聞・雑誌
414		深夜料金
415		深夜割増し
416		酢
417		炊事場
418		水族館
419		スイッチ
420		水曜日
421	○	スカッシュコート
422	○	スキー場
423	○	スキーの先を上げる
424	○	スキーヤーは降りる
425	○	頭上注意
426		スタッフ
427		スタッフ専用
428		スチール
429		頭痛薬
430	○	捨てるな
431		素泊まり
432	○	スポーツ活動
433		税・サービス料込み
434		税・サービス料別
435	○	税関
436		請求書

No.	記号	日本語
437		税金
438		税込み
439		税込価格
440	○	精算
441	○	精算機
442	○	精算所
443		成人
444		成人料金
445		清掃中
446		税抜き
447		セイフティボックス
448		正門
449		セール
450		石鹸
451		節水
452		設定温度
453		節電
454		説明書
455		セルフサービス
456	○	船舶
457		洗面所
458		送迎バス
459	○	相談窓口
460		ソース
461		その他
462		ソフトドリンク
463		大
464		大学
465		大学生
466		大使館
467		大浴場
468		タオル
469	○	多機能トイレ
470	○	タクシー
471	○	タクシーのりば
472	○	ダストボックス
473	○	立入禁止

No.	記号	日本語
474		ダブルルーム
475		食べ放題
476		食べ物ではありません
477	○	男子
478	○	男子トイレ
479		男女兼用
480	○	男性
481	○	男性専用
482	○	男性用
483		団体
484		暖房
485		チェックアウト
486	○	チェックイン
487		地下1階
488		地下鉄
489		チケット
490		チケット売り場
491		地図
492		チップ
493		チップ不要
494		茶
495		中
496	○	注意
497		注意事項
498		中央口(入口)
499		中央口(出口)
500		中学生
501		中学校
502	○	駐車禁止
503	○	駐車場
504		駐車料金
505		昼食
506		厨房
507		注文
508		駐輪禁止
509		朝食

No.	記号	日本語
510		朝食付き
511		聴導犬
512		調味料
513		直進
514		追加料金
515		ツインルーム
516		通行止め
517		通訳
518		つま楊枝
519		冷たい
520		釣銭
521	○	手洗い
522	○	手洗所
523	○	Tバーリフト
524		庭園
525		低温注意
526		定価
527		定休日
528		テイクアウト
529		停止
530		定食
531		テーマパーク
532		出口
533		手数料
534	○	鉄道
535	○	鉄道駅
536	○	テニスコート
537	○	手荷物預かり所
538	○	手荷物一時預かり所
539	○	手荷物受取所
540	○	手荷物検査
541	○	手荷物宅配
542		寺
543	○	電子機器使用禁止
544		展示室
545		展示物
546	○	電車

No.	記号	日本語
547	○	天井に注意
548	○	転倒注意
549	○	店舗
550	○	展望地
551	○	転落注意
552	○	電話
553	○	電話番号
554		問い合わせ
555	○	トイレ
556		トイレトペーパー
557		唐辛子
558		当日券
559	○	到着
560		投入口
561		動物園
562		道路地図
563		図書館
564		図書室
565		閉じる
566		土足厳禁
567	○	徒歩客は降りる
568		止まる
569		土曜日
570		ドライヤー
571		トラベラーズ チェック
572		取扱説明書
573		取り消し
574		鶏肉
575		トレーニングルーム
576		ドレッシング
577		内線
578		夏
579		名前
580		生ビール
581		2階
582		西

No.	記号	日本語
583		西口(入口)
584		西口(出口)
585		日曜日
586		日本酒
587		日本茶
588		日本庭園
589	○	荷物検査
590		入園料
591		入館無料
592	○	入国手続
593		入室禁止
594		入場券
595		入場料
596	○	乳幼児用設備
597	○	二列並び
598		猫
599		値引き
600		上り(上へ)
601		上り(電車)
602	○	上り段差注意
603		登る
604		飲み放題
605		飲物
606	○	飲めない
607	○	飲めません
608		乗換え
609	○	乗り継ぎ
610		ノンアルコール
611	○	バー
612		バイクキング
613		灰皿
614		配送料
615		配達
616	○	売店
617	○	博物館
618		箸
619	○	走るな

No.	記号	日本語
620	○	バス
621	○	バスターミナル
622	○	バス停
623	○	バスのりば
624		パスポート
625		発車時刻
626		発売中
627		花
628		歯ブラシ
629		払戻し
630		春
631		パン
632		半額
633		晩ご飯
634		パンフレット
635		ビール
636		東
637		東口(入口)
638		東口(出口)
639		引渡し所
640		引く
641	○	美術館
642	○	非常階段
643	○	非常口
644	○	非常電話
645		非常はしご
646		非常ベル
647	○	非常ボタン
648		左
649		左側通行
650	○	左側にお立ちください
651		左へ曲がる
652		避難経路
653	○	避難所
654		避難通路
655		避難はしご

No.	記号	日本語
656		ビュッフェ
657	○	美容
658	○	病院
659	○	美容室
660		開く
661		昼ご飯
662		ビン
663	○	ファックス
664	○	プール
665	○	フェリー
666		豚肉
667		不燃ごみ
668		不燃物
669		冬
670		プラスチック
671	○	フラッシュ撮影禁止
672		プレゼント
673		触れてください
674	○	風呂場
675	○	フロント
676		ヘアリキッド
677		閉館時間
678		閉館中
679		平日
680		閉店
681		別館
682		ペット
683		ペット可
684	○	ペット不可
685		ペットボトル
686	○	ペット持ち込み禁止
687		別料金
688	○	ベビーカー使用禁止
689	○	ヘリコプター
690	○	ヘリポート
691		変圧器
692		ペンキ塗りたて

No.	記号	日本語
693		返却口
694		返却レバー
695		保育園
696	○	保育室
697	○	ポイ捨て禁止
698		防犯カメラ作動中
699		防犯ベル
700		ボディソープ
701	○	ホテル
702		本館
703		本日休業
704		前売券
705		前払い
706	○	待合室
707	○	待ち合わせ場所
708		まっすぐ
709		窓口
710		満室
711		満車
712		満席
713	○	ミーティングポイント
714		右
715		右側通行
716	○	右側にお立ちください
717		右へ曲がる
718		水
719	○	水飲み場
720	○	店
721	○	港
722		南
723		南口(入口)
724		南口(出口)
725		見本
726		土産
727	○	みやげ物売り場

No.	記号	日本語
728		無料
729	○	メールアドレス
730		メニュー
731		免税
732		免税店
733		免税品
734		麺類
735		盲導犬
736		盲導犬可
737		燃えないゴミ
738		燃えるゴミ
739		モーニングコール
740		木曜日
741		持ち帰り
742		持ち出し禁止
743	○	野球場
744	○	薬店
745	○	薬局
746		湯
747	○	遊泳禁止
748		遊園地
749		有効期限
750		夕ご飯
751		夕食
752		夕食付き
753		優先席
754	○	郵便
755		郵便切手
756		郵便局
757		郵便ポスト
758		有料
759	○	有料駐車場
760	○	有料トイレ
761		行き先
762		行き止まり
763		指挟まれ注意
764		ようこそ

No.	記号	日本語
765		楊枝
766		洋式
767		洋室
768		洋食
769		幼稚園
770		要予約
771	○	浴室
772		呼出し
773		予約
774		予約席
775	○	四列並び
776		ライス
777	○	ラウンジ
778	○	陸上競技場
779	○	リサイクル
780	○	リサイクル品 回収施設
781	○	理髪室
782	○	理容
783	○	両替
784		両替お断り
785	○	両替所
786		料金
787		料金表
788		領事館
789		領収書
790	○	旅館
791		旅行会社
792		旅行代理店
793		リンス
794		ルームサービス
795		冷蔵庫
796		冷房
797	○	歴史的建造物
798		レクリエーション ルーム
799	○	レストラン

No.	記号	日本語
800	○	レンタカー
801	○	レンタカーショップ
802		連絡先
803	○	ロープウェイ
804		録音禁止
805		路線図
806		ロッカー
807		露天風呂
808		ロビー
809		ワイン
810		和式
811		和室
812		和食
813		忘れ物
814	○	忘れ物取扱所
815		割り込み禁止
816		割箸
817		割引
818		割引券
819		割増し
820		われもの
821		われもの注意

# ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA		ゆ YU		よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA				wo
ん	ん N+(Y以外の子音または、アポストロフィー「'」) (例) N+N→ん N+P→んP N+'J→ん				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きよ KYO
しゃ	しゃ SHA	しい SYI	しゅ SHU	しえ SHE	しよ SHO
ちゃ	ちゃ CHA CYA	ちい TYI CYI	ちゅ TYU CYU	ちえ TYE CYE	ちよ TYO CYO
てや	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てよ THO
にや	にや NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひや	ひや HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO
みや	みや MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みよ MYO

りや	りや RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りよ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO
じゃ	じゃ JYA JA	じい ZYI JI	じゅ JU JYU	じえ ZYE JE	じよ ZYO JO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO
びゃ	びゃ BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びよ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴよ PYO
つあ	つあ TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO
でや	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふあ	ふあ FA	ふい FI FYI		ふえ FE FYE	ふお FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふい FYI FI	ふゅ FYU	ふえ FYE FE	ふよ FYO
うあ	うあ VA	うい VI	うゅ VU	うえ VE	うお VO
あ	あ LA XA	い LI XI LYI XYI	う LU XU	え LE XE LYE XYE	お LO XO
か	か LKA XKA			け LKE XKE	
つ	つ LTU XTU 同一の子音+子音=つ+子音 (N以外有効)				
や	や LYA XYA		ゆ LYU XYU		よ LYO XYO

# ●おもな仕様

---

## ■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式(70鍵) 文字ボタン48、機能ボタン22
入力状態	JIS配列準拠ローマ字入力 JIS配列準拠かな入力 JIS配列準拠ABC入力 小文字入力、小文字ロック(ABC入力時のみ)、記号入力、外字入力、コピー機能(30文字まで)、コード変換入力(区点コード・JISコード・シフトJISコード) ATOK for テブラ(学習機能付き連文節変換) 搭載語句数 約92,000語(追加可能)
漢字変換方式	

## ■表示

表示装置	ドットマトリクスFSTN液晶パネル(4階調)
文字表示	256dot×80dot(15chr×5line)
表示濃度	-5~0~+5(11段階)
インジケータ	49個
LED	3個

## ■記憶

文章メモリー	約500文字
内蔵ファイル	可変長データ式(あて名・名前と共用) 約10,000文字/最大100ファイル
辞書登録	最大50件
外字登録	ビットマップフルライン自動拡大登録 フルライン(16・24・32・40・48ドット)×10文字
地紋データ登録	文字地紋1件 創作地紋4件
あて名登録	最大100件
名前登録	最大40件
印刷履歴	最大5件
拡張機能	データ転送ソフト「DATAメモリーシステム」SDM9でパソコンにデータ転送(ファイル、あて名、名前、外字)が可能

## ■フォント(定型外国語の中国語、韓国語、QRコード入力時の半角文字を除く)

### 内蔵文字数

全7,774文字  
漢字 JIS第1水準2,965文字  
漢字 JIS第2水準3,390文字  
漢字 その他29文字  
ひらがな・カタカナ192文字  
英数字・記号・その他

### 内蔵フォント

アウトラインフォント  
明朝体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体  
太型明朝体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体  
ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体  
太型ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体  
丸ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体  
太型丸ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体  
行書体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体  
太型行書体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体  
ペン行書体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体  
波ゴ体 : 漢字書体・かな書体・英数字書体  
えれん体 : かな書体  
太型えれん体 : かな書体  
ハッピー体 : かな書体  
太型ハッピー体 : かな書体  
サンセリフHV体 : 英数字書体  
太型サンセリフHV体 : 英数字書体  
スクリプトBR体 : 英数字書体  
太型スクリプトBR体 : 英数字書体  
サンセリフST体 : 英数字書体  
太型サンセリフST体 : 英数字書体  
スクリプトPL体 : 英数字書体  
太型スクリプトPL体 : 英数字書体

## ■印刷

### 印刷方式

熱転写PRO印刷方式

### 印刷濃度

-3~0~+3(7段階)

### ヘッド構成

薄膜サーマルヘッド(384dot、360dpi)

### テープ幅検出

Pテープ規格検出孔対応(8種検出)

### テープカートリッジ

Pテープ規格ワンタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、  
耐摩擦PRO印刷式、4・6・9・12・18・24・24\*・36mm幅

### カッター

ハーフカット機能付きオートカッター 除電機構付

### トリマー

センサーつき自動カド丸仕上げ(半径3mm)

## ■印刷機能

### 文字構成

13段階(拡大印刷を含むと30段階)

F字	24×24dot	( 5ポイント相当)
P字	32×32dot	( 6ポイント相当)
S'字	40×40dot	( 8ポイント相当)
S字	48×48dot	(10ポイント相当)
M字	64×64dot	(13ポイント相当)
L'字	80×80dot	(16ポイント相当)

L字	96×96dot	( 19ポイント相当)
G字	128×128dot	( 26ポイント相当)
U' 字	160×160dot	( 32ポイント相当)
U字	192×192dot	( 38ポイント相当)
H字	256×256dot	( 51ポイント相当)
K' 字	320×320dot	( 64ポイント相当)
K字	360×360dot	( 72ポイント相当)

※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。

## デザインフォーム

### 特殊フォーム

#### あて名印刷

#### 名前印刷

#### 特殊印刷

#### 連番機能

35種(テンプレート式)

6種

約 10,000文字(最大 100件) カスタマバーコード印刷機能付

約 1,120文字(最大 40件)

ぞく<sup>2</sup>、でか<sup>2</sup>、鏡文字

加算一方向(繰り返し回数指定可)、1桁連番、2桁連番、1桁丸付連番、2桁丸付連番

#### バーコード

#### 定型外国語

QRコード、JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF、CODE39(8種)

日本語・英語・中国語(簡体字)・韓国語の定型文 821種

## ■電源、その他

### 主電源

### 補助バッテリー

### 電源スイッチ

### パワーオフ

AC100V(同梱ACアダプタAS1527J使用のこと)

単3アルカリ乾電池×6

ボタン式

操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする

(外字作成・修正中、創作地紋作成・修正中、ACアダプタ使用時のPCリンク中をのぞく)

### PC接続

### 寸法・重量

### 同梱品

USBケーブルにて接続

約204W×220D×76.5H(mm)

約 1,100g(電池、テープカートリッジを除く)

試用PROテープカートリッジ(18mm幅)

ヘッド・クリーニングテープ(SR36C)

ACアダプタ(AS1527J)

取扱説明書

保証書

PCラベルソフト(SPC9C)

PCラベルソフト取扱説明書

### オプション

PROテープカートリッジ

ヘッド・クリーニングキット(RC15)

ヘッド・クリーニングテープ(SR36C)

トリマー(RT36W)

システムトランク(SR9BTN)

システムバッグ(SR8B)

## ■使用条件

### 温度環境

### 湿度環境

動作時 5℃～35℃

保存時 -10℃～55℃

動作時 30%～80%(非結露)

保存時 5%～80%(非結露)

# 索引

## 記号

𠃉(バーコードマーク)	145
𠃊(QRコードマーク)	146
Ⓜ(E)(C)(K)(定型外国語マーク)	139
┘(全角スペース)	41
┘(半角スペース)	41
☒(印刷不可行頭マーク)	22、53
①②③(連番マーク)	141、143
㊦(郵便入力記号)	83
Ⓜ(合成マーク)	43
◀(フルメモリーマーク)	22
▶(文字モード指定マーク)	22、69
⏪ ⏩ ⏴ ⏵(カーソルボタン)	21
? ?(記号外枠)	84
①②(実行行頭マーク)	22、53
①②(空白行頭マーク)	22、53

## 英数字

1桁(連続番号)	140、141
1桁丸付(連続番号)	140、141
2桁(連続番号)	140、141
2桁数字(記号)	65、163
2桁丸付(連続番号)	140、141
2倍でか <sup>2</sup>	148、150
3倍でか <sup>3</sup>	148、150
4倍でか <sup>4</sup>	148、150
8mmビデオ(定長印刷)	74、85
8mmビデオ(フォーム)	93、96
A4ファイル(定長印刷)	74、85
A4ファイル(フォーム)	93、95
ABC入力	40
ACアダプタ	10、26
ACアダプタ差込み口	18
ATOK変換画面	34
B5ファイル(定長印刷)	74、85
B5ファイル(フォーム)	93、95
CDケース(定長印刷)	74、85
CDケース(フォーム)	93、96
CODE39(バーコード)	140、144
DAT(フォーム)	93、97
FD・MO(定長印刷)	74、85
FD・MO(フォーム)	93、96
ITF(バーコード)	140、144
JAN-13(バーコード)	140、144
JAN-8(バーコード)	140、144

MD(定長印刷)	74、85
MD(フォーム)	93、97
NW-7(バーコード)	140、144
Ⓜ	21
ON/OFFランプ	18
Ⓜ	21
PCリンクランプ	18
QR携帯1(フォーム)	93、100
QR携帯2(フォーム)	93、100
QR携帯3(フォーム)	93、100
QRコード(バーコード)	140、146
QR備品管理(フォーム)	93、101
UPC-A(バーコード)	140、144
UPC-E(バーコード)	140、144
USBインターフェイスコネクタ(パソコン接続用)	18
VHS(定長印刷)	74、85
VHS(縦)(フォーム)	93、96
VHS(横)(フォーム)	93、96

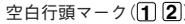
## あ

アイロン転写テープ	165
アイロンラベル	165
あて名	107、117
印刷	121
グループ名修正	122
修正	119
消去	120
登録	118
複写	119
後揃え(割付け)	73、82
網かけ(囲み・網)	71、76
網濃度(地紋印刷)	74、87
網濃度(囲み・網)	71、76
誤り訂正レベル(QRコード)	140、146
淡文字(飾り字)	70、75
イメージ表示	23
Ⓜ	20
印刷	45
印刷イメージ	22
印刷情報	22
印刷設定	20、58、60
～メニュー一覧	162
印刷濃度	60、162
印刷履歴	107、115
消去	115
呼出	115

インジケータ	22
インデックスラベル	104
上カバー	18
上カバーボタン	18
上書き呼出(ファイル)	110
英数字	39
英数字書体(書体)	70、75
エラーメッセージ	166
お祝い(フォーム)	93、99
大柄(創作地紋)	74、89
送りカット(テープ送り)	31、164
オートトリマー	18、61
～のお手入れ	62
オート・パワーオフ	30
多め(余白)	74、90
おまかせフォーマット(文字サイズ)	72、80
終わり?(編集)	68、71、73、74
音楽テープ(定長印刷)	74、85
音楽テープ(フォーム)	93、97

## か

カーソル	22、50
～の位置(編集)	67
カーソルボタン 	21
カーニング(文字間)	77
改行	53
外国語 1(フォーム)	93、101
外国語 2(フォーム)	93、101
外国語 3(フォーム)	93、101
外国語 4(フォーム)	93、102
外字	107、131
参照作成	136
修正	134
消去	135
新規作成	133
複写	135
呼出	134
外字呼出(記号)	134、163
改段落	21、55
ガイド表示	23
回覧の捺印(フォーム)	93、95
鏡文字印刷	148、152
角囲み(囲み・網)	71、76
角囲み網(囲み・網)	71、76
拡大印刷	148、150
確定文字	22
影文字(飾り字)	70、75
囲み・網(文字モード)	67、71、76、156
飾り字(文字モード)	67、70、75、156
カスタマバーコード(あて名)	123

下線(囲み・網)	71、76
カタカナ	35
学校持ち物(フォーム)	93、99
カッター	58
カド丸	61
カド丸トレー	19
かな書体(書体)	70、75
かな入力	35
画面設定	25
仮確定文字	22、34
漢字	35
漢字書体(書体)	70、75
漢字変換表	175
 記号	20
～一覧表	183
～メニュー一覧	163
記号外枠(外枠・表組み)	84
行	53
強制終了ボタン	19、158
鏡像	152
強調(斜体・強調)	70、75
行頭マーク(  )	22、53
極少(余白)	74、90
禁止!(フォーム)	93、98
均等(文字サイズ)	66、72、79
空白	41
空白行頭マーク(  )	22、53
区点コード	153、175
クリーニングテープ	173
繰り返し回数(連続番号)	140、141
グループ	108
グループ名修正	113
グレー文字ラベル	60、165
黒塗り(外字)	132
罫入力記号(  )	83
ケーブル表示ラベル	104、165
ケーブル(太)(フォーム)	93、97
ケーブル(細)(フォーム)	93、97
ケーブル用(特殊フォーム)	94、104
合成(記号)	43、163
合成記号	43
合成マーク(  )	43
コード入力	153
小柄(創作地紋)	74、89
固定フック	18
	21
コピー	52
細かく(伸・縮)	71、76
小文字ロック	21、40

## さ

サイズ(文字サイズ)	67、72、79、156
 印刷範囲	21
削除	51
辞書	107、128
修正	129
消去	130
登録	128
システムトランク	11
システムバッグ	11
下並び(伸・縮)	71、76
実質行頭マーク(1 2)	22、53
指定範囲(編集)	67
自動(英数書体)	70
自動(かな書体)	70
自動(文字サイズ)	72、79
自動多め(余白)	74、90
自動カット	58、162
自動少なめ(余白)	74、90
 シフト	21
地紋印刷(文章書式)	67、74、87、156
斜強調(斜体・強調)	70、75
斜体(斜体・強調)	70、75
斜体・強調(文字モード)	67、70、75、156
住所&氏名(フォーム)	93、98
自由のび <sup>2</sup> (文字サイズ)	72、81
仕様	196
消去	21、52、57
～メニュー一覧	164
上質紙ラベル	165
初期化	157
初期設定値	155
初期値(連続番号)	140、141
書体(文字モード)	67、70、75、156
白抜影(飾り字)	70、75
白塗り(外字)	132
白文字(飾り字)	70、75
伸・縮(文字モード)	67、71、76、156
伸縮ラベル	165
少なめ(余白)	74、90
スペース	41
税込値札(フォーム)	93、95
正体(斜体・強調)	70、75
狭い(文字間)	71、77
全角スペース(□)	41
全体の幅(バーコード)	140、144
 選択	21
全文消去(消去)	52、164
創作地紋(地紋印刷)	74、87、89

操作パネル	20
 ぞく <sup>2</sup>	20
ぞく <sup>2</sup>	148、149
促音	36
外枠(外枠・表組み)	73、83
外枠・表組み(段落スタイル)	67、73、83、156

## た

濁音	36
たて書き(縦・横)	64、72、78
縦型よこ書き(縦・横)	72、78
縦型よこ書き(特殊フォーム)	94、106
 縦横	20
縦・横(段落スタイル)	64、67、72、78、156
誕生日(フォーム)	93、98
段落	55
段落消去(消去)	57、164
段落スタイル	67
～メニュー一覧	72
小さく(伸・縮)	71、76
チェックデジット(バーコード)	140、144
縮める(伸・縮)	71、76
注意!(フォーム)	93、98
つめ <sup>2</sup>	86
定型外国語	137
ディスプレイ	18、22
ディスプレイ濃度	25
訂正線(囲み・網)	71、76
定長印刷(文章書式)	67、74、85、156
テープ送り	20、31、164
～メニュー一覧	164
テープカートリッジ	
～をセットする	28
～を使いわせる	165
テープカートリッジケース	18
テープ確認窓	18
テープ通路	18
テープ出口	18
テープ幅	53、80
でか <sup>2</sup>	148、150
テキスト画面	22
デザインフォーム	91
～見本	95
～メニュー一覧	93
デモ印刷	159
電源	
～を入れる	30
～を切る	47
転写テープ	165
電池	26

電池カバー	19
電池ケース	19
点描画(外字)	132
同梱品	10
透明つや消シラベル	165
特殊印刷	20、148
～メニュー一覧	148
特殊フォーム	20、91
～見本	103
～メニュー一覧	94
トリマー	11、61
トリマーガイド	18
トリマー差込み口	18
トリマーテーブル	18

## な

中揃え(割付け)	73、82
中並び(伸・縮)	71、76
なし(囲み・網)	71、76
名前	107、125
印刷	126
グループ名修正	126
修正	126
消去	126
登録	125
なまえ(縦)(フォーム)	93、99
なまえ(横)(フォーム)	93、99
<b>入力</b>	21
入力文字一覧表	174
熱収縮チューブ	165
伸ばす(伸・縮)	71、76

## は

バーコード	20、140、144
バーコードマーク(■)	145
ハーフカット	58、162
ハーフカットランプ	18、58
貼付け	21、52
半角スペース(□)	41
反射ラベル	165
半濁音	36
ピッチ固定(文字間)	71、77
ピッチ自動(文字間)	71、77
備品管理票(フォーム)	93、95
描画エリア(外字)	132
表組み(外枠・表組み)	73、83
表示濃度	25、156
表示の切り換え	24
ひらがな	35
広い(文字間)	71、77

<b>ファイル</b>	20
ファイル	107、108
～メニュー一覧	107
印刷	114
グループ名修正	113
消去	111
登録	109
複写	112
呼出	110
フォーム	20、91
～見本	95
～メニュー一覧	93
フォルダー山(フォーム)	93、95
複数ラベル(特殊フォーム)	94、105
ふせん紙ラベル	165
ふつう(飾り字)	70、75
ふつう(伸・縮)	71、76
ふつう(文字間)	71、77
ふつう(余白)	74、90
<b>復活</b>	21
復活	51
ふりがな(名前)	127
フルメモリーマーク(◀)	22
プレビュー	20、44
文章	
～を消去する	52
～をファイルする	109
文章書式	67
～メニュー一覧	74
平滑化(外字)	134、163
ヘッド・クリーニングキット	11、172
ヘッド・クリーニングテープ	11、173
別売品	11
<b>変換スペース</b>	21
変換	35
変換候補一覧(ATOK変換画面)	34
変換候補数(ATOK変換画面)	34
変換候補番号(ATOK変換画面)	34
変換対象(ATOK変換画面)	34
<b>編集</b>	21
編集	67
編集(記号)	41、83、163
編集設定	21、154
～メニュー一覧	156
編集続行?(編集)	68、71、73、74
細・太の比率(バーコード)	140、144
保存値	154
ボタンナビ	23

## ま

前揃え(割付け) .....	73、82
マグネットテープ .....	165
丸囲み(囲み・網) .....	71、76
丸囲み網(囲み・網) .....	71、76
○ みえ <sup>2</sup> .....	20
みえ <sup>2</sup> .....	24
見出し(縦)(特殊フォーム) .....	94、103
見出し(横)(特殊フォーム) .....	94、103
密着(文字間) .....	71、77
ミニDV(定長印刷) .....	74、85
ミニDV(フォーム) .....	93、97
無変換 .....	21
無変換 .....	35
銘板(フォーム) .....	93、99
メッセージ(フォーム) .....	93、98
メニュー .....	23
メニュー一覧 .....	162
印刷設定 .....	162
記号 .....	163
消去 .....	164
段落スタイル .....	72
テープ送り .....	164
特殊印刷 .....	148
ファイル .....	107
フォーム・特殊フォーム .....	93
文章書式 .....	74
編集 .....	70
編集設定 .....	156
文字モード .....	70
連番・バーコード .....	140
メニュー階層 .....	23
メニュー画面 .....	23
文字	
～をコピーする .....	52
～を削除する .....	51
～を挿入する .....	51
～を入力する .....	35
～を貼り付ける .....	52
～をもとに戻す(復活) .....	51
文字間(文字モード) .....	67、71、77、156
文字サイズ(段落スタイル) .....	67、72、79、156
文字地紋(地紋印刷) .....	74、87、88
文字変換/コード変換 .....	21、35、153
文字ボタン .....	21
文字モード .....	67
～メニュー一覧 .....	70
文字モード指定マーク(▶) .....	22、69

## や

夜光ラベル .....	165
有効範囲は?(編集) .....	69、71、73
拗音 .....	36
用途(QRコード) .....	140、146
よこ書き(縦・横) .....	64、72、78
横型たて書き(特殊フォーム) .....	94、106
余白(文章書式) .....	67、74、90、156

## ら

○ らく <sup>2</sup> .....	20
らく <sup>2</sup> (文字サイズ) .....	66、72、79
リセット(印刷設定) .....	60、162
リセット(編集設定) .....	155、156
連結呼出(ファイル) .....	110
連続印刷 .....	148、149
連続番号 .....	140、141
連番 .....	20、140、141
連番・バーコード .....	140
～メニュー一覧 .....	140
連番マーク(1 <sup>2</sup> N <sup>1</sup> N <sup>2</sup> N) .....	141、143
ローマ字入力 .....	35
ローマ字変換表 .....	195
ロングテープ .....	165

## わ

割付け(段落スタイル) .....	67、73、82、156
割付け(割付け) .....	73、82

# ●アフターサービスについて

## ■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

## ■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・外字・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

## ■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）

ナットクのパートナー

**お客様相談室 ☎ 0120-79-8107**

携帯電話・PHSをご使用の場合は、以下をご利用ください。

お客様相談室

東京 TEL 03-3864-1234

名古屋 TEL 052-935-4038

大阪 TEL 06-6263-1654

福岡 TEL 092-413-3977

受付時間：平日（月曜日～金曜日） 午前9時～午後5時30分

## ■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

## ■別売品のお求めでお困りのときは

取扱説明書、カートリッジなど別売品のご購入に際し、どこで、どの様にして購入したら良いかお困りのときは、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店、または下記へお問い合わせください。

**株式会社キングジム 〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号**

札幌 TEL 011-811-0593

名古屋 TEL 052-935-4038

仙台 TEL 022-236-4110

大阪 TEL 06-6263-1654

さいたま TEL 048-651-0198

広島 TEL 082-291-8458

本社 TEL 03-3864-1234

福岡 TEL 092-413-3977

## キングジムストア(KINGJIM STORE)

<http://www.kingjim-store.jp/>

TEL 03-3864-0811

FAX 03-3864-5647

---

「テプラ」 PRO SR930 取扱説明書

2009年 7月 第3版

**株式会社キングジム**

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号

# SR930

## 取扱説明書



### ・お問い合わせ

フリーダイヤル(全国共通) ネットクのパートナー  
**お客様相談室 ☎ 0120-79-8107**

受付時間: 平日(月曜日～金曜日)午前9時～午後5時30分

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>